

# 令和7年度 訪問看護ステーションに関するアンケート調査報告書

## 【目次】

### I. 調査概要

### II. 調査結果の概要

### III. 調査結果

- 1 基礎データ
- 2 職員の配置等について
- 3 訪問看護サービスの提供状況について
- 4 経営状況等について
- 5 訪問看護全般について
- 6 ハラスメント防止対策の対応について
- 7 訪問看護ステーション管理者について
- 8 業務効率化や労働環境整備について
- 9 特定行為研修を修了した看護師の活用・育成について
- 10 医療安全体制について
- 11 県実施・訪問看護ステーション協会等受託の研修・事業の受講状況について
- 12 その他

令和8年3月31日  
埼玉県保健医療部医療人材課  
一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会

# I. 調査概要

## I. 調査目的

地域包括ケアシステム構築の推進、さらには在宅医療体制の強化を図る中で、訪問看護にする今後の施策の参考とするため、埼玉県内の訪問看護ステーションの現状や課題を把握する。

## II. 調査内容

1. 基礎データ
2. 職員の配置等について
3. 訪問看護サービスの提供状況について
4. 経営状況等について
5. 訪問看護全般 他

## III. 調査実施概要

### (1) 調査対象

埼玉県内のすべての訪問看護ステーション 903事業所(令和7年9月30日現在)

### (2) 調査時期

令和7年9月

### (3) 調査方法

埼玉県訪問看護ステーション協会が埼玉県から委託を受けて、インターネット又はファックスで回収を行った。

回収率 27.6% (有効回収数 249 事業所)

(単位:事業所、%)

医療圏	区域内市町村	ステーション数	回収数	回収率
南部	川口市・蕨市・戸田市	71	34	47.9%
南西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町	72	22	30.6%
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町	140	36	25.7%
さいたま	さいたま市	181	45	24.9%
県央	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	65	11	16.9%
川越比企	川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村	110	22	20.0%
西部	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市	107	34	31.8%
利根	行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	75	18	24.0%
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町	75	25	33.3%
秩父	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町	7	2	28.6%
無回答		-	-	-
県全体(合計)		903	249	27.6%

## Ⅱ. 調査結果の概要

### 1. 基礎データ

アンケート回答 令和7年度 249施設であった。回答率27.6%

医療圏毎の訪問看護ステーション(以下事業所)数は秩父圏域を除いて増加していた。

### 2. 職員の配置等について

・事業所の看護職員数(常勤換算)は、「5人未満」の事業所が45.8%、1事業所の看護職員数(常勤換算)の平均は6.21人となっており、昨年調査より看護職員数「5人未満」の事業所割合が減少(-4.1ポイント)、1事業所あたりの職員数は0.19人増加した。

・機能強化型訪問看護ステーションの要件の一つである、常勤の看護職員数(実人数)については、5人以上7人未満のステーションが20.5%、7人以上が21.3%となっており令和6年度に比べ増加している。減少しているのは3人未満の事業所18.1%(-2.3ポイント)であった。機能強化型取得を意識した人員確保が要因と考えられた。

・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれかを配置しているステーションは66.9%で昨年より+3.7ポイントとなっている。介護保険の場合、看護師の訪問回数より理学療法士等の訪問回数を超えた場合は減算となるが、増加傾向は変わらなかった。

・事務職員を配置している事業所は79%で、昨年より+4.3ポイント増加している。近年報酬の請求は複雑化しており、専門的に報酬請求ができる要員の確保が求められている結果と考える。

・各事業所において看護職員が確保できているか(充足しているか)については、確保できているが55.8%(前年比+1ポイント)、確保できていないが43.8%(前年比-0.8ポイント)と若干ではあるが改善傾向が見られる。人員の確保ができないことの問題点として、①管理者が訪問しなければならないなど負担が大きい、②1人ひとりの職員にかかる負担が大きく、残業過多、休暇の未取得につながっている、③研修への参加ができないため、訪問看護の質を高めることが難しいの順に回答が多かった。「オンコール体制の維持ができず、緊急対応ができなくなる」、「看護業務の負担軽減の対応が難しい」という意見もあった。

・看護職員の採用につながった方法・媒体は、①有料人材紹介、②人脈の活用、③求人広告であり、前年度と傾向は変わらなかった。

### 3. 訪問看護サービスの提供状況について

・「ターミナルケア加算(介護保険)」を届出ている事業所は80.7%であり、「ターミナルケア療養費(医療保険)」を届出ているステーションは、77.8%であった。直近1カ月の1事業所あたり平均件数は「ターミナルケア加算(介護保険)」算定件数は0.8人、「ターミナル療養費(医療保険)」の算定件数は2.2人であった。

・24時間対応については「対応している事業所」が88.4%、「対応しているが24時間対応加算は算定していない」事業所が2.8%、対応していないステーションは8%(前年比+2.1ポイント)となっており、対応していないステーションが増加している。

・医療的管理の対応状況について対応割合が高いのは①褥瘡、②在宅酸素療法(HOT)、③点滴・静脈注射、④吸引、⑤インスリン注射の順であった。対応できないと回答した割合が高かったのは①在宅自己腹膜灌流(CAPD)36.1%、②人工呼吸器・持続陽圧療法18.1%であった。

・小児疾患患者の受け入れの対応をしているのは95事業所、対応していないが152事業所、医療圏別ではさいたま20、南部15、川越比企11、南西部10事業所の順で多かった。小児疾患患者に対応していない理由として①スタッフが少なく、対応できない、②人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している、③経営判断により対応していない、④対応できるが紹介がないの順で多かった。「特定の訪問看護に集中している」と思われるという回答もあった。

### 4. 経営状況等について

・利用者の受け入れ状況については①依頼数は受け入れ可能数に比べてちょうどよいが33.3%、②依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない33.3%、と同率となっている。③依頼数が多く過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない21.3%、④依頼数が多く、訪問依頼を断っている8.4%と偏りが見られる。

・直近1年間においてサービスを断ったことのあるステーションは51.4%であり、その理由としては、①職員不足によって対応ができなかった、②移動距離が長かったため、③サービス(医療処置等)内容が対応困難だった

たの順で多かった。その他として「営業時間外の訪問の依頼であった」「訪問曜日、時間の指定に対応できなかった」、「エリア外」、「利用料未払い等の問題」、「患者の暴力」等の回答があった。

・直近の事業年度末決算における収支状況について、黒字のステーションが47.0%、赤字が28.1%、不明が17.3%となっている。赤字の理由として①職員数に比べて利用者数が少ない、②利用者が少なく安定的な収入が見込めないの順で回答が多かった。その他、「紹介会社などの人員募集の費用の増大」、「事業所から訪問の移動距離」、「時間がかかり職員一人が可能な訪問数が少ない」、「残業による人件費の増大」等があげられた。

・機能強化型訪問看護管理療養費の算定については、①現在算定しているが12.9%、②要件が整っており届け出する予定が0.8%、③要件が整えれば算定したいが34.9%、④算定する予定がないが48.6%と最も多かった。算定要件を満たしていない項目として①直近1年間のターミナルケア件数又は超重症児・準重症児の受入実績、②常勤看護職員数の順に多かった。

・経営上の課題については、回答が多かったのは①看護職員の質の向上、②利用者の確保、③後継者の育成、④看護職員の不足の順であった。

## 5. 訪問看護全般について

・「訪問看護相談窓口」「看護管理者相談窓口」を活用した効果として、①請求漏れや請求間違いを防ぐことが出来た、②新たな加算等を算定することが出来た、③労務管理やリスクマネジメントを適正に実施することができたの順で回答を得た。

・教育ステーション事業に参加した効果について、①看護技術が向上した、②教育ステーションや地域のステーションとのつながりができ、相談や連携がしやすくなった、③コミュニケーションスキルが向上した、④新たな医療的管理に対応できるようになったの順で回答が多かった。

・訪問看護体験実習活用の効果として、①ステーションのPRにつながった、②体験実習を行った職員の採用ができた、③職員の質向上につながったの順に回答が多かった。

・訪問看護に関する県の取り組みに関し、実施してほしい事業について、回答が多かったのは①請求事務をバックアップする事業、②訪問看護師の育成を支援する事業、③新人訪問看護師の育成体制を強化する事業、④資格取得支援事業の順となっている。その他の意見として、「補助金の活用がしやすいよう手続きの簡略化」、「広域BCPの仕組み作り」、「ハラスメント対策の充実」などがあつた。

## 6. ハラスメント防止対策について

令和6年度に暴力・ハラスメント被害の経験について①経験あり103事業所、②経験なし138事業所と回答があつた。ハラスメント対策として複数人訪問加算の請求について①請求している37事業所、②同意が得られないので請求していない19事業所、③複数名訪問を実施していない177事業所であつた。ハラスメントへの対応については、242事業所中、227事業所(93.8%)が何らかの対策をしていると回答した。ハラスメント防止対策を実施しているステーションの離職率は14.8%、実施していない事業所の離職率は25.7%と実施していない事業所の離職率が10.9ポイント高くなつていた。

## 7. 訪問看護管理者について

管理者の経験年数について最も多かったのは1～5年以下、次いで6～10年以下、次いで1年未満であり、昨年に比べ6～10年目が3位から2位に順位が上がつた。

## 8. 業務効率化や労働環境整備

・ICT導入に関しては、243事業所中、199事業所がICT導入しており、19事業所が「検討中・準備中」と回答している。実施している、検討中・準備中の218事業所の取組みとして①看護記録システム・ソフトの導入、②事業所外でのスマートフォン・タブレットを用いた記録・報告、③主治医との指示書、報告書等のやりとり順で多かった。メディカルケアステーション(MCS)の導入に関しては、244事業所中201事業所が導入していると回答した。

・労働環境整備・働き方改革に関しては、243事業所中116事業所が「している」と回答。実施している取組みとしては、①企業内保育所を設置38事業所、②残業0、土日祝日勤務なしを実現しているが25事業所であつた。

## 9. 特定行為研修を修了した看護師の活用・育成について

241事業所中、「是非育成・活用したい」28事業所、「出来れば育成・活用したい」47事業所、「育成・活用は難

しい」126事業所が回答しており、前年度より育成活用の減少、育成・活用は難しいの増加が顕著にみられた。理由として「特定行為研修を受講させる人員の余裕がない」104事業所、「実習施設の確保が困難」42事業所と回答した。

#### 10. 医療安全体制について

・医療安全の体制・取り組みについて、241事業所中、「している」が205事業所だった。取り組み内容として①自部署内で医療安全マニュアル等を作成し、委員会や担当者等の体制を整備している168事業所、②医療安全研修の実施が98事業所の順で多かった。

#### 11. 県実施・訪問看護ステーション協会等受託の研修・事業の受講状況について

令和6年度の研修の認知は、75.5%が知っていると回答した。

・本調査における県全体の離職率は15.1%となっており、令和6年18.2%から3.1ポイント低下した。看護職員が確保できていると回答した事業所が55.8%、令和6年54.6%であり、確保できていると回答する事業所は増加傾向となっている。ハラスメント対策や処遇改善等の対策、埼玉県受託事業等による訪問看護体験実習、管理者研修、訪問看護師育成プログラム研修、医療事務研修等実施し、独自で実施できない中小規模事業所のサポートとなり、職員の育成や離職防止につながられていることも示唆された。

## Ⅲ. 調査結果

### 1. 基礎データ

開設主体 (n=249)

回答内容	事業所数	構成比(%)
① 医師会・看護協会	7	2.8%
② 医療法人	68	27.3%
③ 社会福祉法人(社協含む)	7	2.8%
④ 社団・財団(①を除く)	6	2.4%
⑤ 営利法人(株式会社・有限会社・合同会社)	142	57.0%
⑥ NPO法人	3	1.2%
⑦ 生活協同組合	7	2.8%
⑧ その他	9	3.6%
合計	249	100.0%

精神科訪問看護特化型の該当 (n=249)

回答内容	事業所数	構成比(%)
該当する	42	16.9%
該当しない	207	83.1%
合計	249	100.0%

土日祝日営業の有無 (n=249)

あり 157 事業所 (63.1%) なし 92 事業所 (36.9%)

回答内容	事業所数	構成比(%)
① 土曜のみ営業	48	30.6%
② 日曜のみ営業	0	0.0%
③ 土日営業	3	1.9%
④ 土日祝日すべて営業	42	26.8%
⑤ その他	60	38.2%
無回答	4	2.5%
合計	157	100.0%

※⑤ その他

- ・臨時訪問はあり
- ・状況に応じて訪問することがある
- ・機能強化 I のステーションのため、利用者の病状に応じた予定訪問対応を行っている
- ・特別看護指示書等で連日の訪問を要する場合や緊急対応のみ、対応:3件
- ・契約した利用者のサービス
- ・緊急対応、臨時訪問は受けている
- ・基本的には営業していないが、利用者様の状況やご希望により訪問している
- ・状態に応じ必要時(緊急訪問以外)
- ・営業日ではないが、実際はがん末期、特指示で土日祝日含め毎日訪問あり
- ・緊急対応の臨時訪問はしている:2件
- ・オンコール対応:2件
- ・必要時
- ・原則として平日に計画訪問がある方のみ対応
- ・原則として定期訪問は(土)(日)(祝)には対応していないが、特別看護指示書等で連日の訪問を要する場合や緊急対応のみ、対応している
- ・緊急時対応は随時、医療処置(点滴など)の予定訪問はある
- ・祝日、土日は要相談
- ・土曜日は1ルート、祝日は医療処置ある方のみ
- ・土曜、祝日営業:23件
- ・土曜、祝日営業(12/29-1/3除く):2件
- ・土曜日、祝日営業(日曜日、年末年始は要相談)
- ・土曜日午前のみ営業:5件
- ・第1,3,5土曜日8:30~12:15営業
- ・祝日営業:8件
- ・土曜日と日曜日以外の祝日
- ・年中無休

開業して間もないか否か

開業して間もないと回答した事業所 20事業所

南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
1	2	2	8	1	2	2	1	1	0

## 2. 職員の配置等について

問1 貴事業所における看護師等の配置状況について、常勤職員、非常勤職員別に教えてください。

### ① 2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤換算)

単位:事業所

看護職員数(常勤換算)(2次医療圏別階層別事業所数)(n=249)(常勤換算平均値:6.21人 無回答を除く(n=243))												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7
3人未満	20	4	2	3	4	1	2	0	2	2	0	5	7	3	3	2
3人以上5人未満	94	13	10	13	11	2	8	17	9	10	1	33	35	20	4	2
5人以上7人未満	54	4	4	7	13	4	3	8	4	7	0	30	13	8	1	2
7人以上	75	12	5	12	16	3	9	9	3	5	1	46	12	12	4	1
無回答	6	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	3	3	0	0	0

無回答を除く1事業所あたりの看護職員数平均値は、6.21人であった。( n = 243 )

### ①-2 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)看

護職員数の階層別事業所数の割合(常勤換算)( n =249 )

	構成比
全体	100.0%
3人未満	8.0%
3人以上5人未満	37.8%
5人以上7人未満	21.7%
7人以上	30.1%
無回答	2.4%

### ①-3 経営状況別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所の割合(常勤換算)

(黒字または赤字と回答した事業所のみ集計)( n=187)

	黒字	赤字
全体	100.0%	100.0%
3人未満	4.3%	10.0%
3人以上5人未満	28.2%	50.0%
5人以上7人未満	25.6%	18.6%
7人以上	39.3%	17.1%
無回答	2.6%	4.3%

② 2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤の実人数)

単位:事業所

2次医療圏別	1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤の実人数) (n=249)											左の表の経営状況別集計					
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7	
3人未満	45	9	6	5	6	1	3	5	5	4	1	17	15	8	4	1	
3人以上5人未満	100	14	9	15	20	3	7	15	7	10	0	42	31	19	3	5	
5人以上7人未満	51	2	3	7	8	5	7	8	3	7	1	25	17	6	2	1	
7人以上	53	9	4	9	11	2	5	6	3	4	0	33	7	10	3	0	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

②-2 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数の割合(常勤の実人数)(n=249)

	構成比
全体	100.0%
3人未満	18.1%
3人以上5人未満	40.2%
5人以上7人未満	20.5%
7人以上	21.3%
無回答	0.0%

②-3 経営状況別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所の割合(常勤の実人数)

(黒字または赤字と回答した事業所のみ集計)(n=187)

	黒字	赤字
全体	100.0%	100.0%
3人未満	14.5%	21.4%
3人以上5人未満	35.9%	44.3%
5人以上7人未満	21.4%	24.3%
7人以上	28.2%	10.0%
無回答	0.0%	0.0%

③ 2次医療圏別 1事業所あたりのPT OT ST 職員数階層別事業所数(常勤換算) (n=249)

単位:事業所

1事業所あたりのPT OT ST職員数階層別事業所数 (常勤換算数) (n=249)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7
0人	71	10	9	9	10	3	6	11	4	9	0	29	25	12	2	3
3人未満	77	10	8	11	10	3	8	11	6	8	2	33	22	16	5	1
3人以上5人未満	29	2	2	9	6	1	2	3	2	2	0	17	8	0	2	2
5人以上7人未満	19	3	1	4	5	0	1	2	2	1	0	10	3	6	0	0
7人以上	19	4	2	2	6	0	2	1	0	2	0	14	2	3	0	0
無回答	34	5	0	1	8	4	3	6	4	3	0	14	10	6	3	1

③-2 1事業所あたりのPT OT ST 職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

※無回答を除いて算出 (n=215)

構成比	
全体	100.0%
0人	33.0%
3人未満	35.8%
3人以上5人未満	13.5%
5人以上7人未満	8.8%
7人以上	8.8%

PT・OT・STいずれかの職員を配置している訪問看護ステーションが全体の67%であった。

④ 2次医療圏別 1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数(常勤換算) (n=249)

単位:事業所

1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数 (常勤換算数) (n=249)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7
0人	46	5	6	8	6	0	4	3	4	10	0	20	14	6	2	4
3人未満	165	25	15	21	31	8	16	24	10	13	2	80	44	31	8	2
3人以上5人未満	5	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	3	1	1	0	0
5人以上7人未満	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7人以上	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
無回答	30	2	1	6	6	1	2	7	3	2	0	12	11	4	2	1

④-2 1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

※無回答を除いて算出 (n=219)

	構成比
全体	100.0%
0人	21.0%
3人未満	75.3%
3人以上5人未満	2.3%
5人以上7人未満	0.5%
7人以上	0.9%

事務職員を配置している訪問看護ステーションが79%であった。

⑤ 2次医療圏別1事業所あたりの職員数(常勤換算) (n=249)

単位:事業所

職員数合計(常勤換算数) 2次医療圏別階層別事業所数 (n=249)													左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7	
3人未満	15	2	1	3	4	0	2	0	1	2	0	5	5	1	2	2	
3人以上5人未満	45	4	6	7	5	1	2	9	6	5	0	13	20	10	2	0	
5人以上7人未満	54	9	3	4	7	2	6	11	5	6	1	24	16	9	2	3	
7人以上	131	18	12	22	28	7	12	14	6	11	1	73	27	23	6	2	
無回答	4	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	

⑤-2 1事業所あたりの職員数の割合(常勤換算)

※ 無回答を除いて算出 (n=245)

	構成比
全体	100.0%
3人未満	6.1%
3人以上5人未満	18.4%
5人以上7人未満	22.0%
7人以上	53.5%

問2 現状において、貴事業所では看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）が確保(充足)できていますか。

看護職員が確保できていますか。 (2次医療圏別事業所数) (n=249) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
① 確保できている(充足している)	139	18	15	23	26	5	10	16	10	15	1
② 確保できていない(不足している)	109	16	7	12	19	6	12	18	8	10	1
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

看護職員が確保できていますか。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=249) (単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 確保できている(充足している)	55.8%	52.9%	68.2%	63.9%	57.8%	45.5%	45.5%	47.1%	55.6%	60.0%	50.0%
② 確保できていない(不足している)	43.8%	47.1%	31.8%	33.3%	42.2%	54.5%	54.5%	52.9%	44.4%	40.0%	50.0%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

確保できていないと回答した場合、常勤・非常勤の別 ※確保できていないと回答した事業所のみ回答 (2次医療圏別事業所数) (n=109) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	109	16	7	12	19	6	12	18	8	10	1
常勤が確保できていない	65	12	3	7	11	5	8	12	4	3	0
非常勤が確保できていない	7	0	1	1	2	0	0	1	2	0	0
常勤・非常勤共に確保できていない	36	4	3	4	6	1	4	4	2	7	1
無記入	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

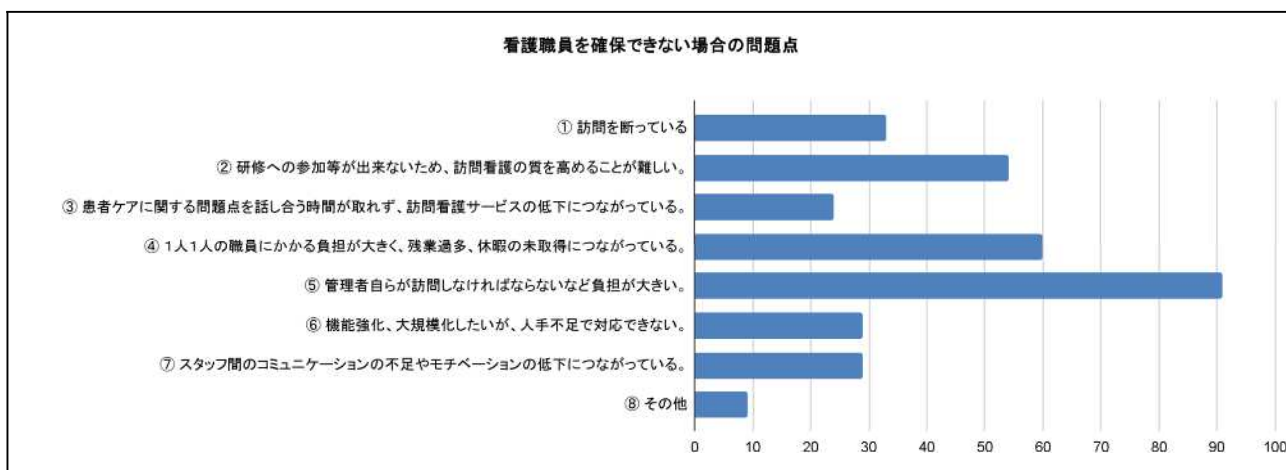
問3 看護職員を確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。（複数回答可）

※問2で「できていない」と回答した事業所のみ回答（n=109）

看護職員を確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。（複数回答可）（単位:事業所）	
① 訪問を断っている	33
② 研修への参加等が出来ないため、訪問看護の質を高めることが難しい。	54
③ 患者ケアに関する問題点を話し合う時間が取れず、訪問看護サービスの低下につながっている。	24
④ 1人1人の職員にかかる負担が大きく、残業過多、休暇の未取得につながっている。	60
⑤ 管理者自らが訪問しなければならないなど負担が大きい。	91
⑥ 機能強化、大規模化したいが、人手不足で対応できない。	29
⑦ スタッフ間のコミュニケーションの不足やモチベーションの低下につながっている。	29
⑧ その他	9

※⑧ その他

- ・新規利用者の受け入れが難しくなる
- ・退職希望者の増加により、オンコール対応職員がいなくなり、緊急対応できなくなる恐れが迫る
- ・緊急対応が重なった場合調整が困難
- ・24時間緊急対応の担当人数の不足
- ・常勤1名だと自分に何かあった時に非常勤が対応しなくてはいけないこと、オンコールを1人で対応すること、休みが取れないことが1番の課題。今の所訪問については断ることはないが、常勤が増え利用者が増えることで経営的な余裕はできると思う
- ・緊急当番が多く、ワークライフバランスが悪く、スタッフの負担となっている。産休に入るスタッフがいるので、今後さらに悪くなる
- ・オンコール対応できる人数が少ない
- ・夜間の電話対応を避けたいスタッフもいた
- ・待機当番ができるスタッフがいらない為、管理者が待機当番を多くやらなければならない。夜間に緊急で訪問した場合に翌日の休日の確保が困難になる。スタッフ不足により看護業務の負担軽減の対応が難しい
- ・負担が大きい分への報酬として1人への人件費が高すぎる



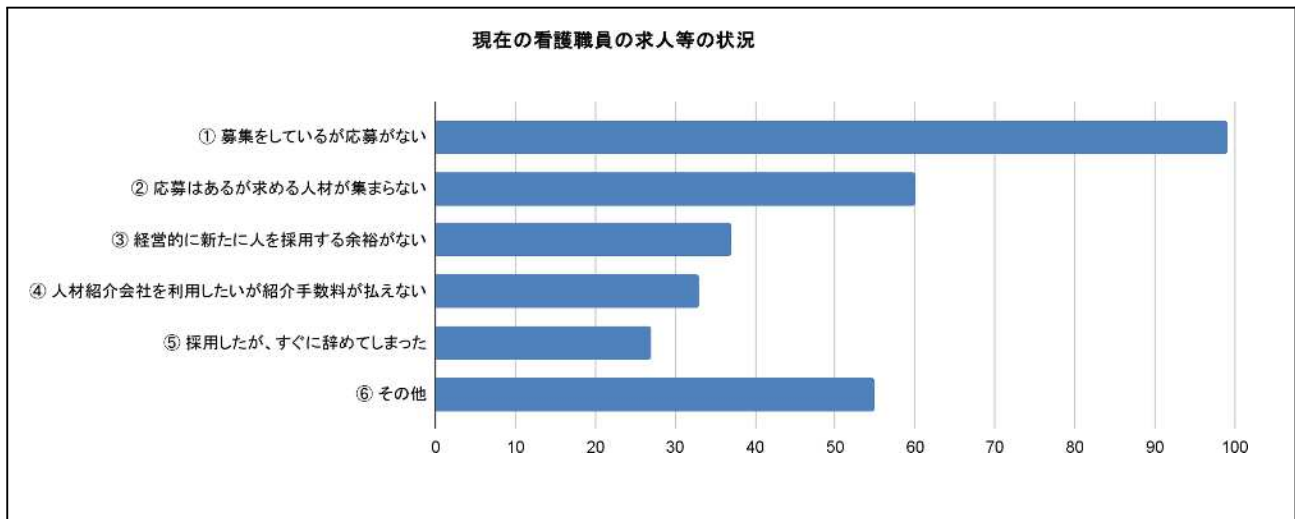
問4 現在の看護職員の求人等の状況について教えてください。(複数回答可)

※無回答を除いた集計 (n=226)

現在の看護職員の求人等の状況について教えてください。(複数回答可)	(単位:事業所)
① 募集をしているが応募がない	99
② 応募はあるが求める人材が集まらない	60
③ 経営的に新たに人を採用する余裕がない	37
④ 人材紹介会社を利用したいが紹介手数料が払えない	33
⑤ 採用したが、すぐに辞めてしまった	27
⑥ その他	55

※⑥ その他

- ・充足・募集なし:25件
- ・職員が充足しているため求人募集していない
- ・利用者が少なく、人員は間に合っている
- ・現状は採用が順調に行えている
- ・来年度の人員を確保できそうな状況
- ・現在は足りているが、良い人がいれば採用したい(募集は継続)
- ・人脈・知人のネットワークを活用している
- ・ホームページからの問合せや、スタッフからの紹介がある
- ・信頼できる看護師に直接声を掛けている
- ・募集をして採用できた
- ・必要に応じて募集
- ・直接応募を待っている状態
- ・法人(または病院人事部・看護部)が一括管理しているため不明・動けない
- ・院内からの異動を調整中
- ・採用して他の部門へ異動
- ・採用したが実力不足で退職
- ・給与が他より低い。面接時の申告と実技が乖離している
- ・応募はあるが、併願した他ステーションに決まってしまう
- ・現在求人に応募はあるが、今後起きる人材不足に、紹介会社の価格が高いと感じている
- ・時々メールで紹介あり。金額提示が合わず断られた
- ・必要時に人材紹介会社を通じ募集、採用している
- ・募集をする体制自体が整っていない
- ・産休・病休者の代替採用が、復職後の過剰人員を懸念してできない
- ・広告を出していないが、HPで常勤募集のみ継続
- ・令和8年度で廃業予定のため



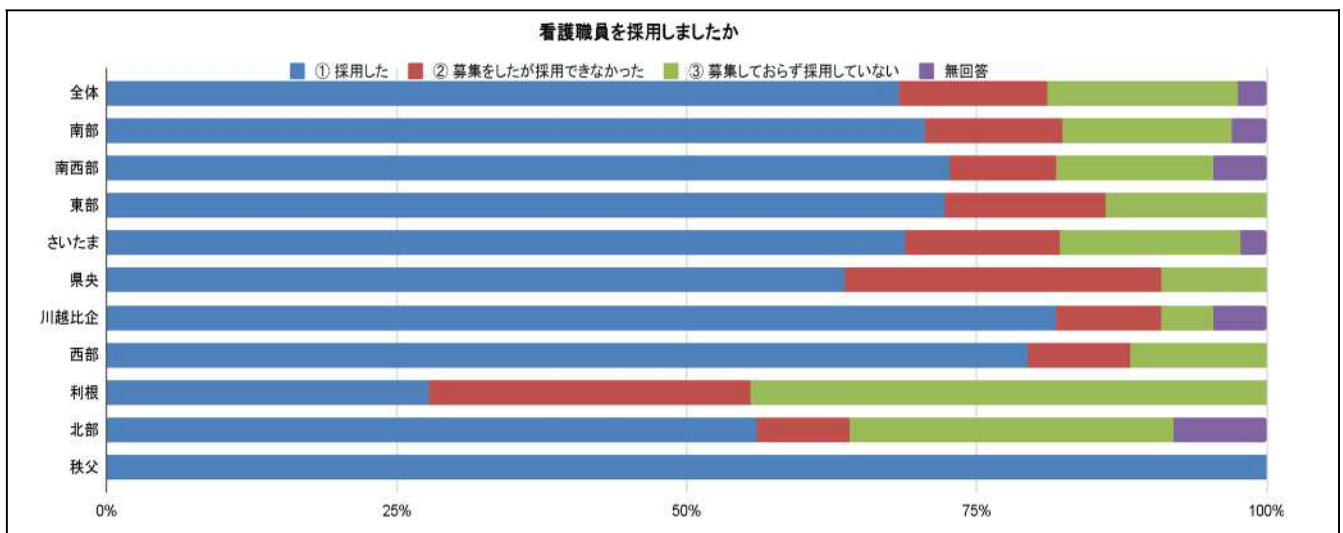
問5 令和6年4月1日～令和7年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。

令和6年4月1日～令和7年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。(2次医療圏別事業所数割合) (n=249) (単位:%)

	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 採用した	68.3%	70.6%	72.7%	72.2%	68.9%	63.6%	81.8%	79.4%	27.8%	56.0%	100.0%
② 募集をしたが採用できなかった	12.9%	11.8%	9.1%	13.9%	13.3%	27.3%	9.1%	8.8%	27.8%	8.0%	0.0%
③ 募集しておらず採用していない	16.5%	14.7%	13.6%	13.9%	15.6%	9.1%	4.5%	11.8%	44.4%	28.0%	0.0%
無回答	2.4%	2.9%	4.5%	0.0%	2.2%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%

令和6年4月1日～令和7年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。(2次医療圏別事業所数) (n=249) (単位:事業所)

	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
① 採用した	170	24	16	26	31	7	18	27	5	14	2
② 募集をしたが採用できなかった	32	4	2	5	6	3	2	3	5	2	0
③ 募集しておらず採用していない	41	5	3	5	7	1	1	4	8	7	0
無回答	6	1	1	0	1	0	1	0	0	2	0



問5 ② 看護職員を採用した人数を教えてください。(問5で「採用した。」と回答した事業所のみ回答)

採用した人数を教えてください。(2次医療圏別階層別集計) (採用した事業所のみ回答) (n=170) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	170	24	16	26	31	7	18	27	5	14	2
1人	62	5	7	8	10	3	9	10	3	5	2
2人以上4人以下	88	16	8	14	14	3	7	17	2	7	0
5人以上	17	3	1	3	6	1	1	0	0	2	0
無回答	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0

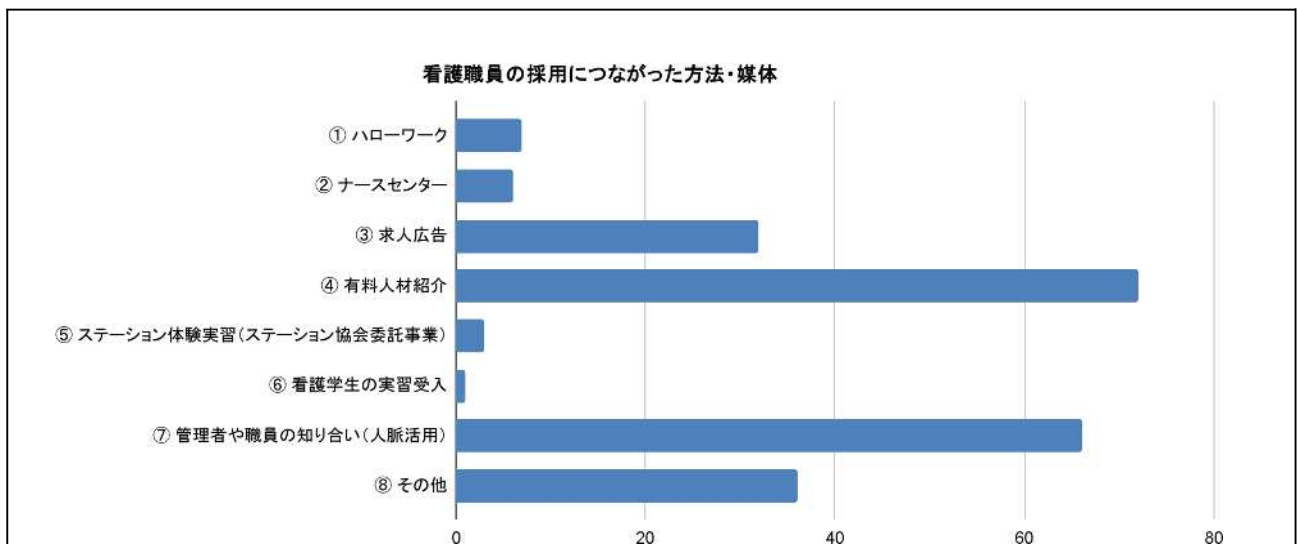
問6 看護職員を採用につながった方法・媒体について教えてください。(複数回答可)

問5で「採用した。」と回答した事業所のみ回答 n=170

看護職員を採用につながった方法・媒体について教えてください。(n=170) (複数回答可) (単位:事業所)	
① ハローワーク	7
② ナースセンター	6
③ 求人広告	32
④ 有料人材紹介	72
⑤ ステーション体験実習(ステーション協会委託事業)	3
⑥ 看護学生の実習受入	1
⑦ 管理者や職員の知り合い(人脈活用)	66
⑧ その他	36

⑧その他

- ・訪問看護ステーション、会社、法人ホームページ:9件
- ・直接応募:9件
- ・法人、病院内の異動:8件
- ・法人、他事業所からの紹介:2件
- ・法人が取りまとめているため不明:2件
- ・SNS:1件
- ・無料のネット媒体:2件



問7 新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。

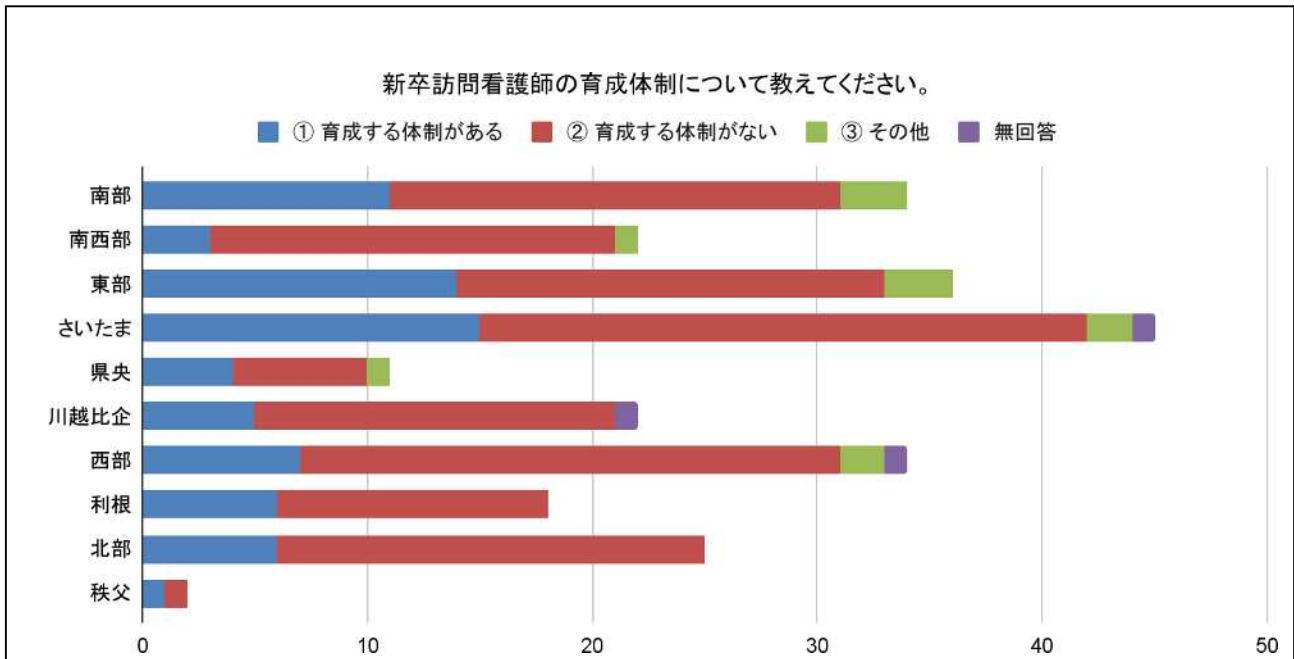
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
① 育成する体制がある	72	11	3	14	15	4	5	7	6	6	1
② 育成する体制がない	162	20	18	19	27	6	16	24	12	19	1
③ その他	12	3	1	3	2	1	0	2	0	0	0
無回答	3	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0

	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 育成する体制がある	28.9%	32.4%	13.6%	38.9%	33.3%	36.4%	22.7%	20.6%	33.3%	24.0%	50.0%
② 育成する体制がない	65.1%	58.8%	81.8%	52.8%	60.0%	54.5%	72.7%	70.6%	66.7%	76.0%	50.0%
③ その他	4.8%	8.8%	4.5%	8.3%	4.4%	9.1%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	4.5%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

※③ その他

- ・人材が増えたら管理者による育成は可能
- ・育成する体制作りをしている途中
- ・体制が確保できればいずれは対応したいとは考えている
- ・精神科訪問看護は新卒には困難と考える
- ・法人内の系列病院絵研修制度あり
- ・検討中

- ・育成するガイドラインはあるが対応する看護職員がいないため採用できない
- ・状況に応じて対応は可能(ステーション内に育成できるスタッフがいる場合等)
- ・新卒では訪問看護の緊急対応は困難と思う
- ・育成している
- ・整えてはいるが充分ではない。新卒であるため手厚く指導をおこなう必要があると感じている。そのため指導者には教育に専念してもらいたいが、そうすると売り上げへの影響も懸念される。看護師数が増えた場合本格的に検討・準備をしたいと考えている
- ・数年前に3名採用したが半年で辞めてしまったことがあり採用するのを辞めた



問8 令和6年度の退職者(看護職員)について教えてください。

※令和6年4月1日～令和7年3月31日までの看護職員の退職者数(常勤・非常勤)

令和6年度の退職者(看護職員)について教えてください。(n=247) (単位:人、事業所)			
	退職者総数	退職者がいた事業所 1事業所当たり平均退職者数	退職者がいた事業所数
看護師	269	2.01	134
准看護師	18	1.13	16

離職率を把握するため以下の質問にもご回答ください。(n=241) (単位:人)												
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
令和6年4月1日時点の看護職員数	1549	252	128	178	297	86	156	200	98	142	12	0
令和7年3月31日時点の看護職員数	2241	865	154	203	319	77	159	208	101	143	12	0
増減人数	+692	+613	+26	+25	+22	-9	+3	+8	+3	+1	0	0

医療圏別離職率 (単位:%)													
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	
平均職員数	1895	558.5	141	190.5	308	81.5	157.5	204	99.5	142.5	12	0	
総退職者数	287	62	25	21	49	10	34	44	13	27	2	0	
離職率	15.1%	11.1%	17.7%	11.0%	15.9%	12.3%	21.6%	21.6%	13.1%	18.9%	16.7%	0.0%	

(計算式)

離職率 = 2024年度総退職者数 / 2024年度の平均職員数 × 100

平均職員数 = (年度当初の在籍職員数 + 年度末の在籍職員数) / 2

### 3. 訪問看護サービスの提供状況について

問9 令和7年6月中(6/1~6/30)の利用者数を教えてください。

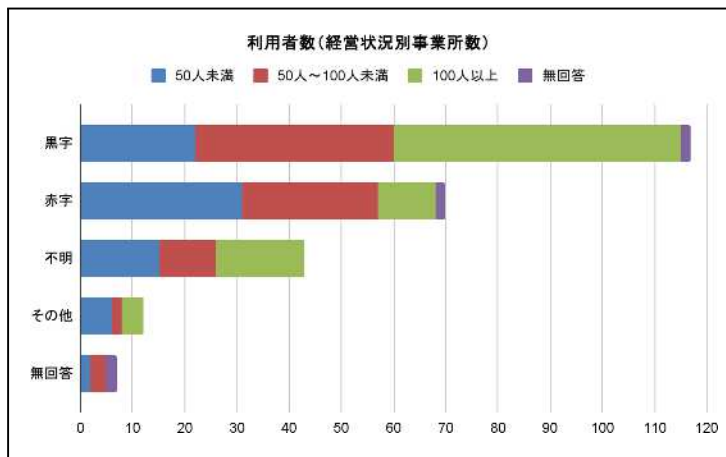
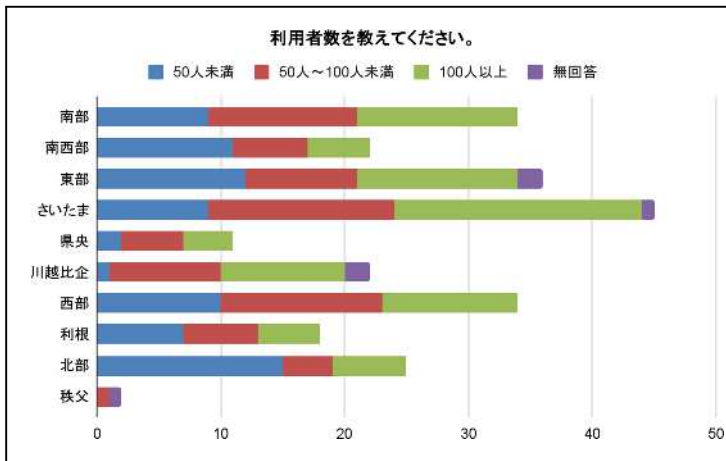
(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

(単位:事業所)

令和7年6月中(6/1~6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別階層別事業所数) (n=249)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7
50人未満	76	9	11	12	9	2	1	10	7	15	0	22	31	15	6	2
50人~100人未満	80	12	6	9	15	5	9	13	6	4	1	38	26	11	2	3
100人以上	87	13	5	13	20	4	10	11	5	6	0	55	11	17	4	0
無回答	6	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	2	2	0	0	2

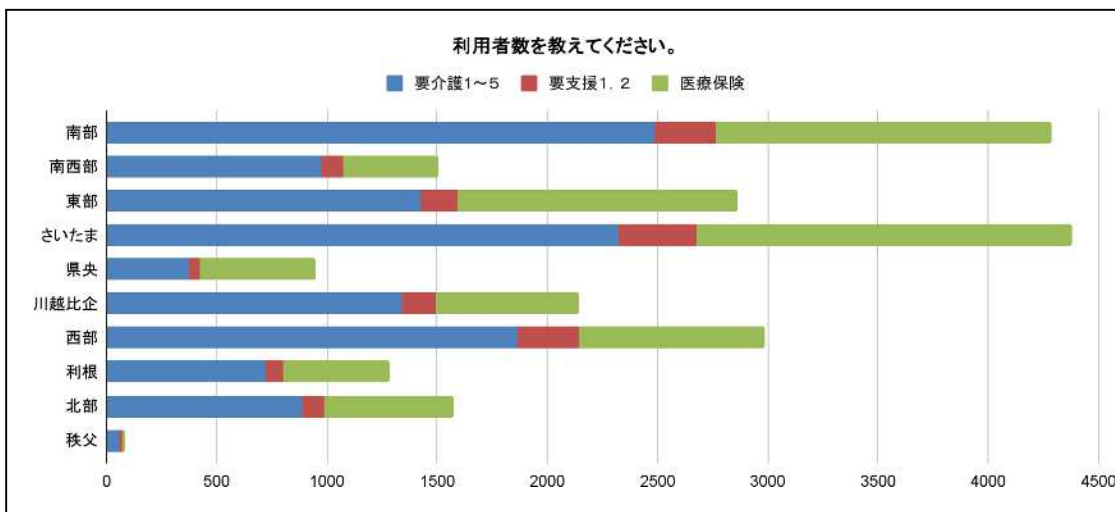
(単位:%)

令和7年6月中(6/1~6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別階層別事業所数割合) (n=249)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50人未満	30.5%	26.5%	50.0%	33.3%	20.0%	18.2%	4.5%	29.4%	38.9%	60.0%	0.0%	18.8%	44.3%	34.9%	50.0%	28.6%
50人~100人未満	32.1%	35.3%	27.3%	25.0%	33.3%	45.5%	40.9%	38.2%	33.3%	16.0%	50.0%	32.5%	37.1%	25.6%	16.7%	42.9%
100人以上	34.9%	38.2%	22.7%	36.1%	44.4%	36.4%	45.5%	32.4%	27.8%	24.0%	0.0%	47.0%	15.7%	39.5%	33.3%	0.0%
無回答	2.4%	0.0%	0.0%	5.6%	2.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	1.7%	2.9%	0.0%	0.0%	28.6%



令和7年6月中(6/1~6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別利用者数) (単位:人)

	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	22,067	4,286	1,510	2,865	4,379	949	2,147	2,987	1,283	1,575	86
要介護1~5	12,456	2,485	972	1,429	2,326	373	1,338	1,866	720	891	56
要支援1, 2	1,582	280	104	162	354	51	155	281	84	98	13
医療保険	8,029	1,521	434	1,274	1,699	525	654	840	479	586	17



令和7年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別1事業所あたり平均利用者数) (単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	88.6	126.1	68.6	79.6	97.3	86.3	97.6	87.9	71.3	63.0	43.0
要介護1～5	50.0	73.1	44.2	39.7	51.7	33.9	60.8	54.9	40.0	35.6	28.0
要支援1, 2	6.4	8.2	4.7	4.5	7.9	4.6	7.0	8.3	4.7	3.9	6.5
医療保険	32.2	44.7	19.7	35.4	37.8	47.7	29.7	24.7	26.6	23.4	8.5

問9 ー② 令和7年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(経営状況別集計)

(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

(注)「黒字」または「赤字」と回答した事業所のみの集計

[黒字の事業所]

令和7年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別1事業所あたり平均利用者数) 黒字事業所(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	108.3	159.8	78.0	102.0	114.5	105.6	97.2	121.9	72.2	79.5	0.0
要介護1～5	63.2	98.4	51.8	54.8	63.3	47.4	54.5	75.4	39.8	51.4	0.0
要支援1, 2	8.0	11.3	5.4	5.5	10.2	7.1	5.3	11.7	4.3	5.7	0.0
医療保険	37.1	50.2	20.8	41.8	41.0	51.0	37.3	34.8	28.1	22.5	0.0

[赤字の事業所]

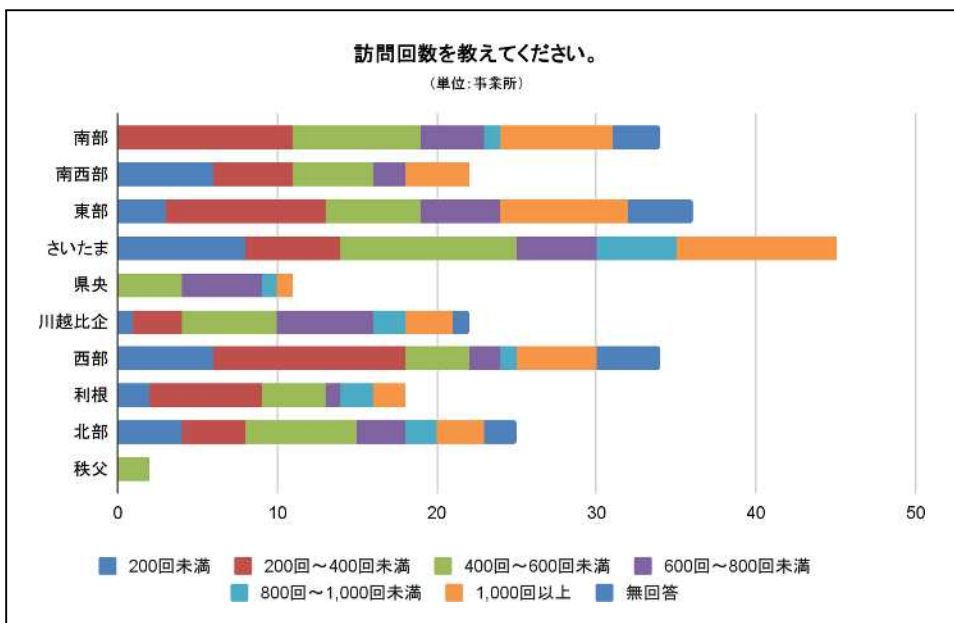
令和7年6月中(6/1～6/30)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別1事業所あたり平均利用者数) 赤字事業所(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
総利用者数	66.3	88.0	46.3	59.4	96.2	61.5	62.5	55.3	68.4	48.5	86.0
要介護1～5	33.8	50.2	25.9	30.0	31.2	1.0	38.9	36.5	41.4	20.0	56.0
要支援1, 2	4.0	5.5	3.4	3.9	3.9	0.0	3.1	5.5	4.4	1.5	13.0
医療保険	28.4	32.3	17.0	25.5	61.1	60.5	20.5	13.3	22.6	27.0	17.0

問10 令和7年6月中(6/1~6/30)の訪問回数を教えてください。

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

[事業所延べ訪問回数]

令和7年6月中(6/1~6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=249)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
200回未満	30	0	6	3	8	0	1	6	2	4	0
200回~400回未満	58	11	5	10	6	0	3	12	7	4	0
400回~600回未満	57	8	5	6	11	4	6	4	4	7	2
600回~800回未満	33	4	2	5	5	5	6	2	1	3	0
800回~1,000回未満	14	1	0	0	5	1	2	1	2	2	0
1,000回以上	43	7	4	8	10	1	3	5	2	3	0
無回答	14	3	0	4	0	0	1	4	0	2	0



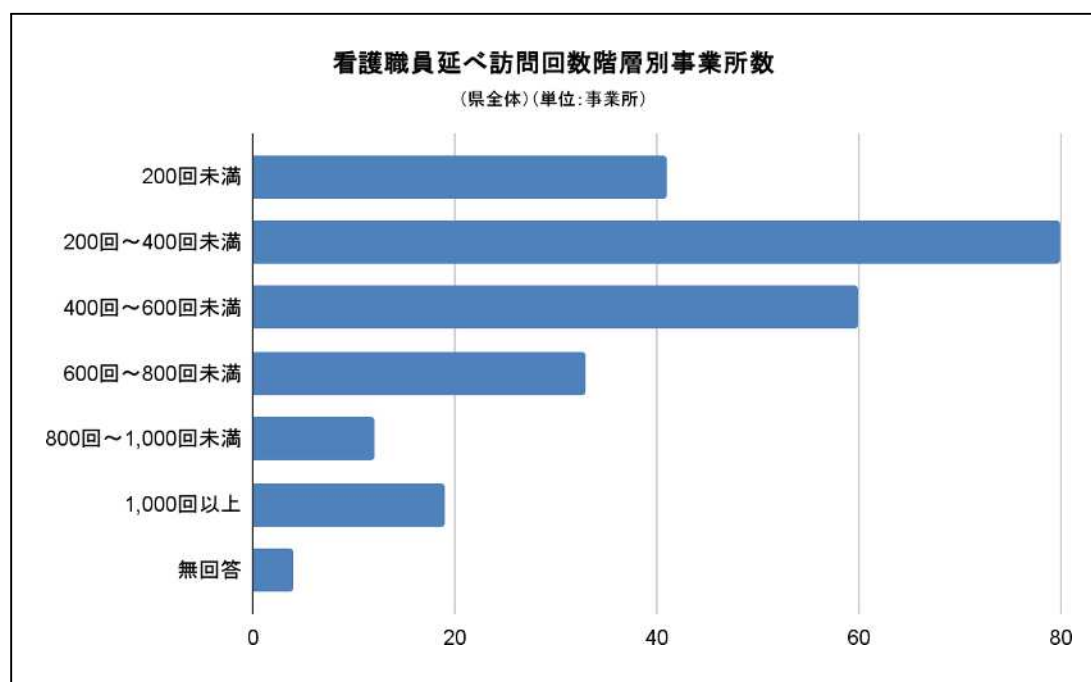
令和7年6月中(6/1~6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 延べ訪問回数階層別 事業所数割合) (n=249)(単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
200回未満	12.0%	0.0%	27.3%	8.3%	17.8%	0.0%	4.5%	17.6%	11.1%	16.0%	0.0%
200回~400回未満	23.3%	32.4%	22.7%	27.8%	13.3%	0.0%	13.6%	35.3%	38.9%	16.0%	0.0%
400回~600回未満	22.9%	23.5%	22.7%	16.7%	24.4%	36.4%	27.3%	11.8%	22.2%	28.0%	100.0%
600回~800回未満	13.3%	11.8%	9.1%	13.9%	11.1%	45.5%	27.3%	5.9%	5.6%	12.0%	0.0%
800回~1,000回未満	5.6%	2.9%	0.0%	0.0%	11.1%	9.1%	9.1%	2.9%	11.1%	8.0%	0.0%
1,000回以上	17.3%	20.6%	18.2%	22.2%	22.2%	9.1%	13.6%	14.7%	11.1%	12.0%	0.0%
無回答	5.6%	8.8%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	4.5%	11.8%	0.0%	8.0%	0.0%

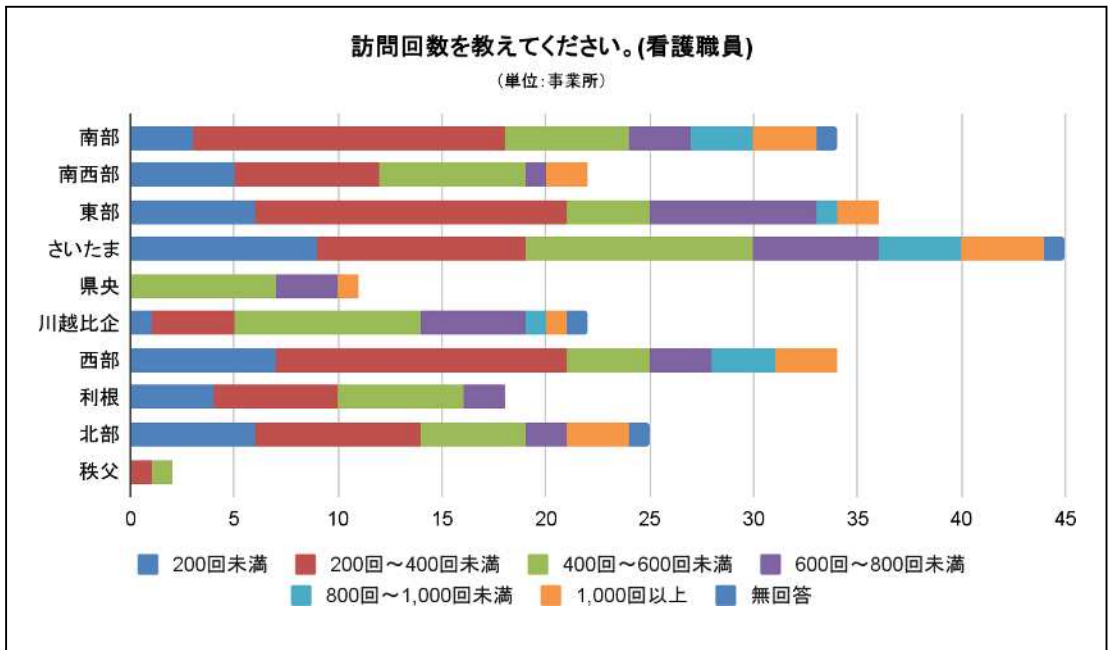
〔職種別延べ訪問回数〕

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(職種別 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=249)(単位:事業所)			
	看護職員延べ訪問回数	PTOTST延べ訪問回数	事業所延べ訪問回数
合計	249	249	249
200回未満	41	141	30
200回～400回未満	80	28	58
400回～600回未満	60	21	57
600回～800回未満	33	7	33
800回～1,000回未満	12	2	14
1,000回以上	19	7	43
無回答	4	43	14

〔看護職員延べ訪問回数〕

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 看護職員 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=249)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
200回未満	41	3	5	6	9	0	1	7	4	6	0
200回～400回未満	80	15	7	15	10	0	4	14	6	8	1
400回～600回未満	60	6	7	4	11	7	9	4	6	5	1
600回～800回未満	33	3	1	8	6	3	5	3	2	2	0
800回～1,000回未満	12	3	0	1	4	0	1	3	0	0	0
1,000回以上	19	3	2	2	4	1	1	3	0	3	0
無回答	4	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0

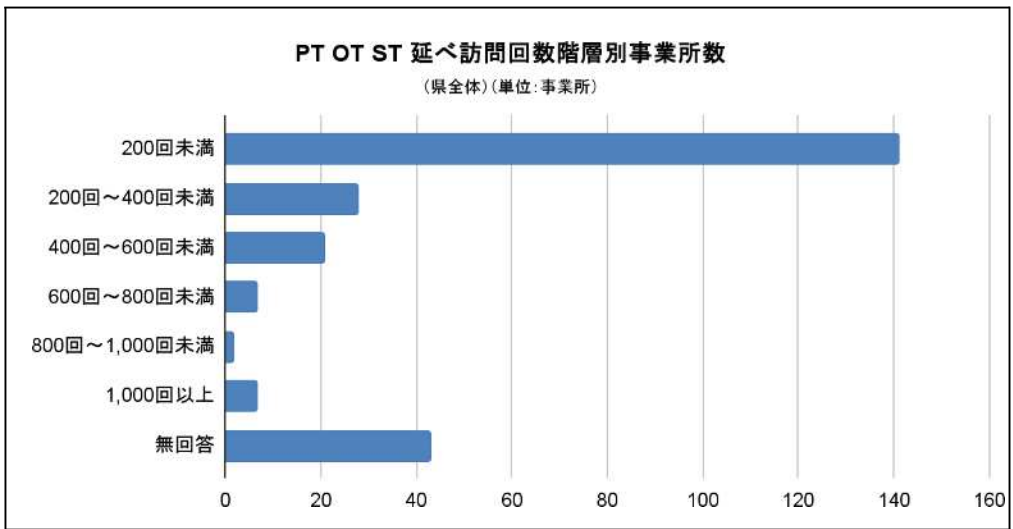




〔PT OT ST 延べ訪問回数〕

令和7年6月中(6/1~6/30)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 PT OT ST 延べ訪問回数階層別 事業所数)(n=249)(単位:事業所)

	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
200回未満	141	20	17	19	19	9	13	20	10	12	2
200回~400回未満	28	1	2	5	7	0	2	1	5	5	0
400回~600回未満	21	3	1	5	6	1	1	3	0	1	0
600回~800回未満	7	1	0	1	2	0	1	1	0	1	0
800回~1,000回未満	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
1,000回以上	7	2	1	1	1	0	1	0	0	1	0
無回答	43	6	1	5	9	1	4	9	3	5	0



問10 -② 令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(経営状況別)

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

〔経営状況別 事業所延べ訪問回数〕

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数(経営状況別事業所延べ訪問回数階層別事業所数) (n=249)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	117	70	43	12	7
200回未満	4	14	5	5	2
200回～400回未満	24	25	6	2	1
400回～600回未満	29	16	9	1	2
600回～800回未満	17	6	9	1	0
800回～1,000回未満	11	0	1	2	0
1,000回以上	29	6	8	0	0
無回答	3	3	5	1	2

〔経営状況別 看護職員延べ訪問回数〕

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数(経営状況別看護職員延べ訪問回数階層別事業所数) (n=249)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	117	70	43	12	7
200回未満	6	20	7	6	2
200～400未満	33	31	13	1	2
400～600未満	34	13	11	1	1
600～800未満	20	3	6	3	1
800～1000未満	9	0	2	1	0
1000以上	15	3	1	0	0
無回答	0	0	3	0	1

〔経営状況別 PT OT ST 延べ訪問回数〕

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。(経営状況別PTOTST延べ訪問回数階層別事業所数) (n=249)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	117	70	43	12	7
200回未満	61	46	22	8	4
200回～400回未満	15	8	5	0	0
400回～600回未満	14	3	3	0	1
600回～800回未満	5	1	1	0	0
800回～1,000回未満	2	0	0	0	0
1,000回以上	5	0	2	0	0
無回答	15	12	10	4	2

問10 - ③ 令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数を教えてください。

(保険別・看護職員 PT OT ST 別)

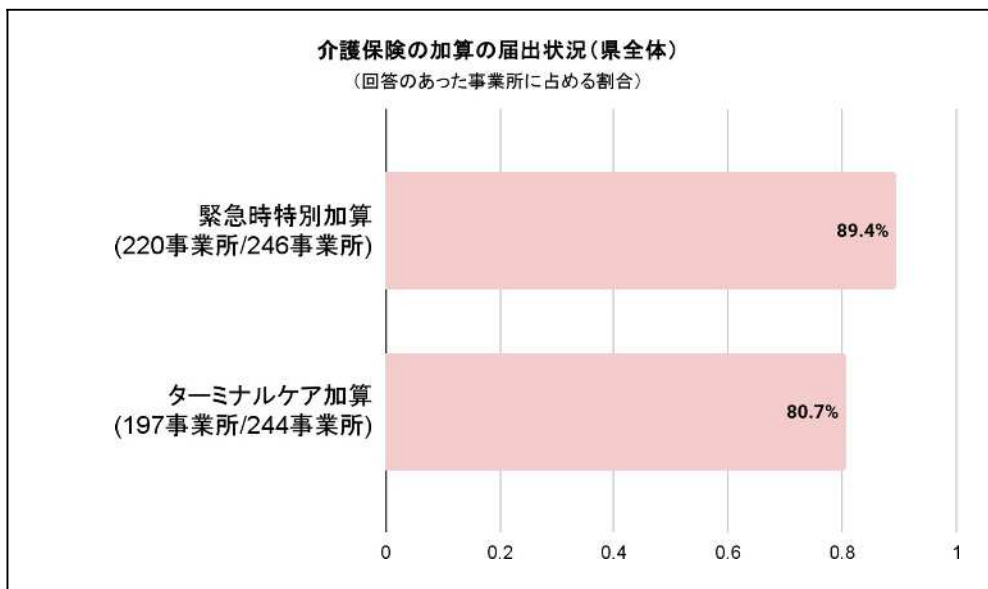
(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数 (保険別 看護職員PTOTST別 延べ訪問回数階層別 事業所数) (n=249)(単位:事業所)									
	看護職員 (要介護1～5)	看護職員 (要支援1.2)	看護職員 (医療保険)	看護職員 延べ訪問回数	PTOTST (要介護1～5)	PTOTST (要支援1.2)	PTOTST (医療保険)	PTOTST 延べ訪問回数	事業所 延べ訪問回数
合計	249	249	249	249	249	249	249	249	249
200回未満	111	237	150	41	159	202	188	141	30
200回～400回未満	86	0	59	80	28	0	12	28	58
400回～600回未満	25	0	16	60	9	0	4	21	57
600回～800回未満	9	0	7	33	4	1	1	7	33
800回～1,000回未満	3	0	2	12	1	0	0	2	14
1,000回以上	3	0	8	19	3	0	1	7	43
無回答	12	12	7	4	45	46	43	43	14

令和7年6月中(6/1～6/30)の訪問回数 (保険別 看護職員PTOTST別 延べ訪問回数階層別 事業所数割合) (n=249)(単位:%)									
	看護職員 (要介護1～5)	看護職員 (要支援1.2)	看護職員 (医療保険)	看護職員 延べ訪問回数	PTOTST (要介護1～5)	PTOTST (要支援1.2)	PTOTST (医療保険)	PTOTST 延べ訪問回数	事業所 延べ訪問回数
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
200回未満	44.6%	95.2%	60.2%	16.5%	63.9%	81.1%	75.5%	56.6%	12.0%
200回～400回未満	34.5%	0.0%	23.7%	32.1%	11.2%	0.0%	4.8%	11.2%	23.3%
400回～600回未満	10.0%	0.0%	6.4%	24.1%	3.6%	0.0%	1.6%	8.4%	22.9%
600回～800回未満	3.6%	0.0%	2.8%	13.3%	1.6%	0.4%	0.4%	2.8%	13.3%
800回～1,000回未満	1.2%	0.0%	0.8%	4.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.8%	5.6%
1,000回以上	1.2%	0.0%	3.2%	7.6%	1.2%	0.0%	0.4%	2.8%	17.3%
無回答	4.8%	4.8%	2.8%	1.6%	18.1%	18.5%	17.3%	17.3%	5.6%

問11 介護保険及び医療保険の加算の届出状況と令和7年6月中(6/1～6/30)の請求実績を教えてください。(無回答の事業所を除いた集計)

[介護保険の加算の届出(県全体)] 緊急時訪問看護加算 (n=246) ターミナルケア加算(n=244)



[介護保険の加算の届出(2次医療圏別)]

介護保険の加算の届出状況 (2次医療圏別割合) (単位: %)											
(緊急時訪問看護加算 n=246 ターミナルケア加算 n=244)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
緊急時特別加算(220事業所/246事業所)	89.4%	90.9%	90.9%	91.4%	84.4%	90.9%	90.5%	97.1%	94.4%	76.0%	100.0%
ターミナルケア加算(197事業所/244事業所)	80.7%	84.8%	86.4%	79.4%	77.8%	72.7%	76.2%	84.8%	88.9%	72.0%	100.0%

介護保険の加算の届出をしている事業所の請求実績(2次医療圏別合計利用実人数)(単位: 人)											
(緊急時訪問看護加算 n=220 ターミナルケア加算 n=197)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
緊急時特別加算	10,043	1,571	834	1,098	1,743	309	1,306	1,868	561	641	112
ターミナルケア加算	165	32	6	42	13	6	9	32	13	11	1

[介護保険の加算の請求実績(1事業所当たり平均実人数)]

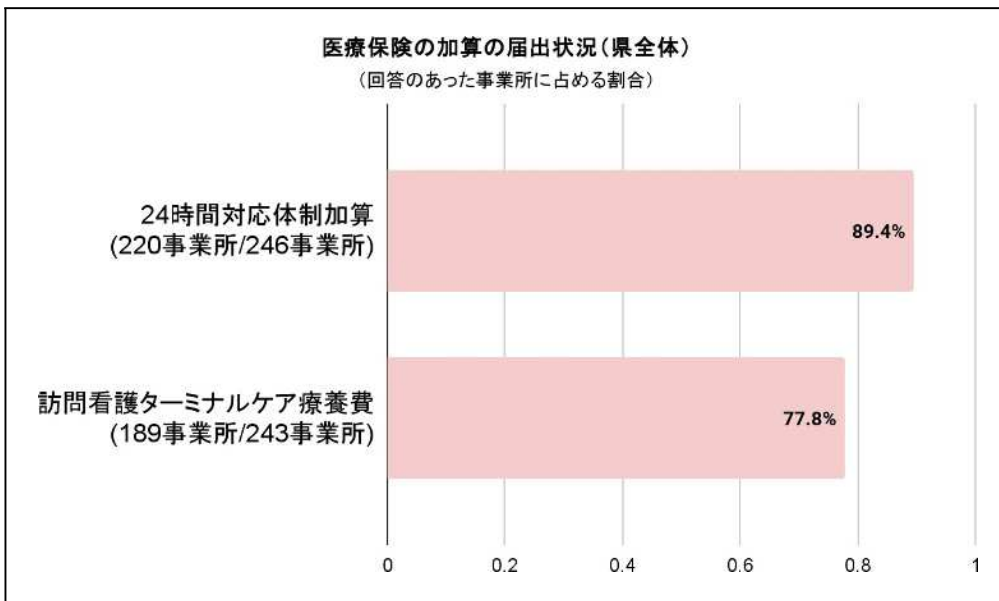
緊急時訪問看護加算 (n=220) ターミナルケア加算(n=197)

介護保険の加算の届出をしている事業所の請求実績(2次医療圏別1事業所あたり平均利用実人数)(単位: 人)											
(緊急時訪問看護加算 n=220 ターミナルケア加算 n=197)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
緊急時特別加算	45.7	52.4	41.7	34.3	45.9	30.9	68.7	56.6	33.0	33.7	56.0
ターミナルケア加算	0.8	1.1	0.3	1.6	0.4	0.8	0.6	1.1	0.8	0.6	0.5

緊急時訪問看護加算を届け出ている事業所は、全体の89.4%。

ターミナルケア加算を届け出ている事業所は、全体の80.7%である。

[医療保険の加算の届出(県全体)] 24時間対応体制加算 (n=246) 訪問看護ターミナルケア療養費(n=243)



[医療保険の加算の届出(2次医療圏別)]

医療保険の加算の届出状況 (2次医療圏別割合) (単位:%) (24時間対応体制加算 n=246 訪問看護ターミナルケア療養費 n=243)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
24時間対応体制加算(220事業所/246事業所)	89.4%	88.2%	86.4%	91.2%	86.7%	100.0%	86.4%	97.0%	94.4%	80.0%	100.0%
訪問看護ターミナルケア療養費(189事業所/243事業所)	77.8%	82.4%	81.0%	71.4%	77.3%	63.6%	75.0%	84.8%	83.3%	72.0%	100.0%

医療保険の加算の届出をしている事業所の請求実績 (2次医療圏別合計利用実人数)(単位:人) (24時間対応体制加算 n=220 訪問看護ターミナルケア療養費 n=189)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
24時間対応体制加算	5428	894	251	827	1268	270	457	727	362	341	31
訪問看護ターミナルケア療養費	407	60	12	103	54	6	14	95	31	30	2

[医療保険の加算の請求実績(1事業所あたり平均実人数)]

24 時間対応体制加算 (n=220) ターミナルケア療養費(n=189)

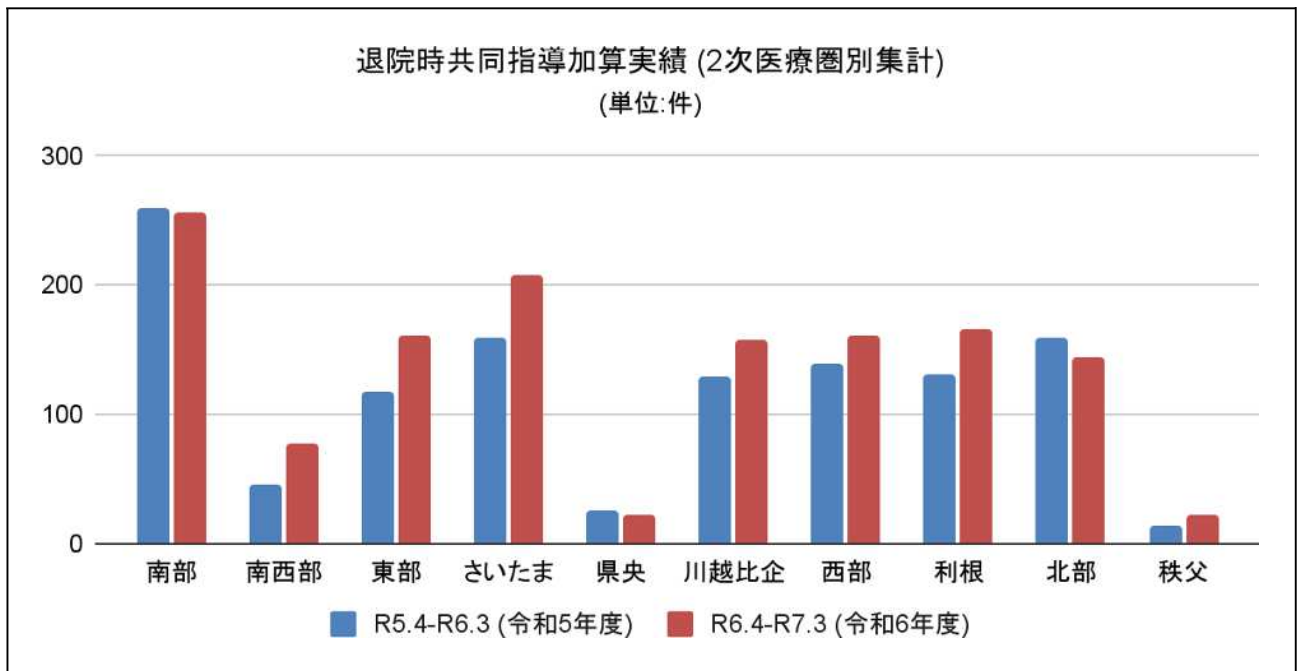
医療保険の加算の届出をしている事業所の請求実績 (2次医療圏別1事業所あたり平均利用実人数)(単位:人) (24時間対応体制加算 n=220 訪問看護ターミナルケア療養費 n=189)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
24時間対応体制加算	24.7	29.8	13.2	26.7	32.5	24.5	24.1	22.7	21.3	17.1	15.5
訪問看護ターミナルケア療養費	2.2	2.1	0.7	4.1	1.6	0.9	0.9	3.4	2.1	1.7	1.0

24 時間対応体制加算を届け出ている事業所は、全体の89.4%。

訪問看護ターミナルケア療養費を届け出ている事業所は、全体の77.8%である。

問12 医療機関との連携実績(退院時共同指導加算の実績)について教えてください。

療機関との連携実績(退院時共同指導加算の実績)(2次医療圏別加算件数)(令和5年度 n=224 令和6年度 n=227)(単位:件)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
R5.4-R6.3(令和5年度)	1182	259	46	118	159	26	129	140	131	160	14
R6.4-R7.3(令和6年度)	1378	257	77	161	208	22	158	161	166	145	23

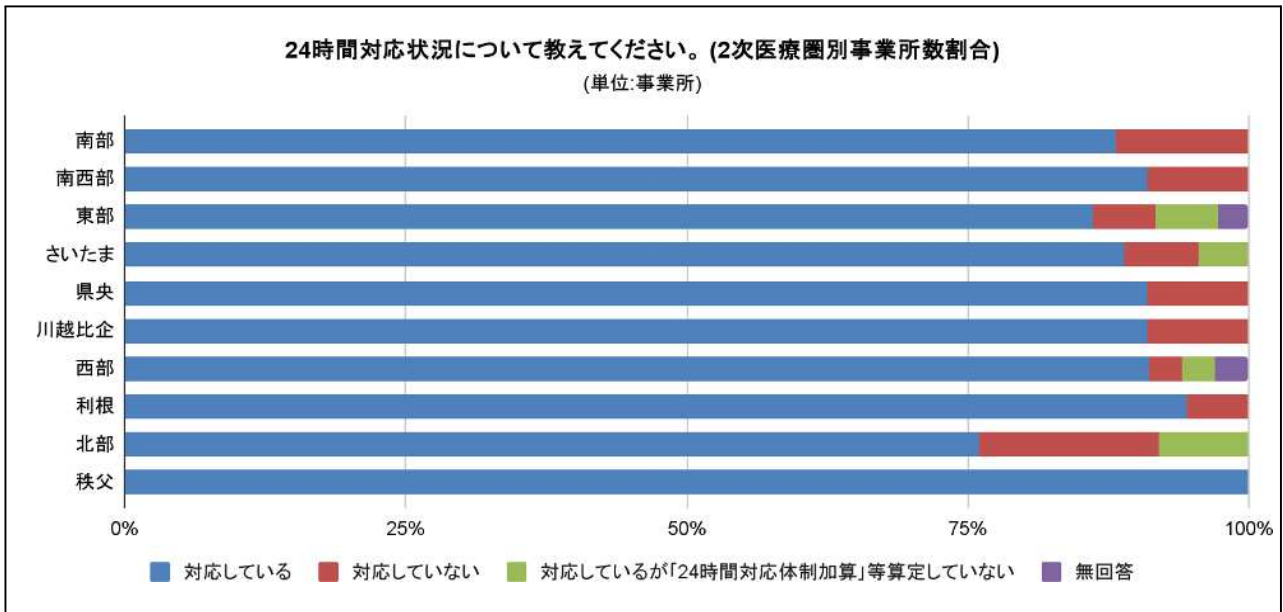


問13 24時間対応体制・緊急時訪問看護加算について教えてください。

(「24時間対応体制加算」「緊急時訪問看護加算」を届出していますか。)

24時間対応状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数)(n=249)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
① 対応している	220	30	20	31	40	10	20	31	17	19	2
② 対応していない	20	4	2	2	3	1	2	1	1	4	0
③ 対応しているが「24時間対応体制加算」等算定していない	7	0	0	2	2	0	0	1	0	2	0
無回答	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0

24時間対応状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数割合)(n=249)(単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 対応している	88.4%	88.2%	90.9%	86.1%	88.9%	90.9%	90.9%	91.2%	94.4%	76.0%	100.0%
② 対応していない	8.0%	11.8%	9.1%	5.6%	6.7%	9.1%	9.1%	2.9%	5.6%	16.0%	0.0%
③ 対応しているが「24時間対応体制加算」等算定していない	2.8%	0.0%	0.0%	5.6%	4.4%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	8.0%	0.0%
無回答	0.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%



24時間対応状況については、88.4%の事業所が対応しており、対応していない事業所は8%であった。

問13 ー「① 対応している」と回答された方は看護業務の負担軽減の体制設備の状況について教えてください。

看護業務の負担軽減の体制設備の状況 n=220 (単位:事業所)	
ア. 体制設備あり	168
イ. 体制設備なし	50

問13 ー「② 対応していない」と回答された方はその理由を教えてください。

24時間対応していない理由(複数回答可) n=20 (単位:事業所)	
ア. スタッフが少なく、対応できないため	11
イ. 人数的に対応可能だが、スタッフの負担を考慮し対応していないため	3
ウ. 24時間対応を必要とする利用者がいないため	2
エ. その他	4

※エ. その他

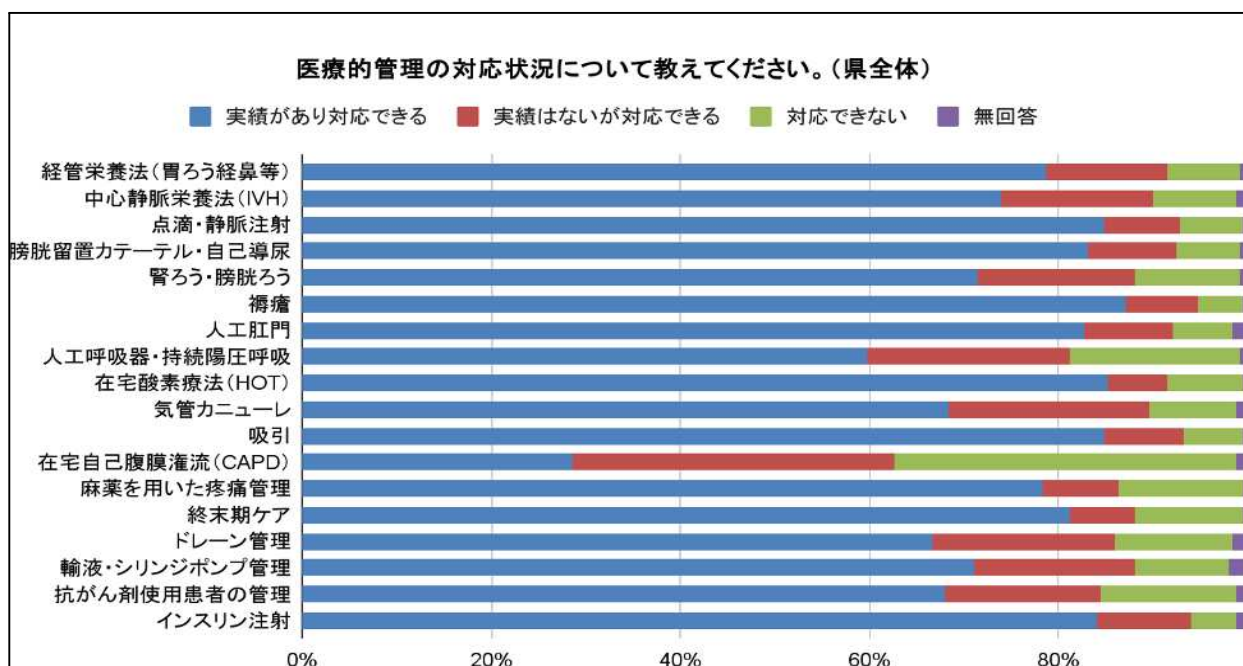
- ・不明
- ・会社の方針
- ・対応人数はぎりぎり可能だが管理者が変わり、電カルの導入等体制変更の検討中
- ・9月より算定予定
- ・会社規定

問13 ー待機当番は月平均何日ありますか。

待機当番は月平均何日ありますか n=244 (単位:事業所)		
	スタッフ	管理者
① 待機当番なし	46	50
② 8日未満	112	75
③ 8日以上	77	89
④ 毎日	8	28

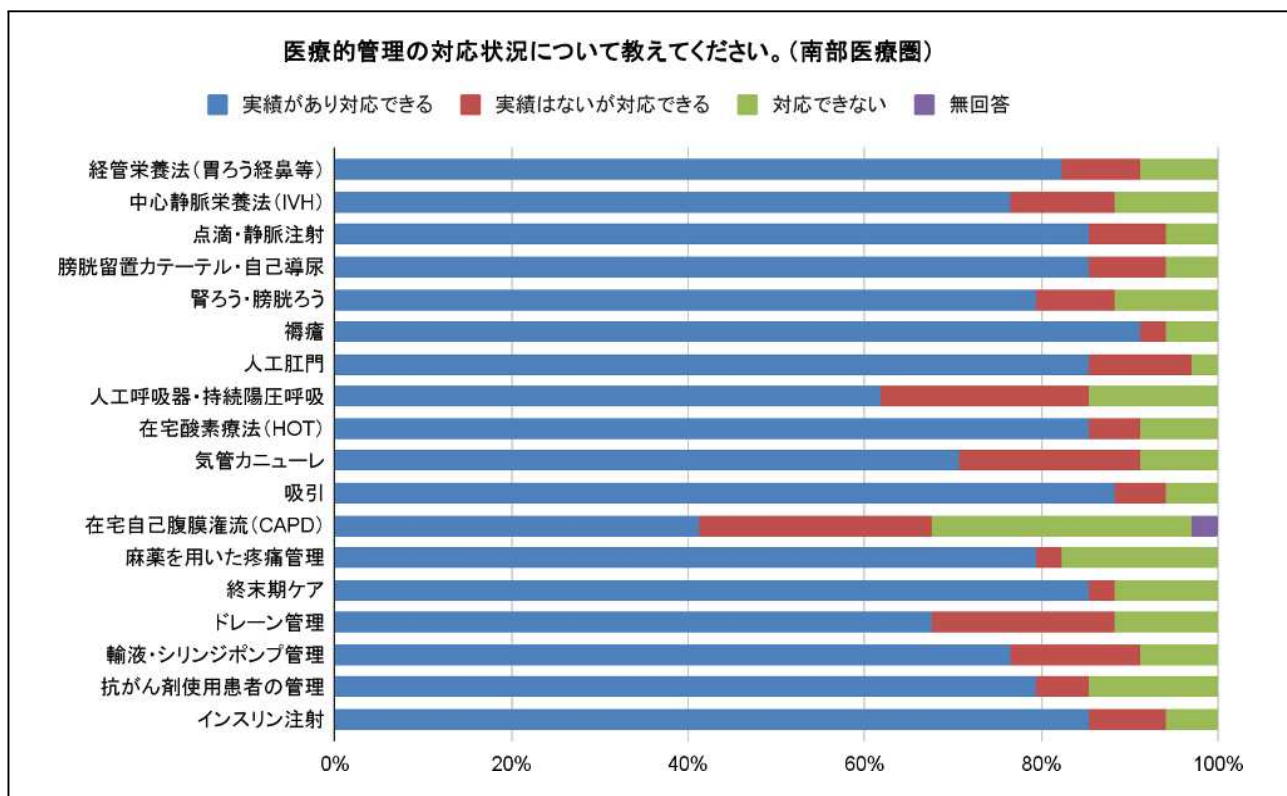
問14. 医療的管理の対応状況について教えてください。

医療的管理の対応状況について教えてください。(埼玉県全体における事業所割合) (n=249) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	78.7%	12.9%	7.6%	0.8%
中心静脈栄養法(IVH)	73.9%	16.1%	8.8%	1.2%
点滴・静脈注射	84.7%	8.0%	6.8%	0.4%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	83.1%	9.2%	6.8%	0.8%
腎ろう・膀胱ろう	71.5%	16.5%	11.2%	0.8%
褥瘡	87.1%	7.6%	4.8%	0.4%
人工肛門	82.7%	9.2%	6.4%	1.6%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	59.8%	21.3%	18.1%	0.8%
在宅酸素療法(HOT)	85.1%	6.4%	8.0%	0.4%
気管カニューレ	68.3%	21.3%	9.2%	1.2%
吸引	84.7%	8.4%	6.4%	0.4%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	28.5%	34.1%	36.1%	1.2%
麻薬を用いた疼痛管理	78.3%	8.0%	13.3%	0.4%
終末期ケア	81.1%	6.8%	11.6%	0.4%
ドレーン管理	66.7%	19.3%	12.4%	1.6%
輸液・シリンジポンプ管理	71.1%	16.9%	10.0%	2.0%
抗がん剤使用患者の管理	67.9%	16.5%	14.5%	1.2%
インスリン注射	83.9%	10.0%	4.8%	1.2%



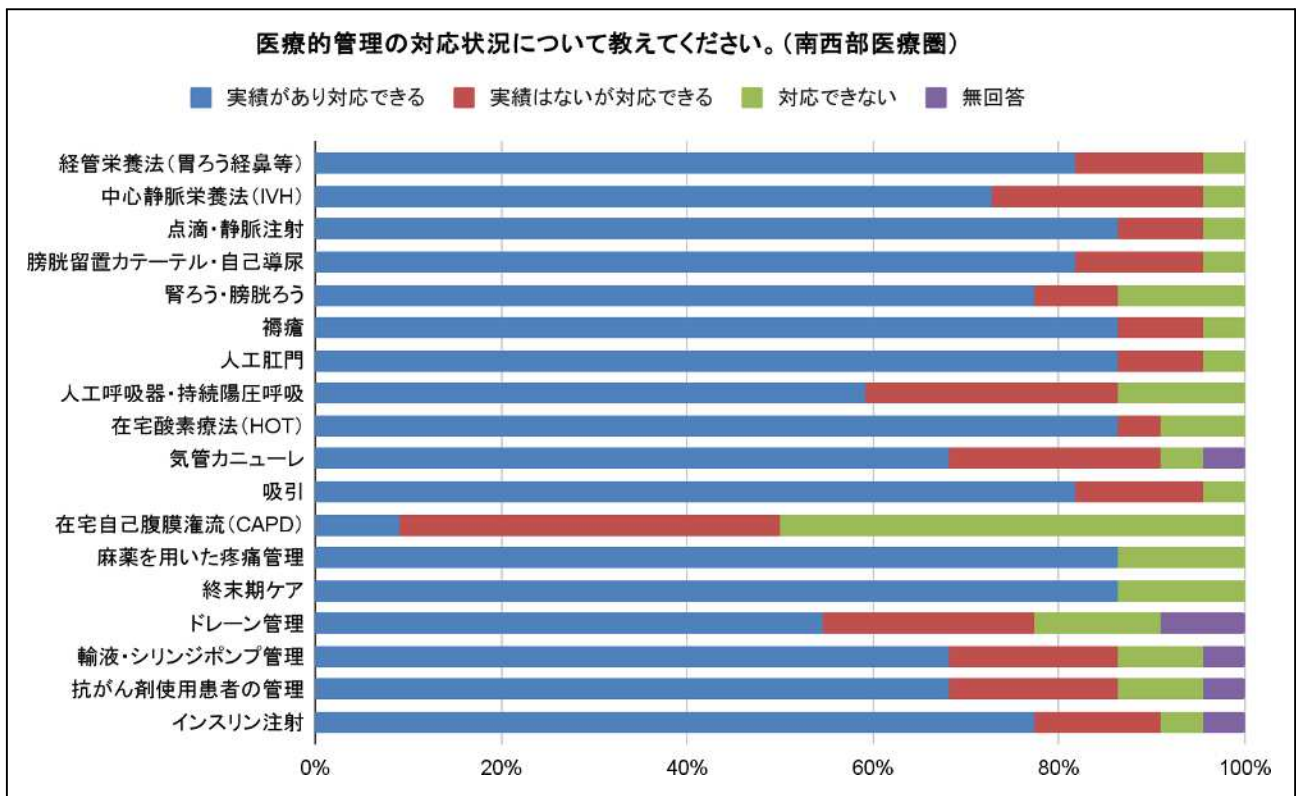
[南部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(南部医療圏における事業所割合) (n=34) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	82.4%	8.8%	8.8%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	76.5%	11.8%	11.8%	0.0%
点滴・静脈注射	85.3%	8.8%	5.9%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	85.3%	8.8%	5.9%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	79.4%	8.8%	11.8%	0.0%
褥瘡	91.2%	2.9%	5.9%	0.0%
人工肛門	85.3%	11.8%	2.9%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	61.8%	23.5%	14.7%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	85.3%	5.9%	8.8%	0.0%
気管カニューレ	70.6%	20.6%	8.8%	0.0%
吸引	88.2%	5.9%	5.9%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	41.2%	26.5%	29.4%	2.9%
麻薬を用いた疼痛管理	79.4%	2.9%	17.6%	0.0%
終末期ケア	85.3%	2.9%	11.8%	0.0%
ドレーン管理	67.6%	20.6%	11.8%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	76.5%	14.7%	8.8%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	79.4%	5.9%	14.7%	0.0%
インスリン注射	85.3%	8.8%	5.9%	0.0%



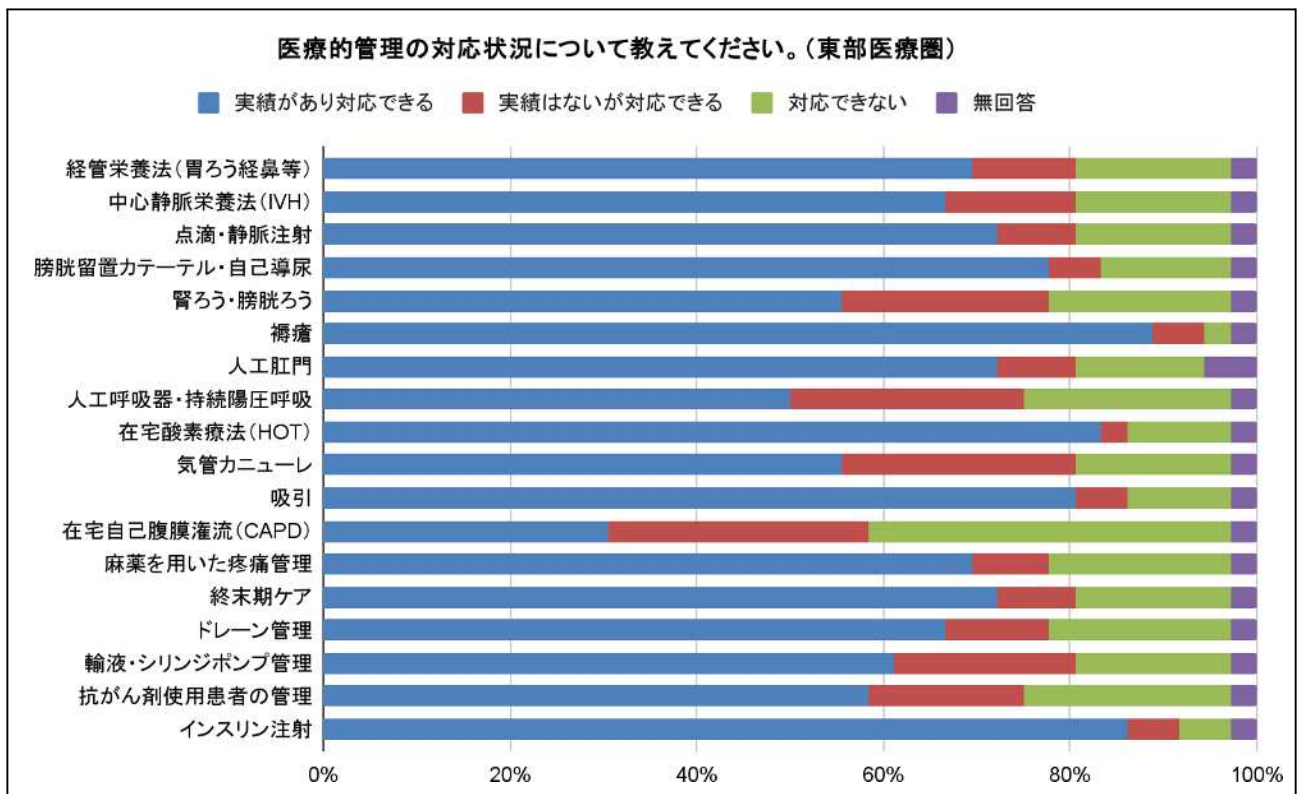
[南西部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(南西部医療圏における事業所割合) (n=22) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	81.8%	13.6%	4.5%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	72.7%	22.7%	4.5%	0.0%
点滴・静脈注射	86.4%	9.1%	4.5%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	81.8%	13.6%	4.5%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	77.3%	9.1%	13.6%	0.0%
褥瘡	86.4%	9.1%	4.5%	0.0%
人工肛門	86.4%	9.1%	4.5%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	59.1%	27.3%	13.6%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
気管カニューレ	68.2%	22.7%	4.5%	4.5%
吸引	81.8%	13.6%	4.5%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	9.1%	40.9%	50.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	86.4%	0.0%	13.6%	0.0%
終末期ケア	86.4%	0.0%	13.6%	0.0%
ドレーン管理	54.5%	22.7%	13.6%	9.1%
輸液・シリンジポンプ管理	68.2%	18.2%	9.1%	4.5%
抗がん剤使用患者の管理	68.2%	18.2%	9.1%	4.5%
インスリン注射	77.3%	13.6%	4.5%	4.5%



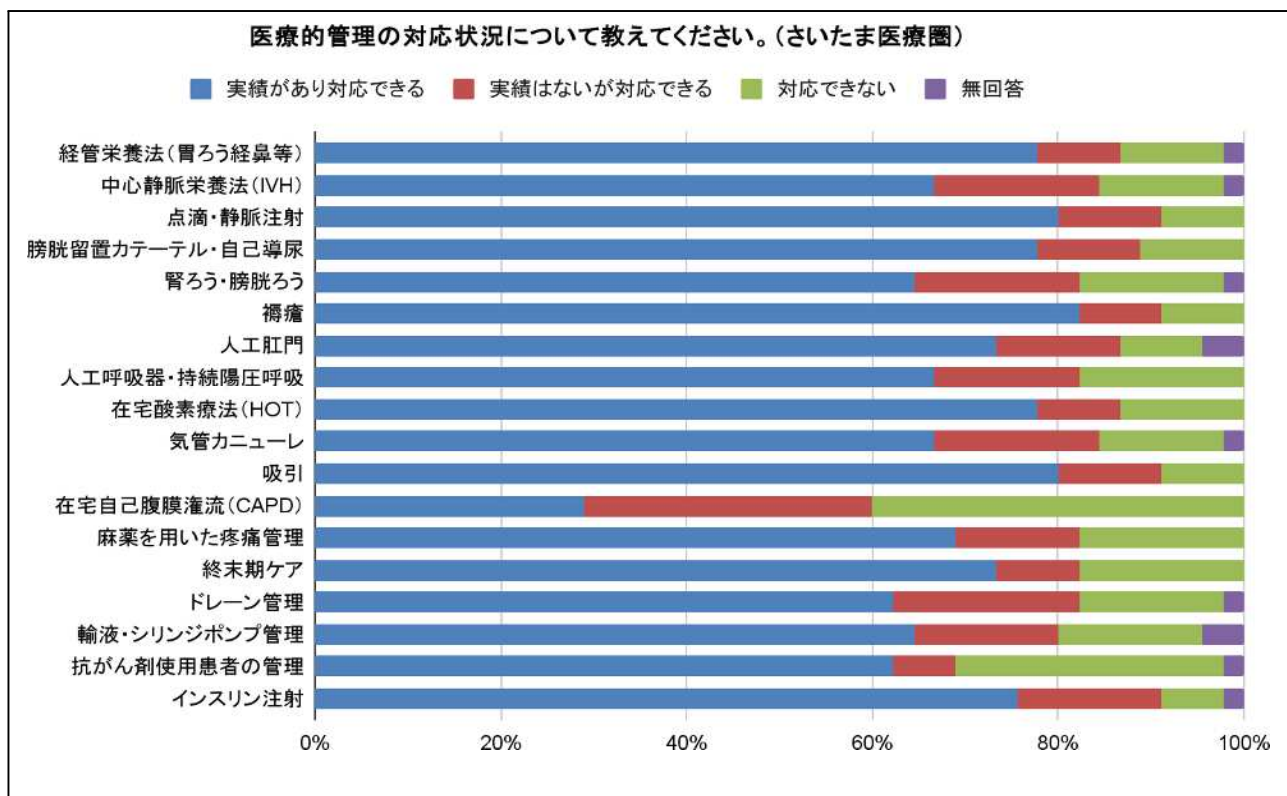
[東部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(東部医療圏における事業所割合) (n=36) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	69.4%	11.1%	16.7%	2.8%
中心静脈栄養法(IVH)	66.7%	13.9%	16.7%	2.8%
点滴・静脈注射	72.2%	8.3%	16.7%	2.8%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	77.8%	5.6%	13.9%	2.8%
腎ろう・膀胱ろう	55.6%	22.2%	19.4%	2.8%
褥瘡	88.9%	5.6%	2.8%	2.8%
人工肛門	72.2%	8.3%	13.9%	5.6%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	50.0%	25.0%	22.2%	2.8%
在宅酸素療法(HOT)	83.3%	2.8%	11.1%	2.8%
気管カニューレ	55.6%	25.0%	16.7%	2.8%
吸引	80.6%	5.6%	11.1%	2.8%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	30.6%	27.8%	38.9%	2.8%
麻薬を用いた疼痛管理	69.4%	8.3%	19.4%	2.8%
終末期ケア	72.2%	8.3%	16.7%	2.8%
ドレーン管理	66.7%	11.1%	19.4%	2.8%
輸液・シリンジポンプ管理	61.1%	19.4%	16.7%	2.8%
抗がん剤使用患者の管理	58.3%	16.7%	22.2%	2.8%
インスリン注射	86.1%	5.6%	5.6%	2.8%



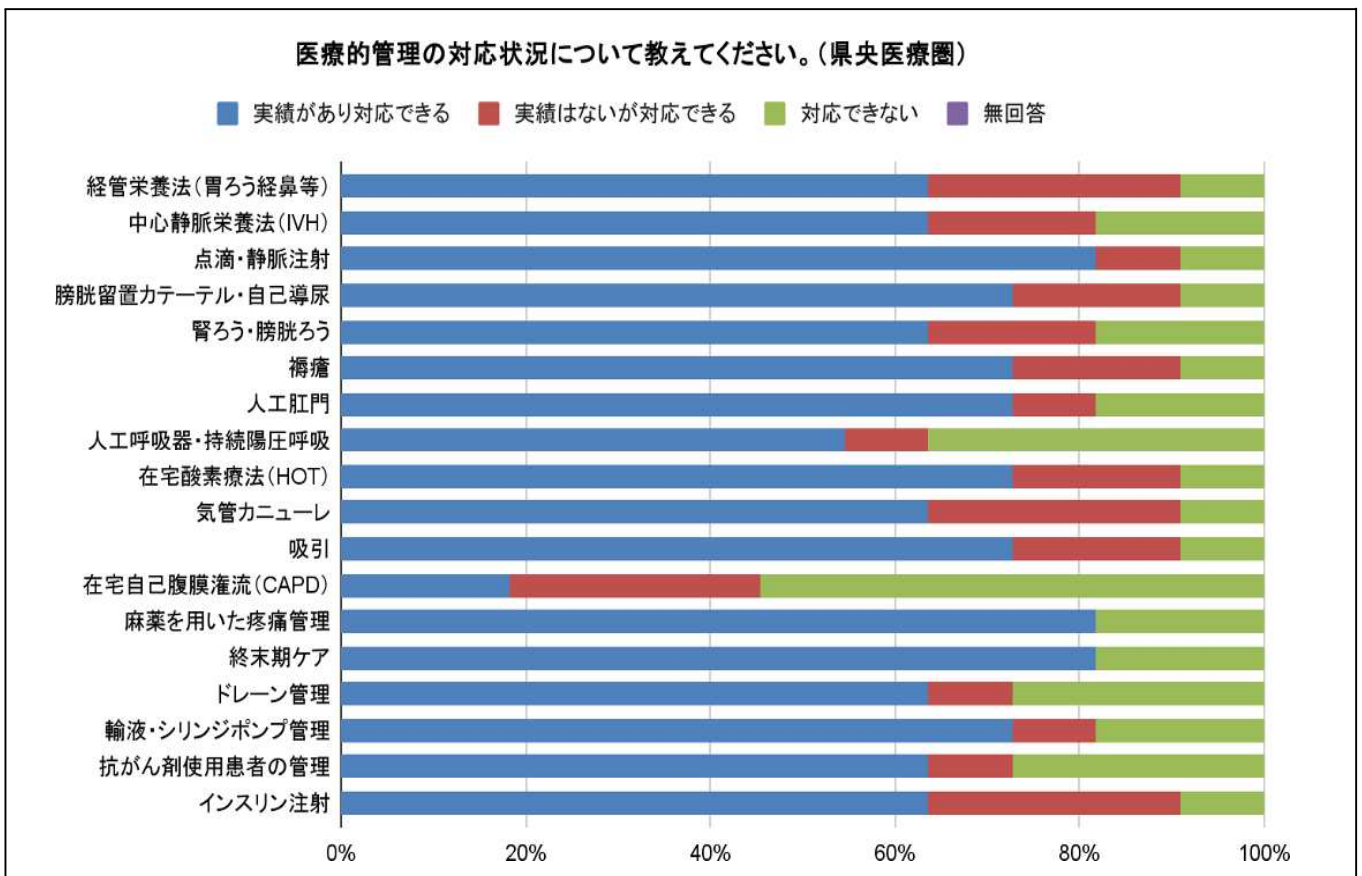
[さいたま医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(さいたま医療圏における事業所割合) (n=45) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	77.8%	8.9%	11.1%	2.2%
中心静脈栄養法(IVH)	66.7%	17.8%	13.3%	2.2%
点滴・静脈注射	80.0%	11.1%	8.9%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	64.4%	17.8%	15.6%	2.2%
褥瘡	82.2%	8.9%	8.9%	0.0%
人工肛門	73.3%	13.3%	8.9%	4.4%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	66.7%	15.6%	17.8%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	77.8%	8.9%	13.3%	0.0%
気管カニューレ	66.7%	17.8%	13.3%	2.2%
吸引	80.0%	11.1%	8.9%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	28.9%	31.1%	40.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	68.9%	13.3%	17.8%	0.0%
終末期ケア	73.3%	8.9%	17.8%	0.0%
ドレーン管理	62.2%	20.0%	15.6%	2.2%
輸液・シリンジポンプ管理	64.4%	15.6%	15.6%	4.4%
抗がん剤使用患者の管理	62.2%	6.7%	28.9%	2.2%
インスリン注射	75.6%	15.6%	6.7%	2.2%



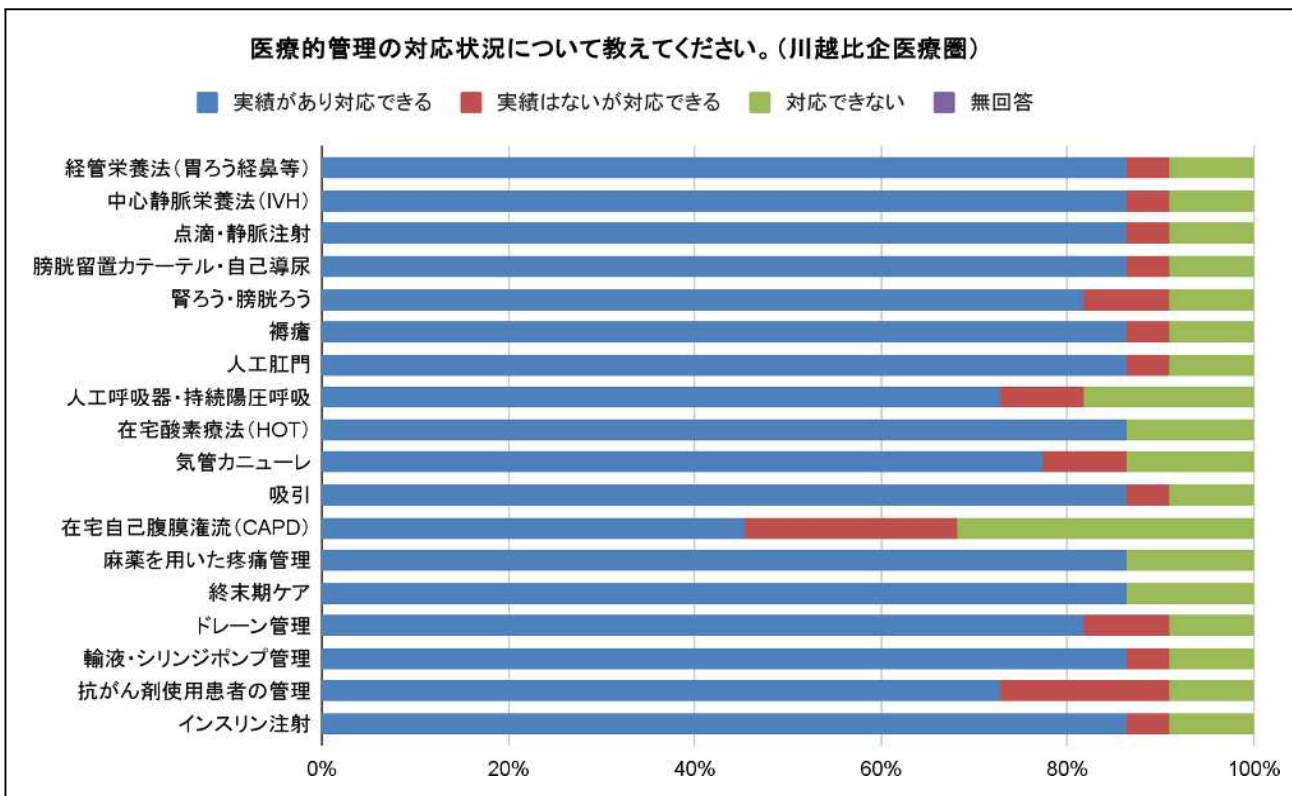
[県央医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(県央医療圏における事業所割合) (n=11) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	63.6%	18.2%	18.2%	0.0%
点滴・静脈注射	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	63.6%	18.2%	18.2%	0.0%
褥瘡	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
人工肛門	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	54.5%	9.1%	36.4%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
気管カニューレ	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
吸引	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	18.2%	27.3%	54.5%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	81.8%	0.0%	18.2%	0.0%
終末期ケア	81.8%	0.0%	18.2%	0.0%
ドレーン管理	63.6%	9.1%	27.3%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	63.6%	9.1%	27.3%	0.0%
インスリン注射	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%



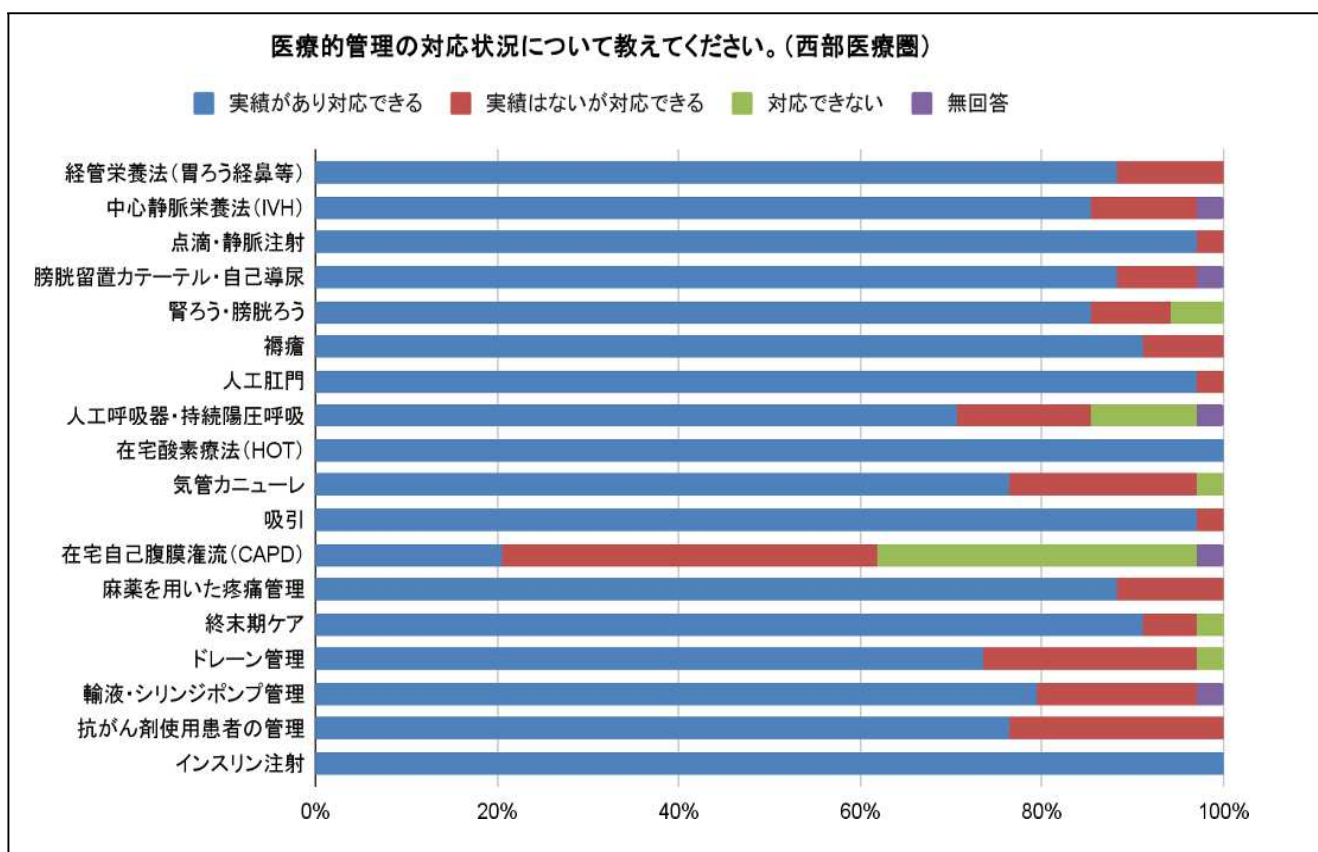
[川越比企医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(川越比企医療圏における事業所割合) (n=22) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
点滴・静脈注射	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%
褥瘡	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
人工肛門	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	86.4%	0.0%	13.6%	0.0%
気管カニューレ	77.3%	9.1%	13.6%	0.0%
吸引	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	45.5%	22.7%	31.8%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	86.4%	0.0%	13.6%	0.0%
終末期ケア	86.4%	0.0%	13.6%	0.0%
ドレーン管理	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
インスリン注射	86.4%	4.5%	9.1%	0.0%



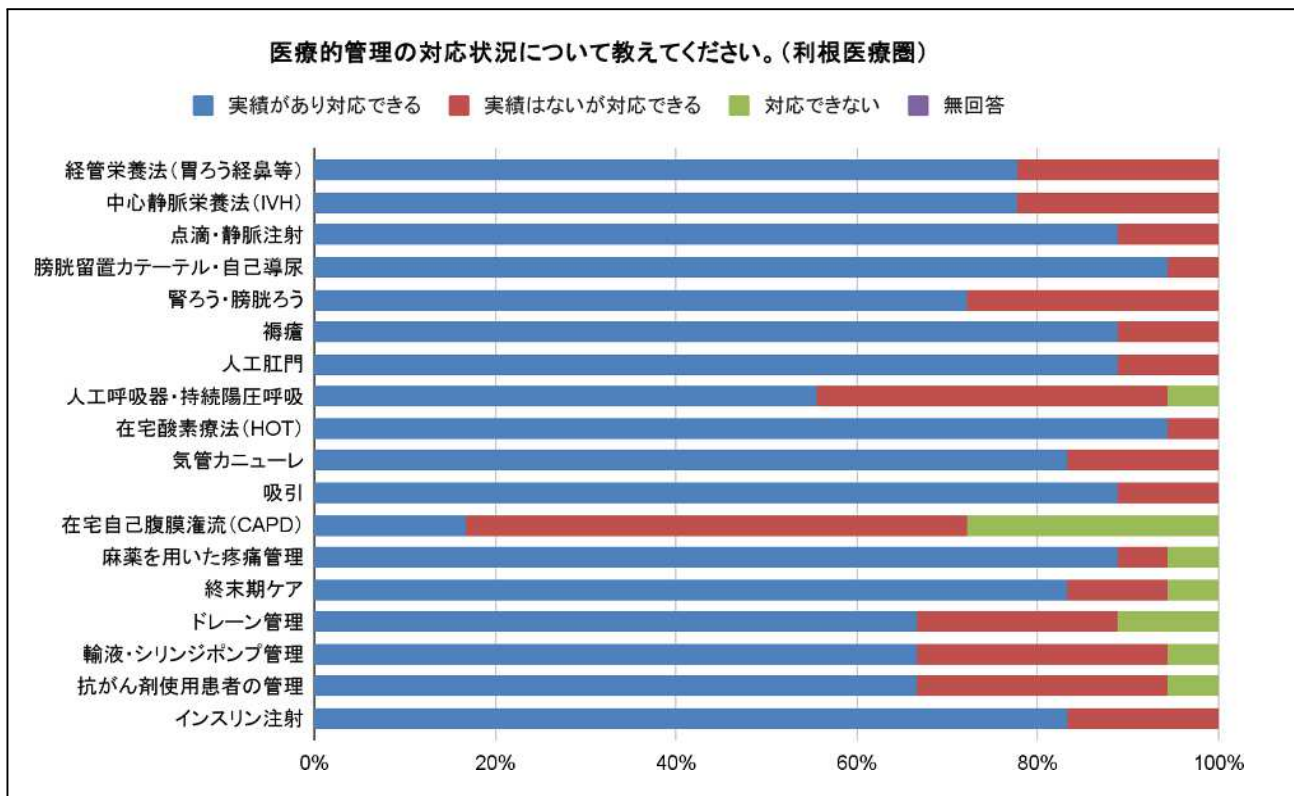
[西部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(西部医療圏における事業所割合) (n=34) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	85.3%	11.8%	0.0%	2.9%
点滴・静脈注射	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	88.2%	8.8%	0.0%	2.9%
腎ろう・膀胱ろう	85.3%	8.8%	5.9%	0.0%
褥瘡	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%
人工肛門	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	70.6%	14.7%	11.8%	2.9%
在宅酸素療法(HOT)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管カニューレ	76.5%	20.6%	2.9%	0.0%
吸引	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	20.6%	41.2%	35.3%	2.9%
麻薬を用いた疼痛管理	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%
終末期ケア	91.2%	5.9%	2.9%	0.0%
ドレーン管理	73.5%	23.5%	2.9%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	79.4%	17.6%	0.0%	2.9%
抗がん剤使用患者の管理	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
インスリン注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



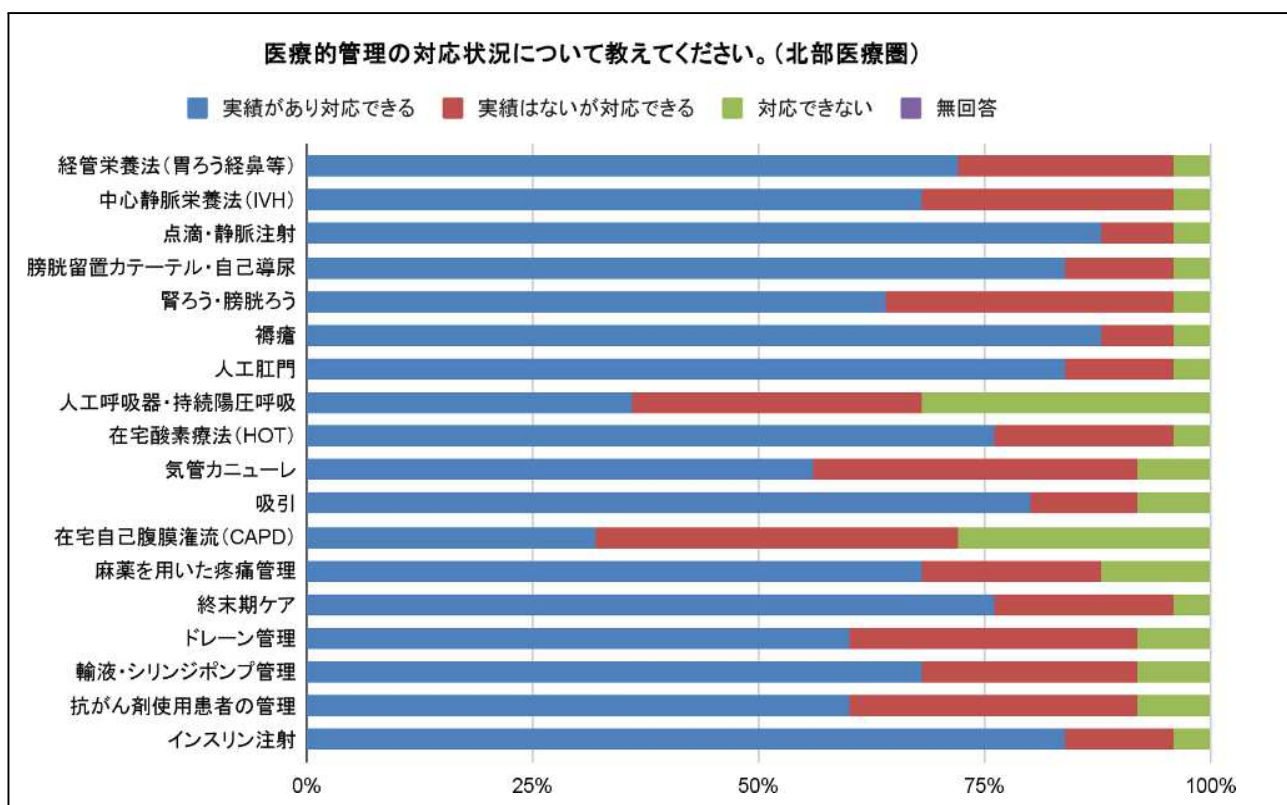
[利根医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(利根医療圏における事業所割合) (n=18) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%
褥瘡	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
人工肛門	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%
気管カニューレ	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
吸引	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	16.7%	55.6%	27.8%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	88.9%	5.6%	5.6%	0.0%
終末期ケア	83.3%	11.1%	5.6%	0.0%
ドレーン管理	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	66.7%	27.8%	5.6%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	66.7%	27.8%	5.6%	0.0%
インスリン注射	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%



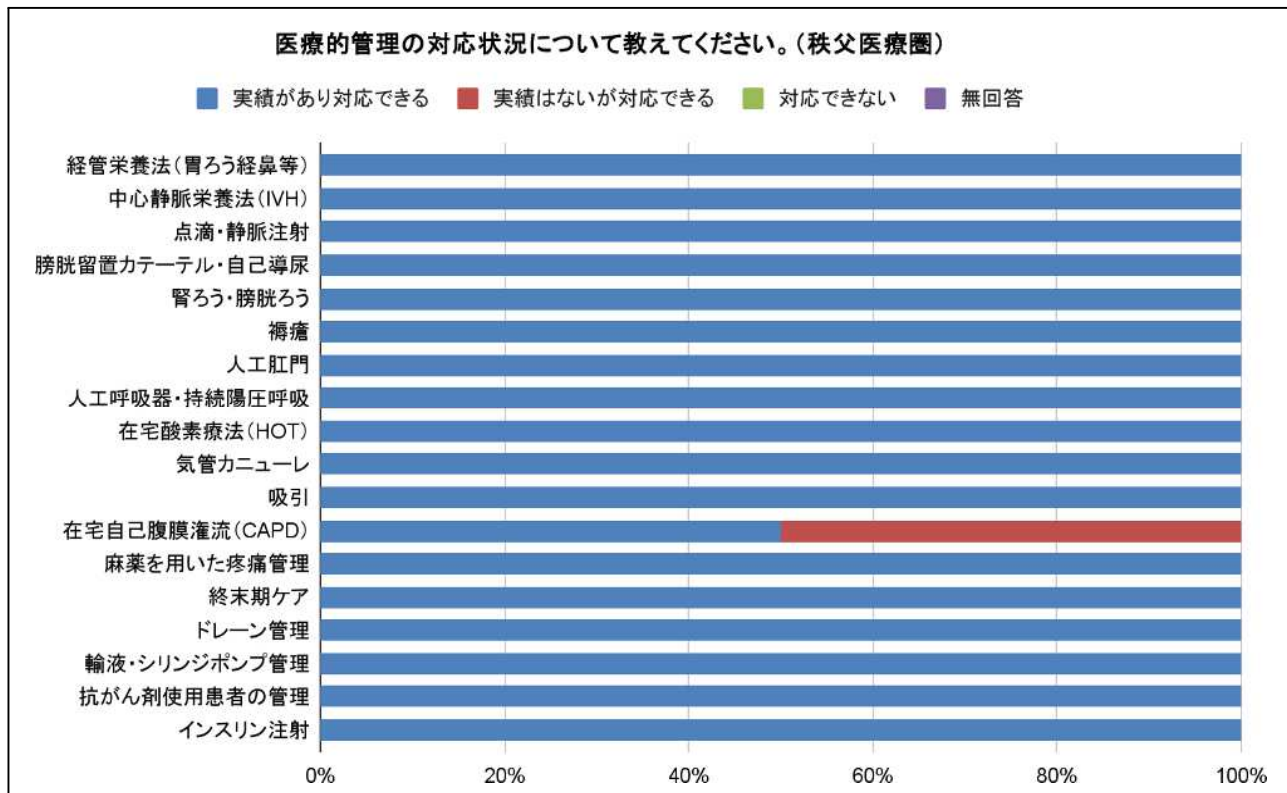
[北部医療圏]

医療的管理の対応状況について教えてください。(北部医療圏における事業所割合) (n=25) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	72.0%	24.0%	4.0%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	68.0%	28.0%	4.0%	0.0%
点滴・静脈注射	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	84.0%	12.0%	4.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	64.0%	32.0%	4.0%	0.0%
褥瘡	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%
人工肛門	84.0%	12.0%	4.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	36.0%	32.0%	32.0%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	76.0%	20.0%	4.0%	0.0%
気管カニューレ	56.0%	36.0%	8.0%	0.0%
吸引	80.0%	12.0%	8.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	32.0%	40.0%	28.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	68.0%	20.0%	12.0%	0.0%
終末期ケア	76.0%	20.0%	4.0%	0.0%
ドレーン管理	60.0%	32.0%	8.0%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	68.0%	24.0%	8.0%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	60.0%	32.0%	8.0%	0.0%
インスリン注射	84.0%	12.0%	4.0%	0.0%



[秩父医療圏]

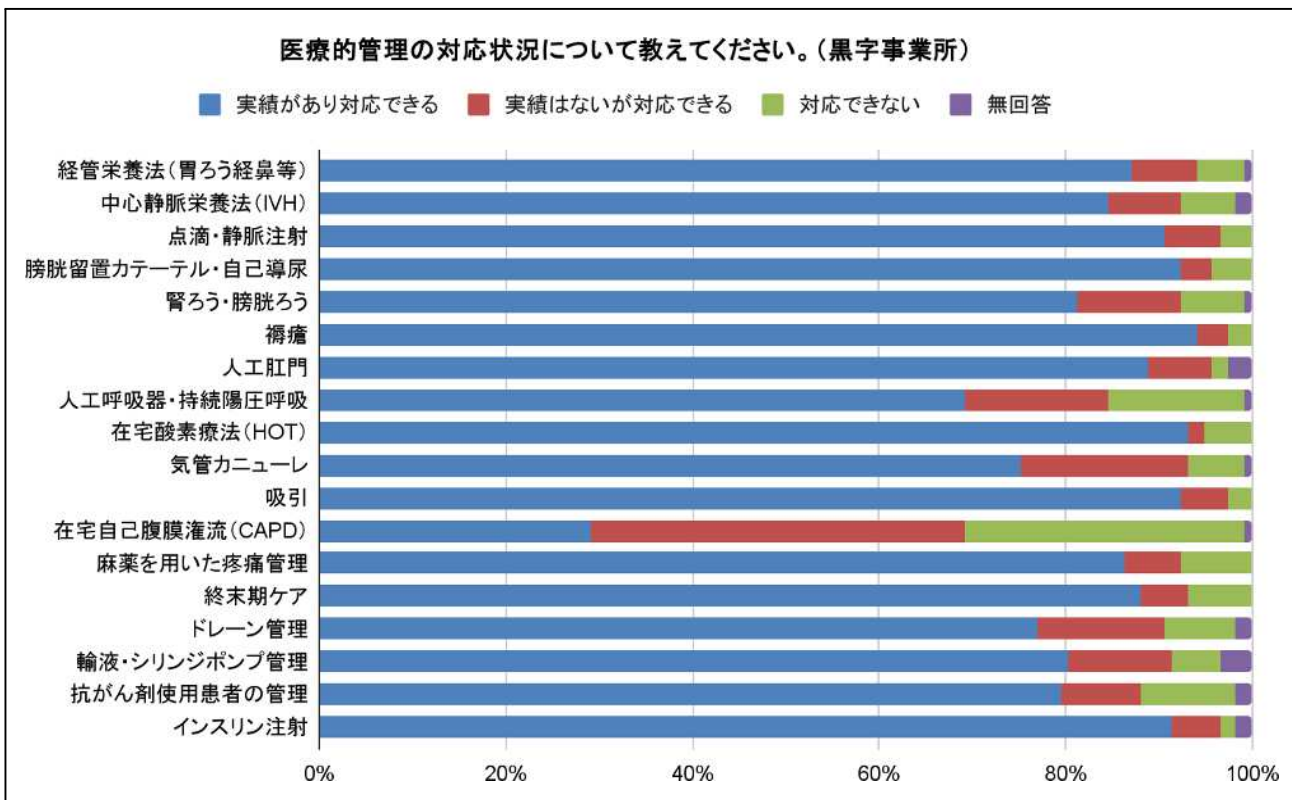
医療的管理の対応状況について教えてください。(秩父医療圏における事業所割合) (n=2) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
褥瘡	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工肛門	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管カニューレ	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吸引	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
終末期ケア	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ドレーン管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
インスリン注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



[収支別医療的管理の対応状況]

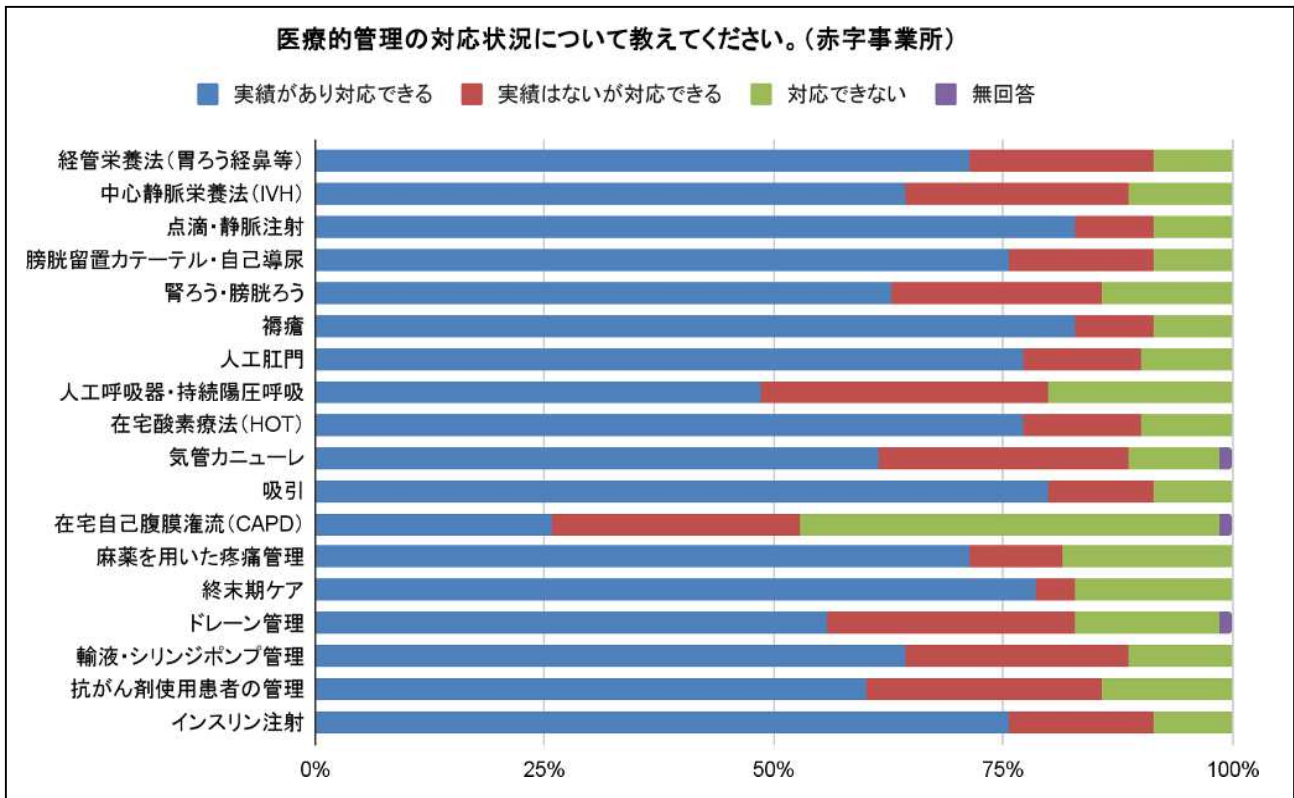
【黒字事業所】(埼玉県全体)

医療的管理の対応状況について教えてください。(黒字事業所における割合) (n=117) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	87.2%	6.8%	5.1%	0.9%
中心静脈栄養法(IVH)	84.6%	7.7%	6.0%	1.7%
点滴・静脈注射	90.6%	6.0%	3.4%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	92.3%	3.4%	4.3%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	81.2%	11.1%	6.8%	0.9%
褥瘡	94.0%	3.4%	2.6%	0.0%
人工肛門	88.9%	6.8%	1.7%	2.6%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	69.2%	15.4%	14.5%	0.9%
在宅酸素療法(HOT)	93.2%	1.7%	5.1%	0.0%
気管カニューレ	75.2%	17.9%	6.0%	0.9%
吸引	92.3%	5.1%	2.6%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	29.1%	40.2%	29.9%	0.9%
麻薬を用いた疼痛管理	86.3%	6.0%	7.7%	0.0%
終末期ケア	88.0%	5.1%	6.8%	0.0%
ドレーン管理	76.9%	13.7%	7.7%	1.7%
輸液・シリンジポンプ管理	80.3%	11.1%	5.1%	3.4%
抗がん剤使用患者の管理	79.5%	8.5%	10.3%	1.7%
インスリン注射	91.5%	5.1%	1.7%	1.7%



【赤字事業所】(埼玉県全体)

医療的管理の対応状況について教えてください。(赤字事業所における割合) (n=70) (単位 %)				
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法(胃ろう経鼻等)	71.4%	20.0%	8.6%	0.0%
中心静脈栄養法(IVH)	64.3%	24.3%	11.4%	0.0%
点滴・静脈注射	82.9%	8.6%	8.6%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	75.7%	15.7%	8.6%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	62.9%	22.9%	14.3%	0.0%
褥瘡	82.9%	8.6%	8.6%	0.0%
人工肛門	77.1%	12.9%	10.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	48.6%	31.4%	20.0%	0.0%
在宅酸素療法(HOT)	77.1%	12.9%	10.0%	0.0%
気管カニューレ	61.4%	27.1%	10.0%	1.4%
吸引	80.0%	11.4%	8.6%	0.0%
在宅自己腹膜灌流(CAPD)	25.7%	27.1%	45.7%	1.4%
麻薬を用いた疼痛管理	71.4%	10.0%	18.6%	0.0%
終末期ケア	78.6%	4.3%	17.1%	0.0%
ドレーン管理	55.7%	27.1%	15.7%	1.4%
輸液・シリンジポンプ管理	64.3%	24.3%	11.4%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	60.0%	25.7%	14.3%	0.0%
インスリン注射	75.7%	15.7%	8.6%	0.0%



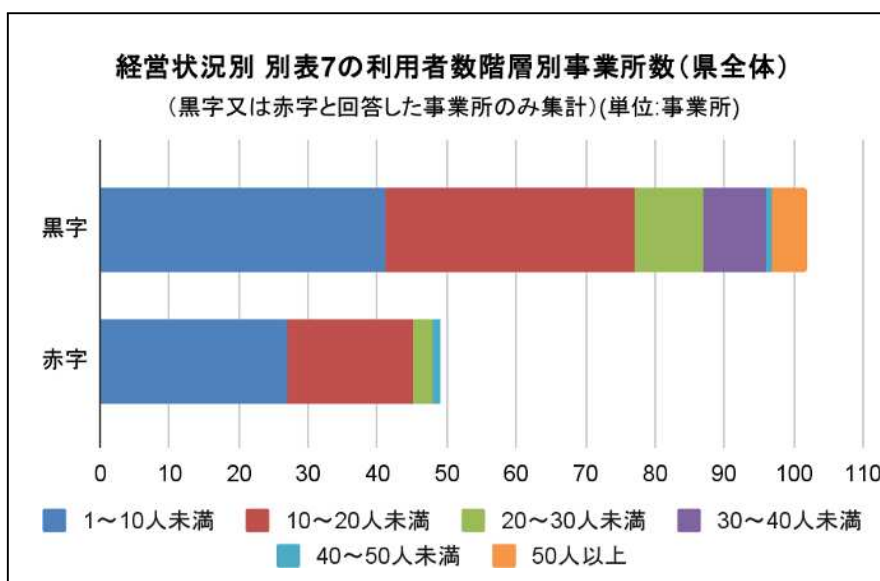
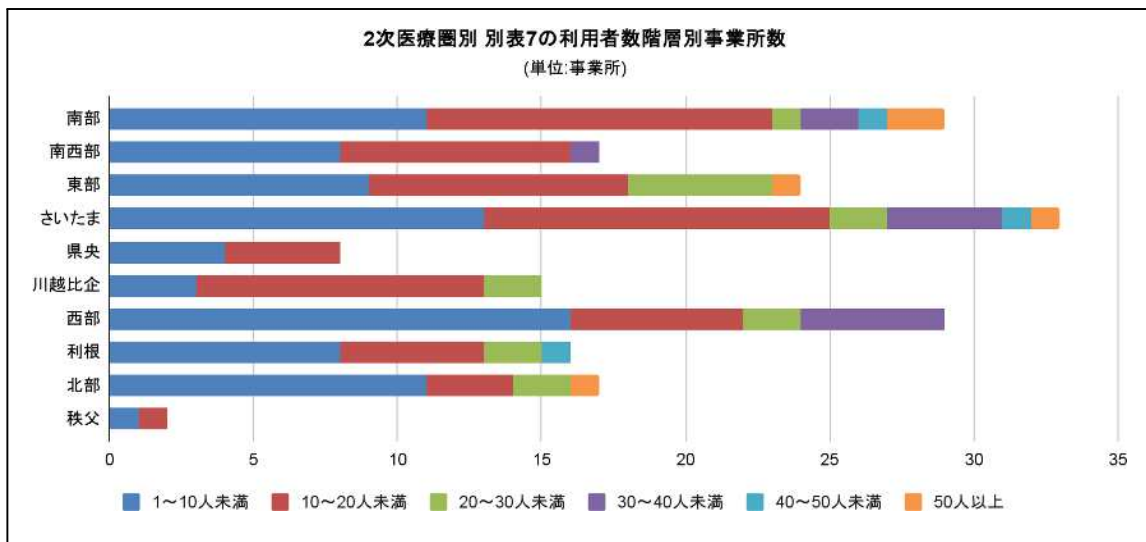
問15 重症度が高い患者の受入れ状況について教えてください。

※令和7年7月中(7/1～7/31)の特掲診療科等の施設基準別表7、別表8の利用者数

[特掲診療科等の施設基準別表7関係]

(単位:事業所)

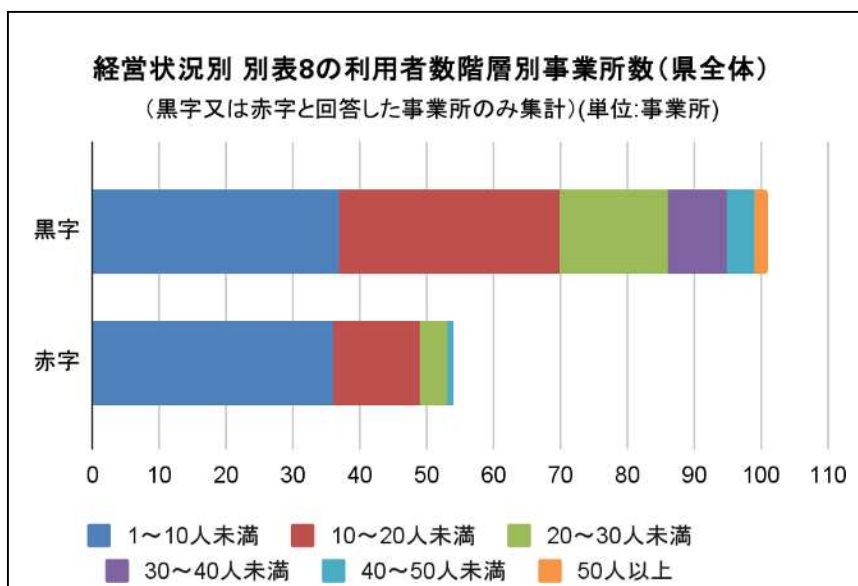
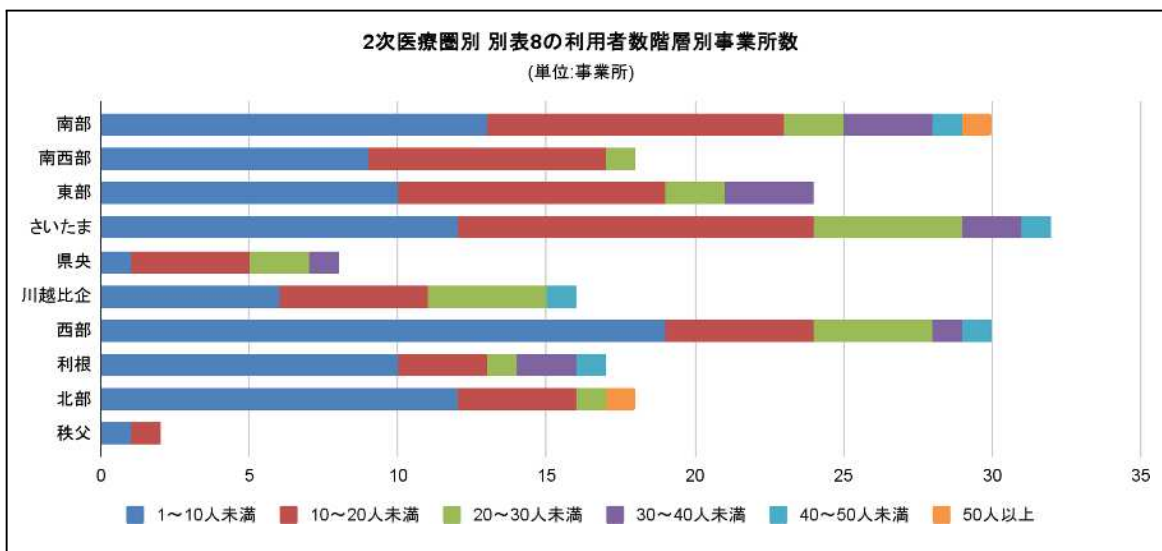
重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください (2次医療圏別 別表7の利用者数階層別事業所数) (n=190)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	190	29	17	24	33	8	15	29	16	17	2	102	49	30	8	1
1～10人未満	84	11	8	9	13	4	3	16	8	11	1	41	27	12	3	1
10～20人未満	70	12	8	9	12	4	10	6	5	3	1	36	18	13	3	0
20～30人未満	16	1	0	5	2	0	2	2	2	2	0	10	3	2	1	0
30～40人未満	12	2	1	0	4	0	0	5	0	0	0	9	0	2	1	0
40～50人未満	3	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0
50人以上	5	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0



[特掲診療科等の施設基準別表8関係]

(単位:事業所)

重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください (2次医療圏別 別表8の利用者数階層別事業所数) (n=195)												左の表の経営状況別集計				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	195	30	18	24	32	8	16	30	17	18	2	101	54	31	8	1
1~10人未満	93	13	9	10	12	1	6	19	10	12	1	37	36	16	4	0
10~20人未満	61	10	8	9	12	4	5	5	3	4	1	33	13	11	3	1
20~30人未満	22	2	1	2	5	2	4	4	1	1	0	16	4	1	1	0
30~40人未満	12	3	0	3	2	1	0	1	2	0	0	9	0	3	0	0
40~50人未満	5	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	4	1	0	0	0
50人以上	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0

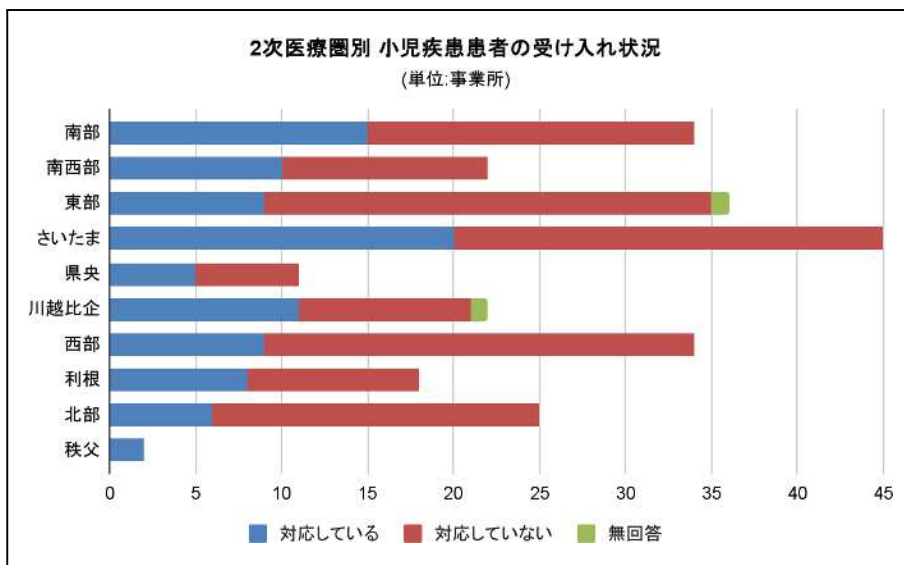


問16 小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。

※令和7年7月中(7/1~7/31)の利用者数、訪問回数

(単位:事業所)

小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数) (n=249)												左の表の経営状況別集計					
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7	
① 対応している	95	15	10	9	20	5	11	9	8	6	2	53	21	13	6	2	
② 対応していない	152	19	12	26	25	6	10	25	10	19	0	64	49	30	6	3	
無回答	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	



【利用者数】令和7年7月中(7/1~7/31)

対応している事業所の利用者数 (2次医療圏別集計) (単位:人)												
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	
(超重症児)利用者数:	103	27	16	10	14	6	4	11	11	2	2	
(準超重症児)利用者数:	70	13	8	7	11	3	2	7	15	3	1	
(その他)利用者数:	479	101	28	36	65	5	18	50	159	17	0	
合計	652	141	52	53	90	14	24	68	185	22	3	

【訪問回数】令和7年7月中(7/1~7/31)

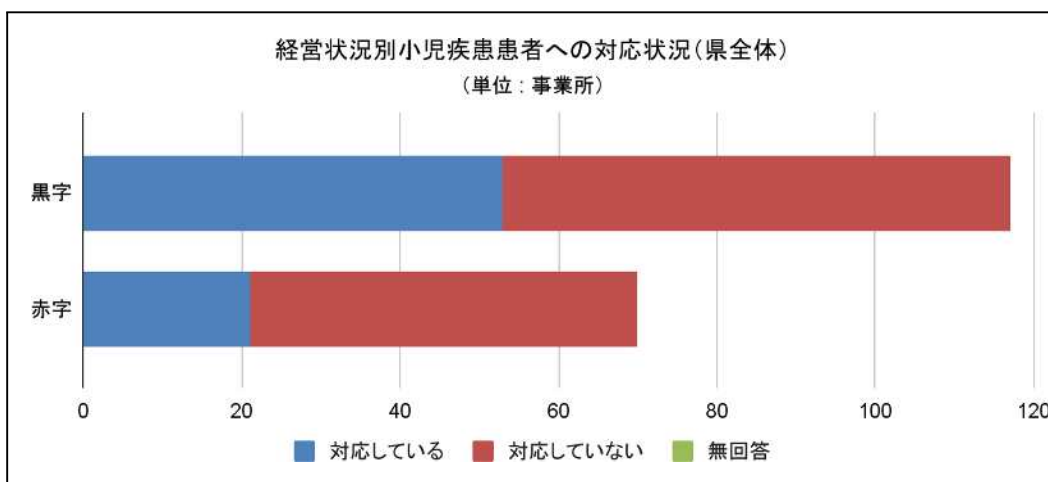
対応している事業所の訪問回数 (2次医療圏別集計) (単位:回)												
単純集計	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	
訪問回数	2,452	430	306	215	643	131	47	282	292	71	35	

1事業所当たり平均												
対応している事業所の平均訪問回数 (n=95)	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	
	25.8	28.7	30.6	23.9	32.2	26.2	4.3	31.3	36.5	11.8	17.5	

[経営状況別 小児疾患患者受け入れ状況]

※黒字・赤字と回答した事業所のみを集計

小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。(n=187)(単位:事業所・%)				
	黒字		赤字	
	件数	割合	件数	割合
全体	117	100.0%	70	100.0%
① 対応している	53	45.3%	21	30.0%
② 対応していない	64	54.7%	49	70.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%



問16 -② 小児疾患患者に対応している場合、対応する上での課題を教えてください。(複数回答可)

対応する上での課題(対応していると回答した事業所のみ回答)(複数回答可)	
ア. 小児訪問看護は難病等の特殊性・個別性が高いため、医療的ケアに不安がある。	52
イ. 病状だけではなく、成長に合わせたケアを行うことが難しい。	50
ウ. 小児在宅医療に関わる職種(医療、福祉、教育)が多く、連携を取るのが難しい。	37
エ. 小児の地域支援についての制度や法律が複雑である。	46
オ. 親との関わり方が難しい。	45
カ. 地域で訪問診療を行っている医療機関が少ない。	42
キ. レスパイト先の確保が難しい。	41
ク. 小児訪問看護の経験がある看護師の確保が難しい。	51
ケ. 看護師のスキルアップを目的とした研修を受講する機会が少ない。	21
コ. その他	5

※コ. その他

- ・受け入れ体制が可能でも新規の依頼がない(特定の訪問看護に集中していると思われる)
- ・利用者がいない
- ・以前は不安あったが今はない。理由として小児を訪問する訪問診療クリニックが定期的な指示が得られるようになった。

小児リハビリ対応の他ステーションから訪問で成長に合わせたリハビリが行われている。

- ・親の情報収集、行動力が高く、ディサービスや障害福祉サービスの利用を積極的に行っている。子育て支援の行政窓口ができ、以前は訪看で丸かかえしていた問題が今はなくなった。
- ・母親の実施する看護が習熟しているため今のところ問題なし。そうでない場合には、ア～ケまで大変だと思う。
- ・子育て経験のないスタッフもいて小児看護の苦手意識がある

問16 -③ 小児疾患患者に対応していない場合、対応していない理由を教えてください。(複数回答可)

対応していない理由(対応していないと回答した事業所のみ回答)(複数回答可)	
ア. スタッフが少なく、対応できないため	52
イ. 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足しているため	47
ウ. 経営判断により対応していないため	31
エ. 対応できるが紹介がないため	31
オ. その他	13

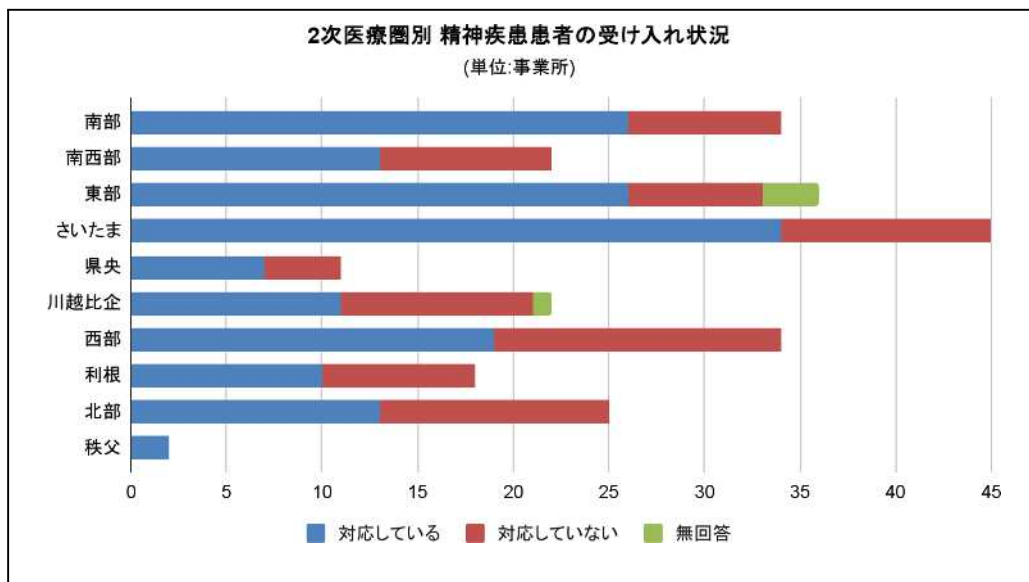
※オ. その他

- ・小児看護経験スタッフが不足しているため:3件
- ・老人ホーム内にある訪問看護ステーションの為
- ・経験者がいないため
- ・実績はあるが現在は利用者がいないため
- ・精神科特化型訪問看護を実施:2件
- ・精神疾患小児のみ受け入れている
- ・スタート間もないので対応していないが、今後対応できるようにしたい。

問17 精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。

※令和7年7月中(7/1~7/31)の利用者数、訪問回数

精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。(2次医療圏別事業所数)(n=249)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計(単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7
① 対応している	161	26	13	26	34	7	11	19	10	13	2	84	42	24	8	3
② 対応していない	84	8	9	7	11	4	10	15	8	12	0	32	28	19	4	1
無回答	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3



【利用者数】令和7年7月中(7/1～7/31)

対応している事業所の利用者数(2次医療圏別集計)(単位:人)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
利用者数	3,219	520	132	636	835	343	226	196	96	233	2

【訪問回数】令和7年7月中(7/1～7/31)

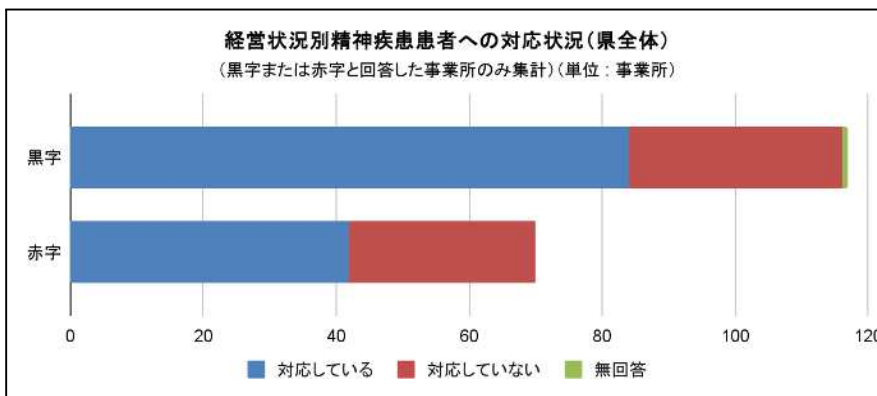
対応している事業所の訪問回数(2次医療圏別集計)(単位:回)											
単純集計	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
訪問回数	19,024	2,711	779	3,584	5,530	1,653	1,584	922	486	1,765	10

1事業所当たり平均	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
対応している事業所の平均訪問回数(n=161)	118.2	104.3	59.9	137.8	162.6	236.1	144.0	48.5	48.6	135.8	5.0

[経営状況別 精神疾患患者受け入れ状況]

※黒字・赤字と回答した事業所のみ集計

精神疾患患者の受け入れ状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数)(n=187)(単位:事業所・%)				
	黒字		赤字	
全体	117	100.0%	70	100.0%
① 対応している	84	71.8%	42	60.0%
② 対応していない	32	27.4%	28	40.0%
無回答	1	0.9%	0	0.0%



問17 -② 精神疾患患者に対応している場合、対応する上での課題を教えてください。(複数回答可)

精神疾患患者に対応している場合の対応する上での課題 (複数回答可)	
ア. 精神症状悪化時の対応が難しい(危険を伴う等)	92
イ. 身体管理が難しく、効果が見えにくい。	54
ウ. コミュニケーション・信頼関係構築が難しい。	78
エ. 単独訪問が不安であるが、複数名で訪問を行う人的余裕がない。	24
オ. 拒否・キャンセル、頻回・長時間の訪問や電話対応等により採算が合わない。	58
カ. 専門医や主治医、行政機関との連携が難しい。	43
キ. 患者の家族から協力を得ることが難しい。	46
ク. その他	8

※ク. その他

- ・特になし3件
- ・現時点ではGAFが高い人のため課題はない
- ・対応しているスタッフが1名しかいない
- ・精神科看護経験がないと内服薬や症状の対応が難しい。
- ・対応できる職員に限られるので定期訪問している職員が休んだ時に対応が難しくなる

問17 -③ 精神疾患患者に対応していない場合、対応していない理由を教えてください。(複数回答可)

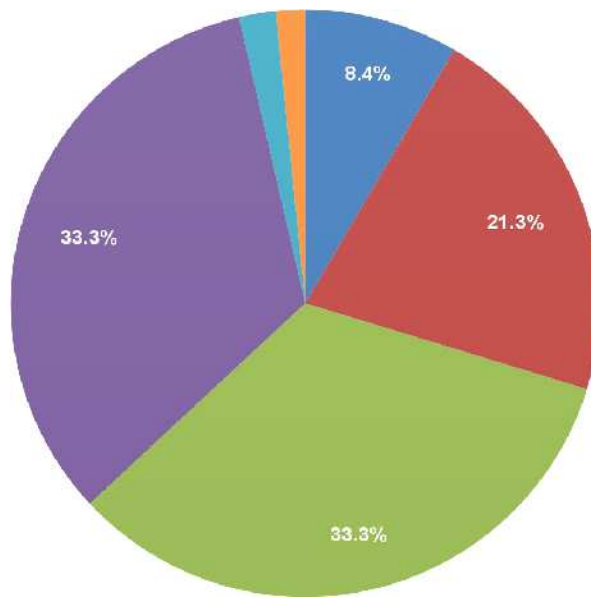
対応していない理由(対応していないと回答した場合のみ回答) (複数回答可)	
ア. スタッフが少なく、対応できないため	30
イ. 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足しているため	23
ウ. 経営判断により対応していないため	24
エ. 受け入れ態勢は整っているが、紹介がないため	11
オ. その他	6

※オ. その他

- ・精神訪問看護届け出していないため
- ・届出をしていないため
- ・資格人員無し
- ・精神を対応していない
- ・研修を修了したスタッフがいらない為
- ・精神科からの指示書受けていない。精神科訪問看護の申請していない



現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください（県全体の回答割合）

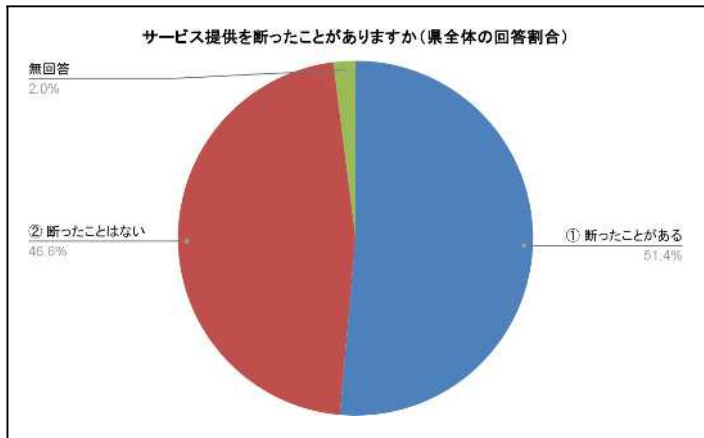


- ① 依頼数が多く、訪問依頼を断っている
- ② 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない
- ③ 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい
- ④ 依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない
- ⑤ その他
- ⑥ 無回答

問19 直近1年間(令和6年4月1日～令和7年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。

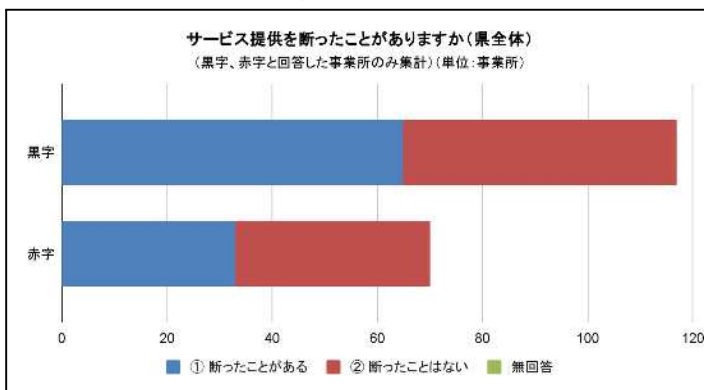
	直近1年間(令和6年4月1日～令和7年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。 (2次医療圏別事業所数) (n=249) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
① 断ったことがある	128	18	9	18	26	8	12	20	10	6	1	65	33	24	5	1	
② 断ったことはない	116	16	13	16	18	3	8	14	8	19	1	52	37	18	7	2	
無回答	5	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	
合計	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7	

	直近1年間(令和6年4月1日～令和7年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=249) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
① 断ったことがある	51.4%	52.9%	40.9%	50.0%	57.8%	72.7%	54.5%	58.8%	55.6%	24.0%	50.0%	55.6%	47.1%	55.8%	41.7%	14.3%	
② 断ったことはない	46.6%	47.1%	59.1%	44.4%	40.0%	27.3%	36.4%	41.2%	44.4%	76.0%	50.0%	44.4%	52.9%	41.9%	58.3%	28.6%	
無回答	2.0%	0.0%	0.0%	5.6%	2.2%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	57.1%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



〔経営状況別サービス提供を断ったことがありますか〕

※黒字、赤字と回答した事業所のみ集計



問20 -② サービス提供を断った理由は何ですか。(断ったことがあると回答した場合のみ回答) (複数回答可)

断ったことがある場合、断った理由 (複数回答可) (n=128)	
ア. 職員不足により、対応できなかったため	76
イ. 移動距離が長かったため	53
ウ. サービス(医療処理等)内容が対応困難だったため	32
エ. その他	14

エ. その他

- ・訪問曜日への対応不能:3件  
  土日、土日祝日
- ・訪問時間への対応不能:3件  
  24時間対応、営業時間外の連日訪問
- ・空き枠との調整不可
- ・家庭環境が悪く、スタッフの安全確保のため
- ・利用料の未払い継続
- ・支払い能力が極めて低いと判断(独居・非生保)
- ・暴力行為がある患者
- ・訪問エリア外
- ・精神疾患面談時に希望サービス提供不可と判断
- ・他事業者の介入(利用者希望)
- ・遠方への転居
- ・利用者希望により他事業所が介入
- ・利用者なし

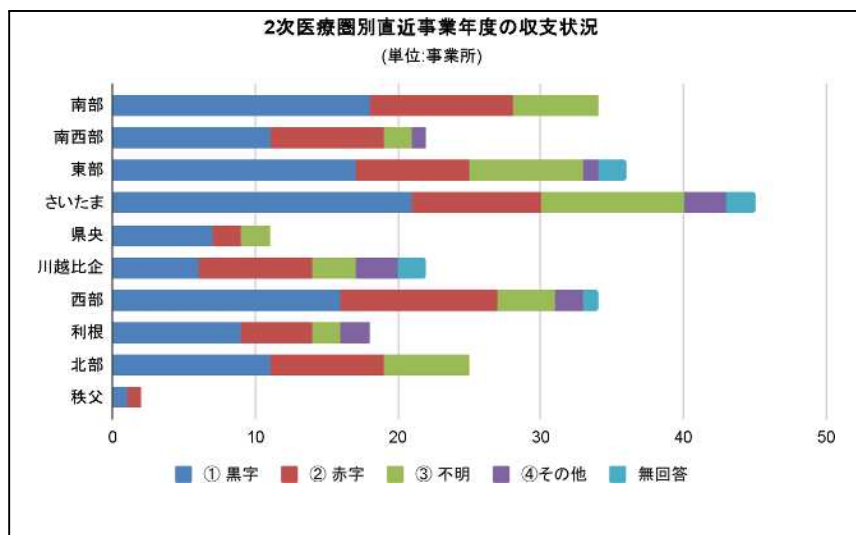
問21 直近の事業年度末決算(令和6年4月1日～令和7年3月31日)における収支状況※について教えてください。

※法人本体等からの運営費交付金を除いた、訪問看護ステーション単体の収支

直近の事業年度末決算における収支状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数)(n=249)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2
① 黒字	117	18	11	17	21	7	6	16	9	11	1
② 赤字	70	10	8	8	9	2	8	11	5	8	1
③ 不明	43	6	2	8	10	2	3	4	2	6	0
④その他	12	0	1	1	3	0	3	2	2	0	0
無回答	7	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0

#### ④その他

- ・弊社決算は1/1-12/31。前記とした場合昨年令和6年度は黒字
- ・直近1年以内の開業の為、決算未実施:3件
- ・開業前:2件
- ・管理者交代で詳細不明だが、少額の赤字と思われる
- ・恒常的
- ・収支0
- ・法人で収支対応しているため、詳細不明
- ・経理部からの収支報告がまだきていない。



直近の事業年度末決算における収支状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数割合)(n=249)(単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 黒字	47.0%	52.9%	50.0%	47.2%	46.7%	63.6%	27.3%	47.1%	50.0%	44.0%	50.0%
② 赤字	28.1%	29.4%	36.4%	22.2%	20.0%	18.2%	36.4%	32.4%	27.8%	32.0%	50.0%
③ 不明	17.3%	17.6%	9.1%	22.2%	22.2%	18.2%	13.6%	11.8%	11.1%	24.0%	0.0%
④その他	4.8%	0.0%	4.5%	2.8%	6.7%	0.0%	13.6%	5.9%	11.1%	0.0%	0.0%
無回答	2.8%	0.0%	0.0%	5.6%	4.4%	0.0%	9.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

問21 赤字の理由について教えてください。(問20で赤字と回答した場合のみ回答)(複数回答可)

赤字の理由について(問20で赤字と回答した場合のみ回答)(複数回答可)(n=70)	
① 職員数に比べて利用者数(訪問回数)が少ないため。	48
② 不採算な事業を実施したため。	0
③ 利用者数が少なく、安定的な収入が見込めないため。	33
④ 開業して間もないため。	15
⑤ その他	15

⑤ その他

- ・紹介会社経由の採用者が定着せず損失
- ・採用費用の増大
- ・人員募集の費用(退職者補充)
- ・職員の退職(欠員)
- ・退職者分の振分による残業代増加
- ・退職に伴う有給消化の負担
- ・元役員による患者引き抜き(売上減・損失)
- ・山間部・市街地への移動距離(往復50km等)、効率の良い動線が組めず、日の訪問件数が伸びない
- ・残業代の増大
- ・雇用直後のスタッフ(担当数少)により収益源
- ・人数が少ないため、夜間出動後の休暇補填による利用者数の制限がある
- ・人材確保、定着、付則などで人件費の負担
- ・借入金の返済
- ・支出の多さ:2件
- ・ターミナル対応利用者が多く、訪問件数の波が生じた

「利用者数(訪問回数)が少ない理由」を教えてください。

※問22で「① 職員数に比べて利用者数(訪問回数)が少ないため。」と回答した事業者のみ回答

利用者数(訪問回数)が少ない理由(複数回答可)(n=48)	
ア. 移動距離が長いため。	8
イ. 地域内にステーション数が多いため。	27
ウ. その他	20
無回答	0

※問21で「② 不採算な事業を実施したため。」と回答した事業所の記述  
回答無し

問23 赤字の補てん方法について教えてください。(「赤字」と回答した事業所のみ回答)(複数回答可)

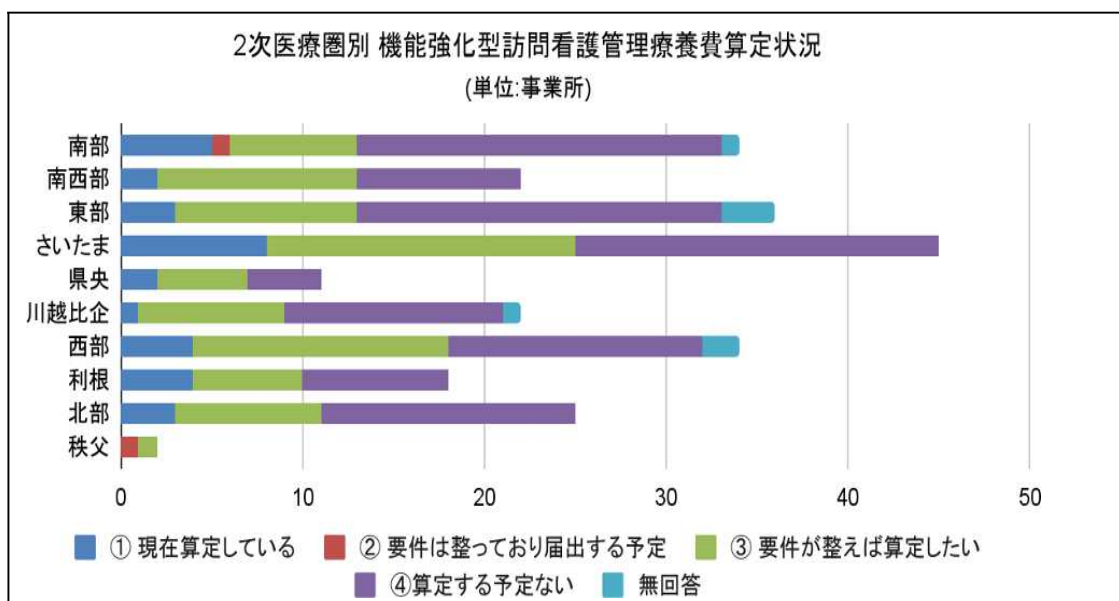
赤字の補てん方法について教えてください。(「赤字」と回答した事業所のみ回答)(複数回答可)(n=70)(単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
全体	70	10	8	8	9	2	8	11	5	8	1
① 法人本体や別会計等から補てんしている。	45	7	4	4	6	2	6	8	4	3	1
② 特に補てんしていない。	16	1	3	1	3	0	2	2	1	3	0
③ その他	9	2	1	3	0	0	0	1	0	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ その他

- ・借入
- ・自己資金
- ・補助金
- ・会社に任せている
- ・融資:3件
- ・銀行融資
- ・代表が貸し付けしている

問24 機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。

貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数)(n=249)(単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7
① 現在算定している	32	5	2	3	8	2	1	4	4	3	0	20	5	6	1	0
② 要件は整っており届出する予定	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0
③ 要件が整えば算定したい	87	7	11	10	17	5	8	14	6	8	1	42	28	11	6	0
④算定する予定ない	121	20	9	20	20	4	12	14	8	14	0	51	37	25	5	3
無回答	7	1	0	3	0	0	1	2	0	0	0	2	0	1	0	4



貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=249) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 現在算定している	12.9%	14.7%	9.1%	8.3%	17.8%	18.2%	4.5%	11.8%	22.2%	12.0%	0.0%	17.1%	7.1%	14.0%	8.3%	0.0%
② 要件は整っており届出する予定	0.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ 要件が整えば算定したい	34.9%	20.6%	50.0%	27.8%	37.8%	45.5%	36.4%	41.2%	33.3%	32.0%	50.0%	35.9%	40.0%	25.6%	50.0%	0.0%
④ 算定する予定ない	48.6%	58.8%	40.9%	55.6%	44.4%	36.4%	54.5%	41.2%	44.4%	56.0%	0.0%	43.6%	52.9%	58.1%	41.7%	42.9%
無回答	2.8%	2.9%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	4.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	2.3%	0.0%	57.1%

※機能強化型訪問看護管理療養費の算定要件を満たしていない項目を教えてください。

(複数回答可) (問 23 で「③ 要件が整えば算定したい」と回答した事業所のみ回答)

算定要件を満たしていない項目 (複数回答可) (n=87) (「③ 要件が整えば算定したい」と回答した事業所のみ回答)	
ア 常勤看護職員数	40
イ 24時間対応体制加算の届出	4
ウ 直近1年間のターミナルケア件数又は超重症児・準重症児の受入実績	54
エ 特掲診療料等の施設基準等の別表第7の利用者数	21
オ 居宅介護支援事業所または相談支援事業所が同一敷地内に設置	32
カ 休日、祝日も含めた計画的な訪問看護の実施	30
キ 地域住民等に対する情報提供や相談、人材育成のための研修の実施	36
ク その他	3

ク その他

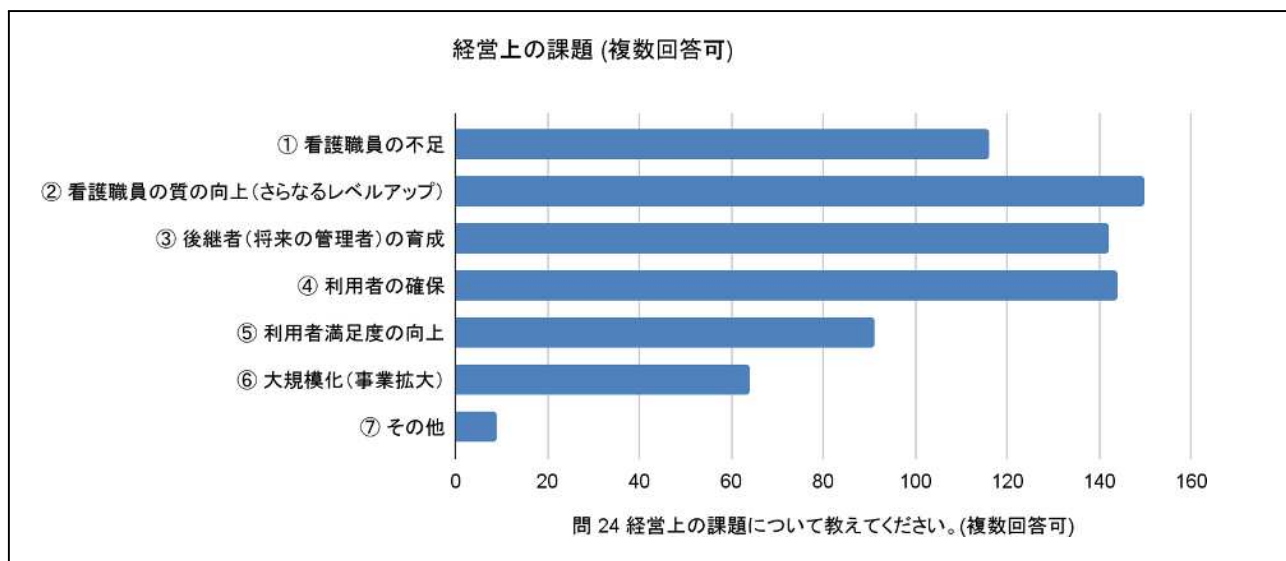
- ・まだ2年目と言う事もあり実績の積み上げも少ない
- ・地域の保健医療機関職員の勤務受け入れ実績(これを地域のステーションがどうやったら満たせるのか教えてほしい)
- ・専門の研修を受けた看護師の配置が整っていない。特定行為の研修を受講中である。

問25 経営上の課題について教えてください。(複数回答可)

経営上の課題について教えてください。(複数回答可) (n=244)	
① 看護職員の不足	116
② 看護職員の質の向上(さらなるレベルアップ)	150
③ 後継者(将来の管理者)の育成	142
④ 利用者の確保	144
⑤ 利用者満足度の向上	91
⑥ 大規模化(事業拡大)	64
⑦ その他	9

⑦ その他

- ・職員の定着
- ・社長多忙にて連絡対応不十分
- ・看護師紹介業者への高額な支払い
- ・職員はいるが産休と病休で欠員中。期間が不明の為募集もできない
- ・法人としての業務上の理解促進
- ・令和8年度で廃業を決めている。25年前に訪問看護師が安心して長く働ける場、社会保険・厚生年金のある訪問看護STを自分たちで作り上げてきた。殆どが60歳以上、後継者を育てる事ができなかったので廃業を決めた
- ・ステーション周辺の月極駐車場に空きがなく、車の台数を増やせない
- ・看護職員が離職せず安定して働いていただくこと



5. 訪問看護全般について

問26 埼玉県 の委託事業である「訪問看護相談窓口」「看護管理者相談窓口」についてご存じですか。

埼玉県 の委託事業である「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」についてご存知ですか。 (2次医療圏別事業所数) (n=249) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)					
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7	
① 既に活用している	87	13	7	9	18	2	9	12	5	10	2	48	26	11	2	0	
② 知っているが、まだ活用したことはない	102	16	10	11	16	6	6	16	10	11	0	50	28	18	4	2	
③ 知らない	57	5	5	14	11	3	6	6	3	4	0	19	16	14	6	2	
④ その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無回答	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

埼玉県 の委託事業である「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」についてご存知ですか。 (2次医療圏別事業所数割合) (n=249) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)					
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
① 既に活用している	34.9%	38.2%	31.8%	25.0%	40.0%	18.2%	40.9%	35.3%	27.8%	40.0%	100.0%	41.0%	37.1%	25.6%	16.7%	0.0%	
② 知っているが、まだ活用したことはない	41.0%	47.1%	45.5%	30.6%	35.6%	54.5%	27.3%	47.1%	55.6%	44.0%	0.0%	42.7%	40.0%	41.9%	33.3%	28.6%	
③ 知らない	22.9%	14.7%	22.7%	38.9%	24.4%	27.3%	27.3%	17.6%	16.7%	16.0%	0.0%	16.2%	22.9%	32.6%	50.0%	28.6%	
④ その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	

④ その他

回答無し

問26 問25に記載の埼玉県 の委託事業を活用してどのような効果があったか教えてください。

(複数回答可) (問25で「① 既に活用している」と回答した事業所のみ回答)

埼玉県 の委託事業を活用してどのような効果があったか教えてください。(複数回答可) (n=87)	
① 事業所を大規模化することが出来た	1
② 赤字から黒字に転換することが出来た	1
③ 収支状況を改善することが出来た	1
④ 新たな加算等を算定することが出来た	20
⑤ 請求漏れや請求間違いを防ぐことが出来た	64
⑥ 専門家に依頼する負担の軽減や時間節減につながった	9
⑦ 労務管理やリスクマネジメントを適正に実施することが出来た	11
⑧ 働き方改革につながった	2
⑨ その他	4
⑩ 特に効果はない	4

⑨その他

- ・相談窓口があるというだけでありがたい。ヘルパー教育について質問した時に助かった
- ・訪問看護の制度上の疑問など相談し、対応している
- ・管理に対しての質問に答えて頂いた

問27「埼玉県訪問看護教育ステーション事業」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。

(複数回答可) (教育ステーション事業を活用したことがある場合のみ回答)

教育ステーション事業を利用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。(複数回答可)	
① 看取りに対応できるようになった、看取り件数が増加した	1
② 小児疾患患者に対応できるようになった、対応件数が増加した	2
③ 重症度が高い患者(特掲診療科等の施設基準別表7・8の利用者)に対応できるようになった、対応件数が増加した	2
④ 新たな医療的管理に対応できるようになった	5
⑤ 看護技術(フィジカルアセスメント等)が向上した	22
⑥ 利用者の獲得増につながった	2
⑦ 病院との連携が進んだ	3
⑧ コミュニケーションスキルが向上した	7
⑨ 教育ステーションや地域のステーションとのつながりができ、相談や連携がしやすくなった	17
⑩ その他	4
⑪ 特に効果はない	4

⑩ その他

- ・なかなか参加できていない
- ・実感はないが多様な研修企画は助かっている

問28 埼玉県の委託事業である「訪問看護体験実習」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。

(複数回答可) (訪問看護体験実習で実習受け入れを行った事業所のみ回答)

問28 県委託事業「訪問看護体験実習」効果	
① 体験実習を行った看護職員を採用することができた	11
② 病院との連携が進んだ	3
③ 利用者の増加につながった	0
④ ステーションのPRにつながった	13
⑤ 職員の質の向上につながった	10
⑥ その他	2
⑦ 特に効果はない	9

⑥ その他

- ・受入はしているが依頼がないため何とも言えない

問29-② 訪問看護体験実習を行った結果、看護職員を採用することができた事業所における採用人数

体験実習を行った結果、看護職員を採用することができた人数(2次医療圏別人数)(単位:人)										
全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
21	8	0	2	5	0	1	4	0	0	1

問29 訪問看護に関する県の取組として、「実施してほしい」事業を教えてください。(複数回答可)

訪問看護に関する県の取組として、「実施してほしい」事業を教えてください。(複数回答可)	
① 新人訪問看護師の育成体制を強化する事業(職場定着、資質向上)	86
② 訪問看護師の育成を支援する事業(ニーズの高いテーマの研修開催、OJT支援等)	113
③ 訪問看護サービスや訪問看護師の仕事に関する広報活動(体験実習、ガイド作成等)	62
④ 請求事務(診療報酬・介護報酬)をバックアップする事業(研修、相談窓口等)	116
⑤ 大規模化等訪問看護ステーションの運営を支援する事業(運営に関するコンサルティング等)	30
⑥ 病院連携を促進する事業(医療機関での実習等)	56
⑦ 訪問看護に関する拠点の整備(総合相談、情報やノウハウ提供等)	75
⑧ 資格取得支援事業(認定看護師・特定行為研修を受講する訪問看護師を対象)	86
⑨ その他	9

⑨ その他

- ・最低賃金をはじめ国内賃金は増加の一方、介護保険を中心に訪問看護費はここ20年減少傾向に対する根本的な対策を。また、光熱費補助金に関しても、補助金が僅かでありながら、申請が煩雑であり申請を直近2回見合わせており、簡略化等対策を
- ・ハラスメントから訪問看護師を守る、例えばオマモリンクの購入支援をする、警察官が同行できる制度等、訪問看護師がこれ以上危害を加えられない対応を考えていただきたい。(相談窓口だけでは不足)
- ・法改正があった場合の詳しい説明とその対応について
- ・補助金制度等
- ・広域BCPの仕組みづくりと、訓練実施、備蓄、隣接都県連携。医心館等不正・過剰請求に対する警鐘、厚労省への苦情申し立て
- ・利用者の紹介
- ・利用者を訪問看護につなげるシステム
- ・ポケットエコーなどの購入補助

問29 -② 問29で回答が「②訪問看護師の育成を支援する事業」の場合、実施してほしい研修等を教えてください。(複数回答可)

問29で回答が「②訪問看護師の育成を支援する事業」の場合、実施してほしい研修等(複数回答可)(n=113)	
ア. ターミナルケアに関する研修	65
イ. 緩和ケアに関する研修	66
ウ. 小児疾患に関する研修	47
エ. 難病に関する研修	64
オ. 精神疾患に関する研修	55
カ. 認知症に関する研修	53
キ. 多職種連携に関する研修	48
ク. 退院調整に関する研修	34
ケ. OJT支援	45
コ. その他	3

コ. その他

- ・特定行為研修修了者に対するOJT支援
- ・災害
- ・コミュニケーションに関する研修(ご利用者様・ご家族様・他職種・在宅診療・営業先等との会話術)
- ・AI、ICTの活用研修

## 6. ハラスメント防止対策の対応について

問30 令和6年度に利用者やご家族から看護職員等への暴力・ハラスメント被害の経験について教えてください

令和6年度に利用者やご家族から看護職員等への暴力・ハラスメント被害の経験について教えてください (2次医療圏別事業所数) (n=241) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① 経験あり	103	17	10	16	21	4	11	12	6	5	1
② 経験なし	138	17	12	17	22	7	9	21	12	20	1
無回答	8	0	0	3	2	0	2	1	0	0	0

問31 ハラスメント対策として複数名訪問看護加算を請求していますか

ハラスメント対策として複数名訪問看護加算を請求していますか (2次医療圏別事業所数) (n=233) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
ア. 請求している	37	5	0	6	7	2	2	5	4	6	0
イ. 同意が得られないので請求していない	19	1	5	2	5	0	1	4	0	1	0
ウ. 複数名訪問を実施していない	177	26	17	25	30	7	17	22	13	18	2

問31 -②「ア. 請求している」場合

週1回のみ(看護師・准看護師等との実施)加算の請求となっていますが、実際に週何回ハラスメント対策として複数名訪問を実施していますか。(2次医療圏別事業所数) (n=37) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
実施回数 / 週	137	6	0	12	11	2	2	86	6	12	0

週にハラスメント対策として複数名で訪問している利用者は何人いますか。(2次医療圏別事業所数) (n=37) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
人数 / 週	134	7	0	26	15	2	2	41	5	36	0

問31 -③「イ. 同意が得られないので請求していない」場合

同意が得られないがハラスメント対策として複数名訪問を実施していますか。(2次医療圏別事業所数) (n=19) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① はい	8	0	2	0	3	0	1	1	0	1	0
② いいえ	10	1	3	1	2	0	0	3	0	0	0

「①はい」の場合、複数人訪問の回数 (2次医療圏別事業所数) (n=8) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
回数 / 週	11	0	3	0	2	0	1	2	0	3	0

問32 埼玉県が行っている複数人訪問費用補助事業についてご存じですか。

埼玉県が行っている複数人訪問費用補助事業についてご存じですか (2次医療圏別事業所数) (n=242) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① 知っている	174	25	16	21	35	9	15	24	14	13	2
② 知らない	68	8	6	13	9	2	5	9	4	12	0

補助金に対する要望を教えてください。

- ・もう少し算定しやすくしてほしい
- ・いざという時のために、申請を簡単にし、補助金のハードルを下げしてほしいと思う
- ・対象が難しい
- ・使用できない例があるので、その際どうしたらいいか教えてほしい
- ・明らかなハラスメントまでいなくても、女性看護師一人で訪問が難しい(危険)な場合がある。その際にはステーションとして複数名で対応しているが、実際には加算はとれないため、その分は赤字になっている。安全対策について補助があると助かる
- ・申請しづらい
- ・現状医療保険だけが対象になっているが、介護保険でも利用できるようにしていただきたい
- ・固定の要件でなく、運営補助費のような、ステーション毎に必要な物品・事業所改修等にあてられるとよいと考える
- ・あることは知っているが、詳しいことまでは分からない
- ・そもそも複数名訪問に関するハードルが高い。また補助金のハードルも高い。

問33 ハラスメント防止の体制・取組について実施しているか教えてください

ハラスメント防止の体制・取組について実施しているか教えてください (2次医療圏別事業所数) (n=242) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① している	227	33	19	28	44	9	19	32	17	24	2
② していない	15	1	2	5	0	2	2	2	0	1	0
①している事業所の離職率	14.8%	10.0%	18.5%	8.7%	15.9%	12.9%	20.7%	21.6%	13.8%	20.1%	16.7%
②していない事業所の離職率	25.7%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問33 -② 問33で「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可)

問34で「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可) (n=227)	
ア. ハラスメント防止マニュアル等を作成し、体制を整備している	174
イ. ハラスメント防止研修の実施	173
ウ. 契約書または重要事項説明書にハラスメントについて明記している	166
エ. 複数人訪問を実施している	63
オ. 必要に応じ管理者が同行	118
カ. 訪問時間帯の調整	34
キ. 携帯電話や防犯ブザー等を常に携帯	51
ク. セキュリティサービスの導入	5
ケ. その他	5

「イ. ハラスメント防止研修の実施」と回答した場合、実施した内容を教えてください（複数選択可）（n=173）	
a. 自所内で研修を実施した	138
b. 令和6年度の県主催の研修を受講・視聴した	42
c. その他のハラスメント防止研修に参加した	62

ケ. その他

- ・毎月ハラスメントの有無の聞き取り調査
- ・ポスターの掲示
- ・ハラスメント行為があった場合、サービス終了の対応
- ・R6年度はいなかったがR5年度にいたので上記対応をしていた
- ・男性スタッフのみで対応している

7. 訪問看護ステーション管理者について

問34 訪問看護管理者研修に参加していますか

訪問看護管理者研修に参加していますか（n=244）（単位:事業所）											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① 参加している	106	18	7	9	22	6	14	18	3	9	0
② 参加していない	138	16	15	25	21	5	7	16	15	16	2
①参加している事業所の離職率	15.2%	19.8%	17.3%	11.7%	11.7%	18.6%	17.8%	14.9%	0.0%	12.6%	0.0%
②参加していない事業所の離職率	14.7%	7.6%	18.0%	9.7%	20.4%	5.2%	27.8%	32.7%	16.0%	25.4%	16.7%

問35 管理者の経験年数を教えてください。

管理者の経験年数を教えてください。（n=245）（単位:事業所）												左の表の経営状況別集計(単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
① 1年未満	39	4	3	9	5	0	7	6	2	3	0	13	11	7	6	2
② 1～5年以下	114	15	9	15	22	6	9	13	9	15	1	53	35	21	3	2
③ 6～10年以下	44	6	6	4	9	2	1	6	5	4	1	26	14	3	1	0
④ 11～20年以下	24	5	2	2	3	1	3	6	0	2	0	14	4	5	1	0
⑤ 21年以上	24	4	2	4	5	2	1	3	2	1	0	11	6	6	1	0

管理者の経験年数ごとの離職率（n=245）（単位:%）												左の表の経営状況別集計(単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
① 1年未満	23.2%	41.1%	52.9%	5.3%	15.7%	0.0%	17.0%	16.7%	36.4%	37.5%	0.0%	11.1%	15.7%	16.7%	50.0%	50.0%
② 1～5年以下	20.5%	20.5%	11.8%	12.3%	22.2%	22.6%	23.4%	32.5%	8.9%	26.4%	16.7%	45.3%	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%
③ 6～10年以下	15.8%	19.4%	19.4%	50.0%	12.7%	11.1%	0.0%	19.0%	18.8%	3.1%	16.7%	22.2%	20.0%	7.1%	8.3%	0.0%
④ 11～20年以下	5.3%	2.3%	0.0%	0.0%	3.3%	25.0%	26.7%	15.9%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	5.7%	11.9%	8.3%	0.0%
⑤ 21年以上	10.8%	36%	8.0%	3.1%	9.4%	0.0%	11.1%	16.9%	5.9%	0.0%	0.0%	9.4%	8.6%	14.3%	8.3%	0.0%

問36 令和6年度の管理者の訪問回数を教えてください。

令和6年度の管理者の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別集計)(n=237)(単位:回)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
訪問回数	21,973	2,708	2,194	2,775	2,828	1,051	1,197	2,444	2,005	4,646	125

## 8. 業務効率化や労働環境整備について

問38 ICT導入による業務効率化の実施状況を教えてください。

ICT導入による業務効率化の実施状況を教えてください。(n=243)(単位:事業所)	
① 実施している	199
② 検討中・準備中	19
③ 実施の予定はなし	25

問37 -② 問37で「①実施している」と「②検討中・準備中」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可)

「①実施している」と「②検討中・準備中」場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可)(n=218)	
ア. 看護記録システム・ソフトの導入	208
イ. 利用者との契約・事務手続きにおける電子署名の導入	11
ウ. 主治医との指示書、報告書等のやりとり	57
エ. 事業所外(訪問先等)でのスマートフォン・タブレットを用いた記録・報告	172
オ. ICT機器(テレビ電話等)を活用した健康観察	5
カ. ポータブルエコー等の医療デバイスの導入	3
キ. バイタルセンサー、IoT機器等を活用した健康観察	1
ク. その他	2

ク. その他

- ・AIレコーダーの活用
- ・AI報告書計画書

問38 メディカルケアステーション(MCS)を導入しているか教えてください。

メディカルケアステーション(MCS)を導入しているか教えてください。(n=244)(単位:事業所)	
① 導入している	201
② 導入していない	43

問39 労働環境整備・働き方改革を実施しているか教えてください。

労働環境整備・働き方改革を実施しているか教えてください。(n=243)(単位:事業所)	
① している	116
② していない	127

問39 -② 問39で「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？（複数選択可）

「①している」と回答した場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？（n=116）（複数選択可）	
ア. 企業内保育所を設置している。	38
イ. 残業0、土日祝日勤務なしを実現している。	25
ウ. テレワークを推進している。	9
エ. その他	50

「イ. 残業0、土日祝日勤務なしを実現している。」と回答した場合、具体例を教えてください。（n=25）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9時訪問の直行、17時終了の直帰を許可:2件</li> <li>・勤務時間内において余裕を持った訪問調整、各自終わり次第帰宅</li> <li>・訪問時間と件数の管理、付帯業務の調整を行っている</li> <li>・直行直帰できる体制や、カンファレンスはリモート</li> </ul> <p>定時退勤できるような訪問スケジュールの調整:2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日日勤と、夜間早朝・土日の担当を分ける分業制:</li> <li>・土日祝は非常勤看護師にオンコールを対応してもらっている</li> <li>・土曜日は1名半日勤務、その他は休み、訪問予定も緊急時のみに対応・</li> <li>・オンコール体制の整備</li> </ul> <p>土日祝日は営業日でなくした</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日を定休日とした</li> <li>・スマホ、タブレット支給、訪問の合間に記録完了</li> <li>・最終訪問を16時まで設定、帰社後に記録・連携の時間を確保</li> <li>・残業がないように、訪問時間外で記録の時間を作っている</li> <li>・時間内で終了する訪問の調整</li> <li>・土日祝の定期訪問をなくし、平日前後で計画する</li> <li>・緊急時以外は土日祝勤務が発生しないよう事前に日時変更等を調整</li> <li>・祝日は営業日だが、残業0にできるよう勤務調整している</li> <li>・オンコール対応や、土日に出勤した場合は振り替えで休みを取ってもらっている:2件</li> <li>・土曜日出勤がある代わりに平日のどこかを休みにしている</li> <li>・残業にならないよう17時までの患者様としている</li> <li>・定時退社を徹底している</li> <li>・残業なく帰宅できている</li> </ul>

「ウ.テレワークを推進している。」と回答した場合、具体例を教えてください。(n=9)

- ・土日の記録はテレワーク推奨している。
- ・電話やメールで解決する内容は利用する
- ・できるだけ訪問看護師が自宅から訪問先に直行したり、訪問先から直接自宅に戻る形態にしている
- ・子育てしている職員に必要時テレワークで内勤していただく。
- ・会議などの集まりはZOOMを活用し物理的に集まることを止めている。
- ・事業所にも戻らず、自宅のできる作業は自宅で行う事を奨励している
- ・カンファレンスは基本的にリモートで訪問は直行直帰。グループウェアでデータベース、チャットなどを使い情報共有
- ・記録など自宅で
- ・個人にノートパソコンを支給し看護記録は自宅で行えるようにしている。

#### エ. その他

- ・直行直帰の実施:11件
- ・時短勤務の導入:3件
- ・フレックスタイム制の導入、時差出勤:3件
- ・週休3日制の導入
- ・休日を増やす
- ・有給休暇の100%取得、取得促進:5件
- ・時間単位有給の導入:3件
- ・土日祝日勤務なし
- ・リフレッシュ休暇(3日/年)
- ・産休育休・慶弔休暇:3件
- ・5日以上の連続勤務の禁止、休日出勤後の確実な代休の取得、1回/月のシフト休暇各1件
- ・希望を優先した休暇取得:3件
- ・交代制で薬味を取りやすくしている
- ・処遇改善手当・加算の支給:6件
- ・ベースアップ評価料の分配:2件
- ・基本給UP・キャリアアップ支援:2件
- ・研修費用の補助:1件
- ・育児優先の勤務調整・休暇:4件
- ・社内託児施設・子供の預かり支援:2件
- ・養育両立支援休暇の導入:
- ・時短勤務 再掲
- ・残業0(ゼロ)の徹底:4件
- ・ノー残業デイの設定
- ・ICT(大型モニター等)による会議効率化
- ・待機当番の連続回避・配慮:2件
- ・オンコール体制の整備・電話負担軽減:2件
- ・待機明けの労働条件調整

(1) ワークライフバランスの仕組みがある。(n=226)	
①はい	143
②いいえ	83

(2) スタッフが有給休暇を年間5日以上取得している。(n=231)	
①はい	215
②いいえ	16

(3) スタッフが希望に応じて休みを取れている。(n=230)	
①はい	228
②いいえ	2
(4) スタッフ(管理者を除く)の取得率が50%以上である。(n=231)	
①はい	191
②いいえ	40

(5) スタッフが緊急訪問(休日・時間外)をした場合、勤務間インターバルに配慮している。(n=228)	
①はい	183
②いいえ	45

(6) スタッフが希望に応じて長期の育児・介護休暇・子の看護休暇等を取得している。(n=225)	
①はい	191
②いいえ	34

(7) 管理者が有給休暇を年間5日以上取得している。(n=230)	
①はい	191
②いいえ	39

## 9. 特定行為研修を修了した看護師の活用・育成について

問40 貴事業所で特定行為研修修了者の育成・活用をしたいと思いますか？

貴事業所で特定行為研修修了者の育成・活用をしたいと思いますか？ (2次医療圏別事業所数) (n=241) (単位:事業所)												
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	
① 是非育成・活用したい。	28	3	0	4	9	2	3	2	1	4	0	
② できれば育成・活用したい。	47	5	2	8	6	2	3	9	6	6	0	
③ 育成・活用は難しい。	126	20	11	18	20	5	11	17	9	13	2	
④ 育成・活用するつもりはない。	29	2	6	3	7	1	3	3	2	2	0	
⑤ 既に育成・活用している。	11	2	2	0	2	1	1	3	0	0	0	
無回答	8	2	1	3	1	0	1	0	0	0	0	

問40で「①是非育成・活用したい」「②できれば活用したい」の場合どのような分野に特定行為研修修了者を育成活用したいですか。n=75

・特定行為区分別のニーズについての回答

特定行為区分の名称	該当する主な記述	回答数
創傷管理関連	・褥瘡:17件・創傷管理:10件	27
創部ドレナージ管理	・ドレナージ管理	2
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・輸液の補正・点滴・補液・栄養水分管理	5
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	・精神および神経症状にかかる薬剤投与関連・向精神薬の臨時投与など	4
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	・血糖コントロールに係る薬剤投与関連・インシュリン投与量の調節など	3
ろう孔管理関連	・ろう孔管理・胃瘻交換・瘻孔関連	3
呼吸器関連 ・長期呼吸療法に係るもの ・人工呼吸管理に係るもの	・呼吸器関連・長期呼吸療法に係るもの	4
栄養に関するカテーテル管理	カテーテル管理	1
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整	3
循環器関連	・循環器	1

・在宅パッケージ:8件

・特定行為区分「外」の専門ケア・緩和ケアニーズ

認定看護師の名称	該当する主な記述	回答数
皮膚・排泄ケア(ストマ等)	・皮膚・排泄ケア:3件・ストマ管理・皮膚排泄ケアなど	5
緩和ケア・疼痛管理	・緩和ケア:3件・がん看護	5
摂食嚥下関連	・摂食嚥下関連 栄養	1

・活用したいと考えているが受講させる人員の余裕がない

・具体的には考えていない

問40で「③ 育成・活用は難しい。」「④ 育成・活用するつもりはない。」の場合、その理由を教えてください。 (複数選択可)(n=134)	
ア. 特定行為研修を受講させる人員の余裕がないため。	104
イ. 実習施設の確保が困難であるため。	42
ウ. 特定行為に関する医師の理解が進まない。協力が得られないため。	11
エ. 利用者の理解が進まないため。	5
オ. 施設要件維持のために育成しているが活用する予定はないため。	2
カ. その他	5

カ. その他

- ・特に必要性を感じない
- ・育成のための費用が援助できない
- ・希望するスタッフがいない
- ・あまり必要性を感じないため
- ・経営側の理解なし
- ・子育て中のスタッフが多く、実習先の遠方になるため現実的ではない
- ・廃業予定している為
- ・メリットを感じないため

10. 医療安全体制について

問41 医療安全の体制・取組について実施しているか教えてください。

医療安全の体制・取組について実施しているか教えてください。 (2次医療圏別事業所数) (n=241) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
① している	205	30	15	28	40	9	19	27	13	22	2
② していない	36	4	6	5	3	2	2	6	5	3	0
無回答	8	0	1	3	2	0	1	1	0	0	0

問41で「① している」場合、以下で取り組んでいるのはどれですか？(複数選択可) (n=205)	
ア. 自所内で医療安全マニュアル等を作成し、委員会や担当者等の体制を整備している	168
イ. 地域連携や法人内連携で医療安全マニュアル等を作成し、委員会や担当者等の体制を整備している	56
ウ. 医療安全研修の実施	98
エ. 弁護士等の外部に委託して、医療安全の指南や相談をしている	6
オ. その他	3

「ウ. 医療安全研修の実施」の場合、以下を回答ください。(複数選択可) (n=98)	
a. 自所内で研修を実施した	69
b. 地域連携や法人内連携で研修を実施した	36
c. その他の医療安全研修に参加した	27

オ. その他

- ・勉強会
- ・研修参加

問42 訪問看護における医療事故の発生防止、再発防止に向けて、自事業所内のみで対応することが困難であるものをすべてお答えください。(複数選択可)

(複数回答可) (n=221)	
① 職員に対する事故防止に関する研修	86
② 管理者として必要な医療事故に関する知識の習得	96
③ 医療事故発生時の利用者・家族への対応	72
④ 当事者である職員への支援	63
⑤ 行政や保険者に対する対応	94
⑥ 事故の発生原因や対応の分析	68
⑦ 事故の再発防止策の検討	45
⑧ その他	7

⑧ その他

- ・医療事故の発生防止、再発防止に向けて、自事業所内のみで対応するよう日々努めている
- ・事業所内のみだと、新たな発想が少な
- ・なし:3件
- ・法人本部に医療事故は当事者を責めるのではなく、環境因子等を含めた再発防止を図らなければならないということが伝わらない。事故が起きないようにお互いに変な動きがあったら密告するように言われる。法人本部の教育是正をできるものならしてほしい
- ・事故の内容によっても異なると思われるのでその他にした

11. 県実施・訪問看護ステーション協会等受託の研修・事業の受講状況について

問43 令和6年度において、県が訪問看護ステーション協会等に委託して実施した研修・事業について受講・利用しましたか。

	令和6年度において、県が訪問看護ステーション協会等に委託して実施した研修・事業について受講・利用しましたか。(2次医療圏別事業所数) (n=249) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
全体	249	34	22	36	45	11	22	34	18	25	2	117	70	43	12	7	
① 県が実施した研修・事業を知っている。	188	27	16	23	39	4	17	27	15	18	2	100	55	28	5	0	
② 県が以下の研修等を実施していることを知らなかった。	46	6	5	10	3	5	2	5	3	7	0	10	13	14	7	2	
無回答	15	1	1	3	3	2	3	2	0	0	0	7	2	1	0	5	

令和6年度において、県が訪問看護ステーション協会等に委託して実施した研修・事業について受講・利用しましたか。(2次医療圏別事業所数) (n=249) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
① 県が実施した研修・事業を知っている。	75.5%	79.4%	72.7%	63.9%	86.7%	36.4%	77.3%	79.4%	83.3%	72.0%	100.0%	85.5%	78.6%	65.1%	41.7%	0.0%
② 県が以下の研修等を実施していることを知らなかった。	18.5%	17.6%	22.7%	27.8%	6.7%	45.5%	9.1%	14.7%	16.7%	28.0%	0.0%	8.5%	18.6%	32.6%	58.3%	28.6%
無回答	6.0%	2.9%	4.5%	8.3%	6.7%	18.2%	13.6%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	2.9%	2.3%	0.0%	71.4%

「① 県が実施した研修・事業を知っている。」場合、以下の各項目にご回答ください。

ア. 訪問看護管理者研修 (2次医療圏別事業所数) (n=208) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
① 受講した	51	10	5	3	12	2	7	8	2	2	0	28	15	8	0	0
② 受講しなかった	157	20	13	24	28	5	10	23	13	19	2	79	46	25	7	0
① 受講した事業所の離職率	16.9%	22.7%	8.9%	6.3%	14.2%	22.2%	18.2%	15.9%	0.0%	52.6%	0.0%	13.7%	19.1%	25.4%	0.0%	0.0%
② 受講しなかった事業所の離職率	13.2%	8.4%	19.0%	9.0%	15.5%	13.6%	18.3%	22.9%	14.6%	11.3%	16.7%	9.6%	18.3%	24.8%	14.6%	0.0%

イ. 医療事務研修 (2次医療圏別事業所数) (n=203) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
① 受講した	31	5	5	4	7	1	2	3	3	1	0	19	9	3	0	0
② 受講しなかった	172	25	12	22	32	6	15	27	13	18	2	86	51	29	6	0
① 受講した事業所の離職率	8.9%	7.5%	5.4%	4.0%	9.4%	0.0%	26.1%	32.3%	0.0%	16.7%	0.0%	6.7%	11.0%	21.1%	0.0%	0.0%
② 受講しなかった事業所の離職率	15.3%	11.4%	27.5%	9.7%	17.5%	20.0%	17.5%	20.7%	14.6%	15.5%	16.7%	11.5%	20.5%	26.2%	15.6%	0.0%

ウ. 訪問看護ハラスメント防止研修 (2次医療圏別事業所数) (n=202) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
① 受講した	57	13	6	5	9	1	6	5	5	6	1	32	18	7	0	0
② 受講しなかった	145	17	11	21	30	6	10	25	10	14	1	72	42	25	6	0
① 受講した事業所の離職率	14.2%	18.8%	17.5%	5.2%	13.6%	13.3%	7.1%	21.9%	22.2%	5.5%	16.7%	14.3%	15.0%	11.2%	0.0%	0.0%
② 受講しなかった事業所の離職率	14.3%	9.5%	17.8%	10.0%	16.5%	16.9%	25.0%	21.6%	6.4%	18.1%	16.7%	9.8%	20.3%	29.4%	15.6%	0.0%

エ. 教育ステーション事業 (ZOOM等研修、同行訪問) (2次医療圏別事業所数) (n=197) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	39	9	6	6	7	1	3	1	3	2	1	26	9	4	0	0
②利用しなかった	158	21	11	19	31	6	14	27	11	17	1	75	49	28	6	0
①利用した事業所の離職率	4.6%	2.7%	2.5%	5.0%	13.8%	20.0%	4.2%	6.9%	5.0%	3.2%	16.7%	3.5%	11.0%	9.1%	0.0%	0.0%
②利用しなかった事業所の離職率	20.0%	29.9%	25.0%	7.5%	16.4%	15.2%	21.2%	23.4%	15.4%	18.7%	16.7%	17.3%	20.9%	27.8%	15.6%	0.0%

オ. 訪問看護師育成プログラム普及事業 (2次医療圏別事業所数) (n=200) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	20	5	1	3	7	0	2	0	2	0	0	13	4	3	0	0
②利用しなかった	180	25	16	23	32	7	15	29	12	19	2	90	55	29	6	0
①利用した事業所の離職率	12.2%	13.3%	0.0%	6.8%	15.9%	0.0%	13.8%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	13.0%	12.5%	8.2%	0.0%	0.0%
②利用しなかった事業所の離職率	14.6%	10.9%	18.3%	9.2%	15.6%	16.3%	18.8%	21.9%	14.0%	14.8%	16.7%	10.6%	19.2%	27.1%	15.6%	0.0%

カ. 訪問看護ステーション体験実習事業 (2次医療圏別事業所数) (n=201) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①受け入れた	28	8	2	1	9	0	1	6	0	1	0	16	9	3	0	0
②受け入れなかった	173	22	15	26	29	7	16	24	14	18	2	88	51	28	6	0
①受け入れた事業所の離職率	5.1%	3.3%	17.1%	0.0%	10.2%	0.0%	11.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	16.5%	0.0%	0.0%	0.0%
②受け入れなかった事業所の離職率	18.9%	27.6%	17.8%	8.8%	18.2%	16.3%	18.8%	26.4%	12.9%	17.6%	16.7%	15.9%	19.2%	29.2%	15.6%	0.0%

キ. 訪問看護ステーション管理者支援事業 (相談窓口) (2次医療圏別事業所数) (n=203) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答
①利用した	45	8	4	4	12	0	5	8	1	2	1	24	15	5	1	0
②利用しなかった	158	22	13	22	28	7	12	22	14	17	1	81	45	27	5	0
①利用した事業所の離職率	18.1%	24.3%	35.5%	16.1%	19.2%	0.0%	7.9%	24.0%	0.0%	0.0%	16.7%	14.1%	19.1%	46.2%	9.5%	0.0%
②利用しなかった事業所の離職率	13.2%	10.1%	11.8%	6.8%	12.8%	16.3%	24.3%	20.4%	12.9%	19.1%	16.7%	9.8%	18.5%	21.3%	17.4%	0.0%

ク. 認定看護師等活用事業 (2次医療圏別事業所数) (n=199) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
①受け入れた	9	3	0	2	2	0	0	1	0	1	0	7	2	0	0	0	
②受け入れなかった	190	26	17	24	37	7	17	28	14	18	2	96	57	31	6	0	
①受け入れた事業所の離職率	10.0%	26.7%	0.0%	4.9%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
②受け入れなかった事業所の離職率	14.5%	10.4%	17.7%	9.3%	16.3%	16.3%	18.2%	21.0%	12.9%	17.6%	16.7%	10.9%	18.9%	24.5%	15.6%	0.0%	

ケ. 高度な医療に対応する訪問看護師育成事業 (2次医療圏別事業所数) (n=199) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	黒字	赤字	不明	その他	無回答	
①利用した	8	2	0	1	1	0	0	2	1	1	0	5	2	1	0	0	
②利用しなかった (対象外だった)	191	28	17	25	37	7	17	28	12	18	2	96	58	31	6	0	
①利用した事業所の離職率	10.3%	12.5%	0.0%	20.0%	26.1%	0.0%	0.0%	4.4%	13.3%	0.0%	0.0%	9.5%	7.1%	20.0%	0.0%	0.0%	
②利用しなかった (対象外だった)事業所の離職率	14.7%	11.0%	17.7%	7.9%	15.3%	16.3%	18.2%	24.1%	13.5%	17.6%	16.7%	11.0%	19.2%	25.2%	15.6%	0.0%	

## 12. その他

問44 訪問看護サービスの安定的な提供について、ご意見やご要望があればお聞かせください。

### [人材育成について]

- ・看護師さんとリハビリさんの紹介をして頂けるとありがたい
- ・管理者の負担をどのようにタスクシフトすればよいか迷う
- ・看護師の採用について補助がいただけるとありがたいです。(紹介会社への支払額が多すぎる)
- ・経営のコンサルテーションを受けたいが、費用がかけられない
- ・OJTの難しさを感じる。(単独訪問なので、他のナースの経験的な判断を共有しづらい。後で共有すると、同じ場で共有するのは違うので)
- ・人員の確保が課題
- ・人材確保、定着については深刻な問題です。また、人材確保には費用がかかるため、補助金があると助かる

### [研修について]

- ・埼玉県内では無いが、認定師をお呼びしてステーション内研修しました。(緩和と巻き爪)
- ・教育ステーション主催の研修は、現場に即した研修が多く、参加しやすいので、今後もぜひ継続して欲しい
- ・運営に必要な法定研修を、オンラインで安価で受けられるようなシステムがあるとありがたい
- ・研修について、ステーション協会で実施していただけるので大変助かる。法定研修など、自社内だけでは難しいモノがあり、協会の研修は活用させていただいている
- ・積極的に研修などに参加したいと思った
- ・時間が限定されてしまうパート職員も安易に研修が受けられる体制があるといいと思う

### [経営について]

- ・訪問時間が多く、管理者業務が進まないため、休みを返上で行っている。月70時間弱であった。人員不足で困ってる。賃金あげてくれないため、人が入って来ない。相談にのるような所を教えて欲しい
- ・当事業所のような少人数の職員体制ではなく、大規模な事業所が存続することができるのだろうと感じている
- ・物価が高くなり、経費がやや厳しめ。職員だけでなく、患者様も訪問回数少なめ。お亡くなりになった後、請求ができないケースが増えてくるのかと心配
- ・日常業務に追われ制度における書類整備、提出書類も多岐にわたり心身ともにゆとりがない。時間外を

活用するしかなく次世代に引き継ぎしていくことに申し訳なさを感じる。事務処理に対する対価もなく現状負担が増え続けている状況です

・事業所運営について、漠然とした不安は付きまどっているため、今後も色々な情報や連絡等をお願いしたい

・安定した利用者確保が難しい

・看護師が1日4件以上訪問しないと黒字にならない状況では、緊急対応や状況に合わせた毎日訪問(必要に応じた対応)の枠を残しておくのが難しい。かといって、病院のベッドのように空きがないから受けられませんかとは緊急時加算をとっている以上言うてはならないため、余力がある訪問件数で黒字になるような報酬設定をお願いしたい。また、介護福祉士には処遇改善加算があるのに対し、看護師はありません。処遇改善加算のような給与にのみ利用できる加算があれば、給与も上がり、人材も来ていただきやすくなり、安定した提供にもつながると思う

・指示書依頼の返信封筒の切手代を各医療機関負担であることの周知してほしい

・訪問看護がお金儲けの手段となり、営利目的で介入してくる現状に忸怩たる思い。参入を促す広告もあり、「お金が儲かりそうだから訪問看護やる」でいいのでしょうか

#### [その他]

・アンケートに時間を要する為、簡単にしてほしい

・色々な補助金制度があるが、申請がいつも大変。もう少し利用しやすくしてほしい。複数名訪問についてもなかなか利用しづらい

・最新の福祉用具を理解するため、勉強会を半年に1回(電動車椅子、ウォシュレット付きポータブルトイレ、汚物処理なしのポータブルトイレ等)その他、新しい器具機械使用時には、業者さんをお呼びして説明してもらっている

・事故防止に努め、安定的なサービス提供に日々努めているが、今回のように回答に1-2時間を要するアンケートは負担である

・ハラスメント対策について、もう少し具体的に現場で看護師をどう守るかを検討いただきたい。研修やチラシでは私たちの意識は上がりますが、ハラスメントを防止する盾にはなり得ません

・外来患者で訪問看護が必要な方が大勢いると思うが、なかなかつながらないように思う。外来と訪問看護ステーションの連携がもっと取れるといいと思う

・令和7年4月より管理者となり、前任者からの引継ぎがほぼない状況のため、令和6年に関する情報が不足している

・職員を守るためにも自傷他害、ハラスメント行為、身体的な理由、家族支援指導等、複数名訪問の必要のある利用者様に事業所で判断できるようにしてほしい。(医療機関主治医利用者様の生活状況、家族状況等の把握できていないケースが多く複数名訪問の必要性を理解得られない)

・精神訪問看護メインで運営していますが異性利用者宅にスタッフがいくことで抱きつかれたり、セクハラや盗難の冤罪のリスクもあるため単数での訪問をしたくないと話すスタッフもいる状況です

・診療報酬の増額により、訪問看護師の給与を上げられることが大切。そして、若い世代が訪問看護師になりたいと思ってほしい。大規模化を推進しているようだが、大規模になるほど訪問看護師の給与以外にかかる経費も多くなり、不正請求につながっていると思う。ホスピス系の訪問看護や、精神科特化やりハビリ特化でやたら訪問件数の多いところは本当に訪問看護をやっているのだろうか？そこに利潤が回るようでは、訪問看護の未来は暗い。来る2030~2040年の多死に対応できるよう、訪問看護にかかる財政面での安定は行政に任せるしかないので、よろしくお願ひしたい

・一般高齢者達もちゃんと税金が使われるように、もっと怒るべき

・いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします

・スタッフのモチベーションを上げ離職を減らし、提供する看護に自身が持てることを目指したい。地域での信頼もできると依頼につながるのかと思う